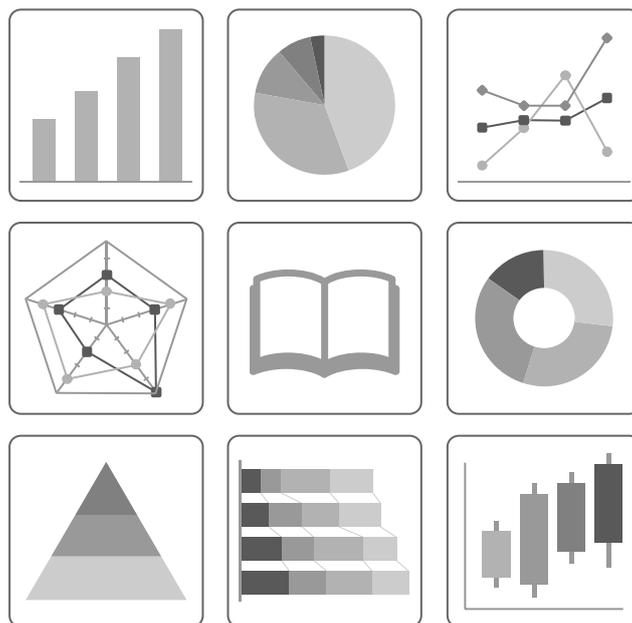


豊川市 子ども・子育てに関するアンケート調査 調査結果報告書



平成 31 年 3 月

豊 川 市

目 次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の表示方法	1
II	調査結果	2
1	就学前児童	2
	(1) お住まいの地域について.....	2
	(2) お子さんご家族の状況について.....	3
	(3) 子どもの育ちをめぐる環境について.....	5
	(4) お子さんの保護者の就労状況について.....	10
	(5) お子さんの平日の定期的な幼稚園や保育所などの利用状況について	18
	(6) お子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について	30
	(7) お子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な幼稚園や保育所などの利用希望について ..	38
	(8) お子さんの病気の際の対応について.....	41
	(9) お子さんの不定期の幼稚園や保育所などや宿泊を伴う一時預かり等の利用について	48
	(10) お子さんが5歳以上である方に、小学校就学後の放課後の過ごし方について	54
	(11) すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について	61
	(12) ファミリー・サポート・センター事業の利用について	70
	(13) 子育て全般について	74
2	就学児童	79
	(1) お住まいの地域について.....	79
	(2) お子さんご家族の状況について.....	80
	(3) 子どもの育ちをめぐる環境について.....	82
	(4) お子さんの保護者の就労状況について.....	85
	(5) お子さんの病気やけがの際の対応について.....	93
	(6) お子さんの一時預かりについて.....	98

(7) お子さんの泊りがけでの預かりについて.....	100
(8) 放課後児童クラブの利用状況と希望について.....	101
(9) ファミリー・サポート・センター事業の利用について.....	111
(10) 子育て全般について.....	114

I 調査の概要

1 調査の目的

2015 年度から実施されている子ども・子育て支援法に基づく子ども・子育て支援制度のもと、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、2020 年度から始まる「第 2 期豊川市子ども・子育て支援事業計画」の策定の基礎資料として、調査を実施するものです。

2 調査対象

豊川市在住の就学前の子どもがいる家庭の中から 2,000 人を無作為抽出
豊川市在住の小学生の子どもがいる家庭の中から 2,000 人を無作為抽出

3 調査期間

平成 30 年 12 月 12 日から平成 30 年 12 月 28 日

4 調査方法

郵送による配布・回収

5 回収状況

	配布数	有効回答数	有効回答率
就学前児童	2,000 通	1,045 通	52.3%
小学生児童	2,000 通	1,084 通	54.2%

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、内訳の合計が 100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が 100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを  で網かけをしています。（無回答を除く）
- ・回答者数が 1 桁の場合、回答件数による表記としています。

II 調査結果

1 就学前児童

(1) お住まいの地域について

問1 お住まいの小学校区はどちらですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「八南小学校区」、「国府小学校区」の割合が8.4%と最も高くなっています。

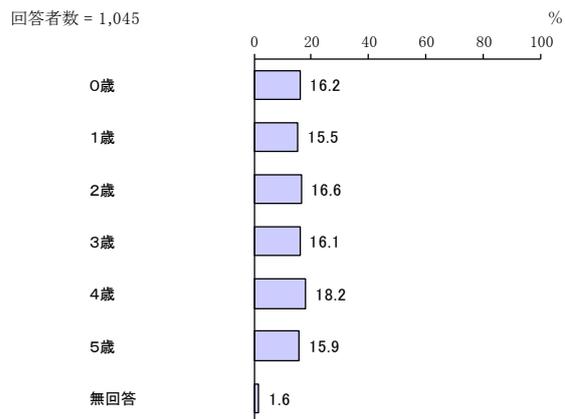
回答者数 = 1,045



(2) お子さんご家族の状況について

問2 お子さんの生年月をご記入ください。() 内に数字でご記入ください。

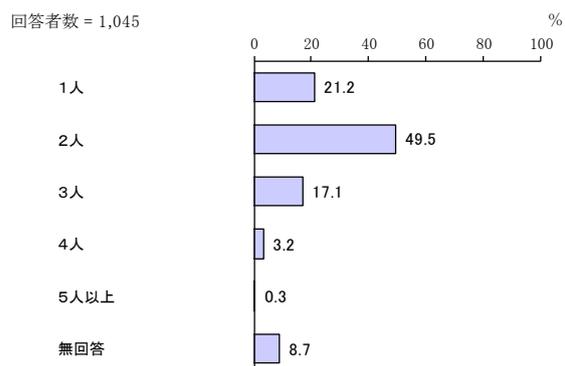
「4歳」の割合が18.2%と最も高く、次いで「2歳」の割合が16.6%、「0歳」の割合が16.2%となっています。



問3 お子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。お子さんを含めた人数を() 内に数字でご記入ください。また、お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、最も年下の子の年齢をご記入ください。(記入日現在の年齢を記入)

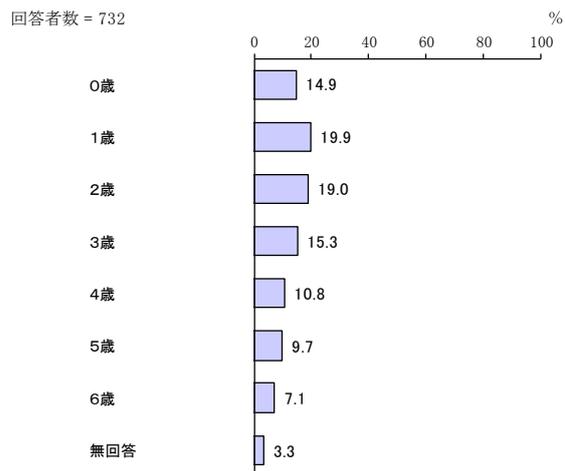
ア. きょうだい数

「2人」の割合が49.5%と最も高く、次いで「1人」の割合が21.2%、「3人」の割合が17.1%となっています。



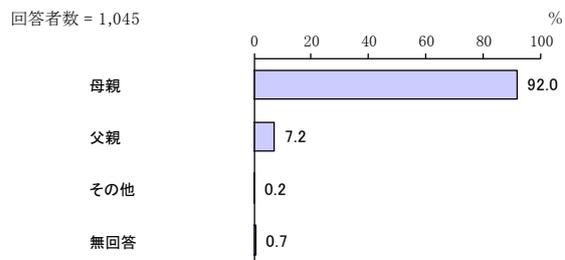
イ. 最も年下の子の年齢

「1歳」の割合が19.9%と最も高く、次いで「2歳」の割合が19.0%、「3歳」の割合が15.3%となっています。



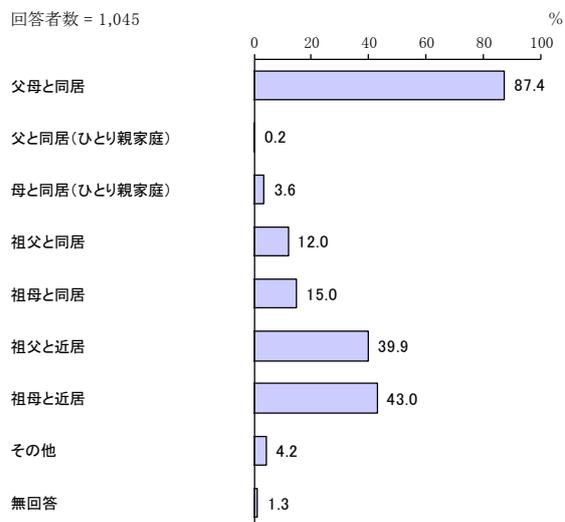
問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんから見た関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「母親」の割合が92.0%、「父親」の割合が7.2%となっています。



問5 お子さんとの同居・近居（おおむね30分以内程度に行き来できる範囲）の状況について当てはまる番号すべてに○をつけてください。（続柄はお子さんから見た関係）

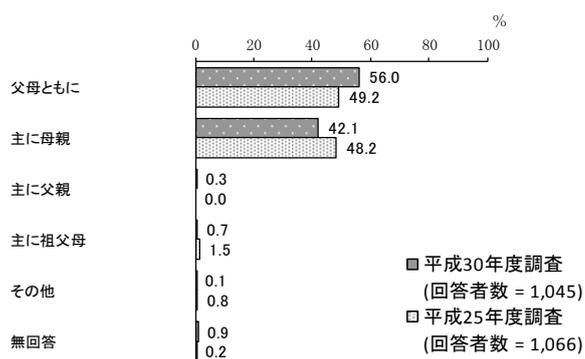
「父母と同居」の割合が87.4%と最も高く、次いで「祖母と近居」の割合が43.0%、「祖父と近居」の割合が39.9%となっています。



問6 ご家庭でお子さんの子育てや教育を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

「父母ともに」の割合が56.0%と最も高く、次いで「主に母親」の割合が42.1%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「父母ともに」の割合が増加しています。一方、「主に母親」の割合が減少しています。

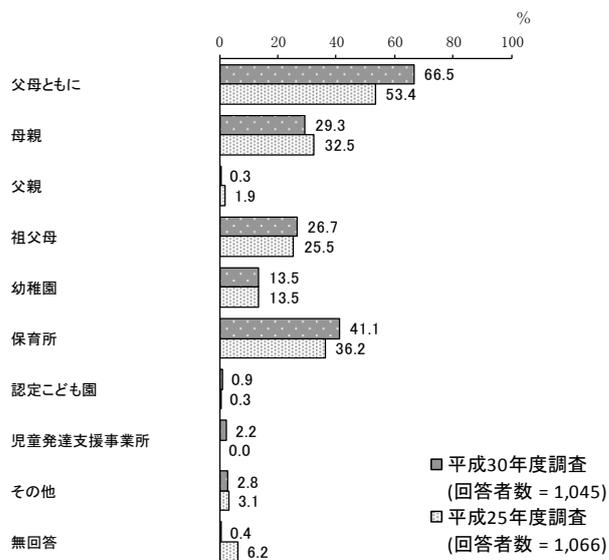


(3) 子どもの育ちをめぐる環境について

問7 お子さんの子育てや教育に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「父母ともに」の割合が66.5%と最も高く、次いで「保育所」の割合が41.1%、「母親」の割合が29.3%となっています。

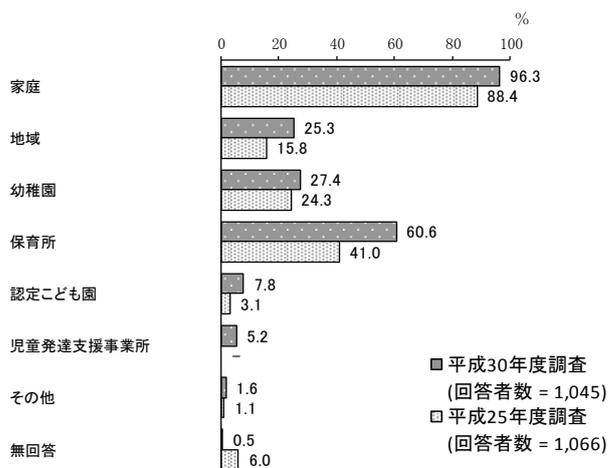
平成25年度調査と比較すると、「父母ともに」の割合が増加しています。



問8 お子さんの子育てや教育に、もっとも影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。

「家庭」の割合が96.3%と最も高く、次いで「保育所」の割合が60.6%、「幼稚園」の割合が27.4%となっています。

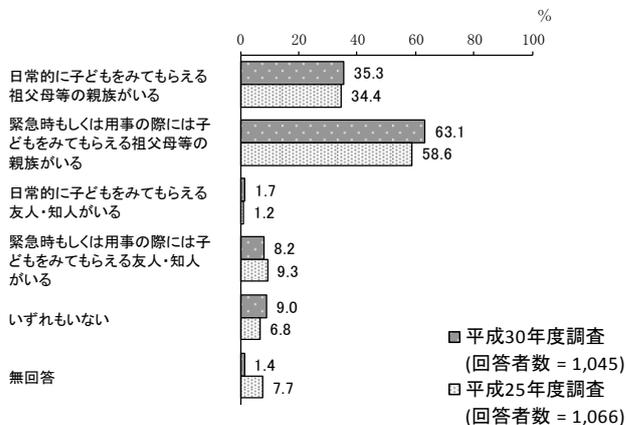
平成25年度調査と比較すると、「家庭」「地域」「保育所」の割合が増加しています。



問9 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる祖父母等の親族がいる」の割合が63.1%と最も高く、次いで「日常的に子どもをみてもらえる祖父母等の親族がいる」の割合が35.3%となっています。

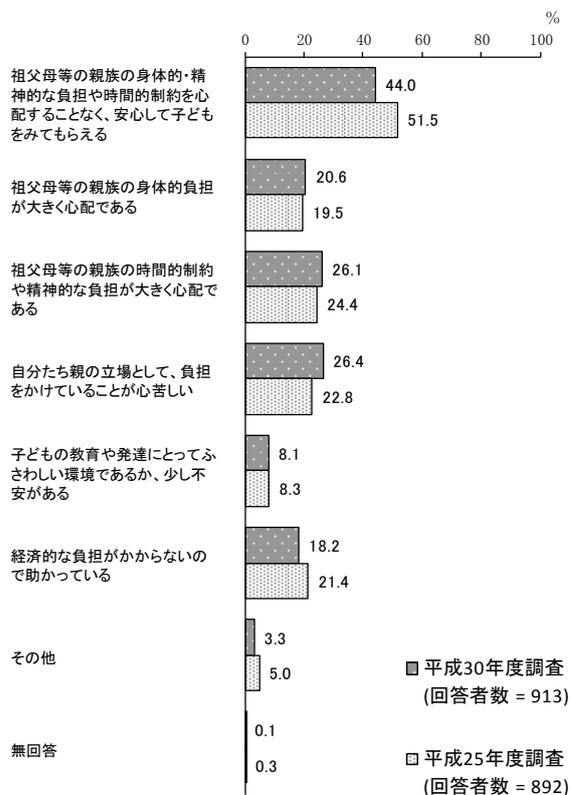
平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問9-1 問9で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が44.0%と最も高く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」の割合が26.4%、「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」の割合が26.1%となっています。

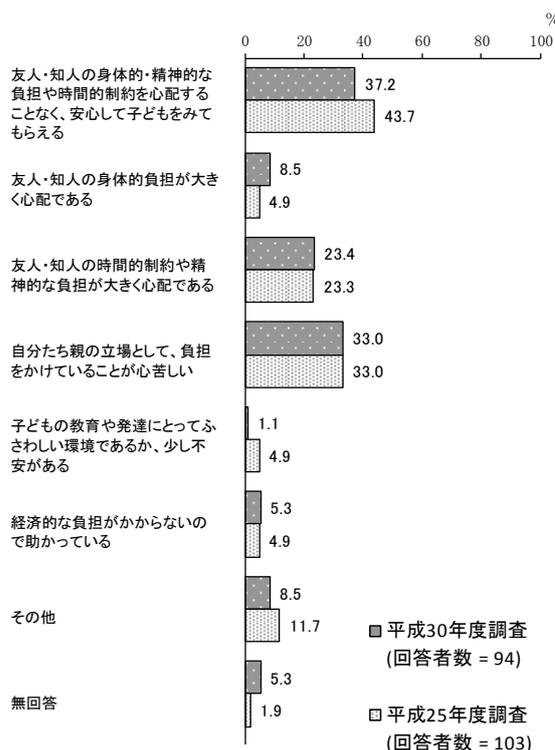
平成25年度調査と比較すると、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が減少しています。



問9-2 問9で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が37.2%と最も高く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」の割合が33.0%、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」の割合が23.4%となっています。

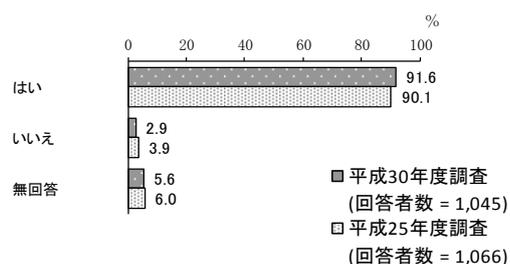
平成25年度調査と比較すると、「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が減少しています。



問 10 お子さんの子育てや教育をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「はい」の割合が91.6%、「いいえ」の割合が2.9%となっています。

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【子どもをみてもらえる親族・知人の有無別】

子どもをみてもらえる親族・知人の有無別でみると、他に比べ、日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいるで「はい」の割合が高くなっています。また、いずれもないで「いいえ」の割合が高くなっています。

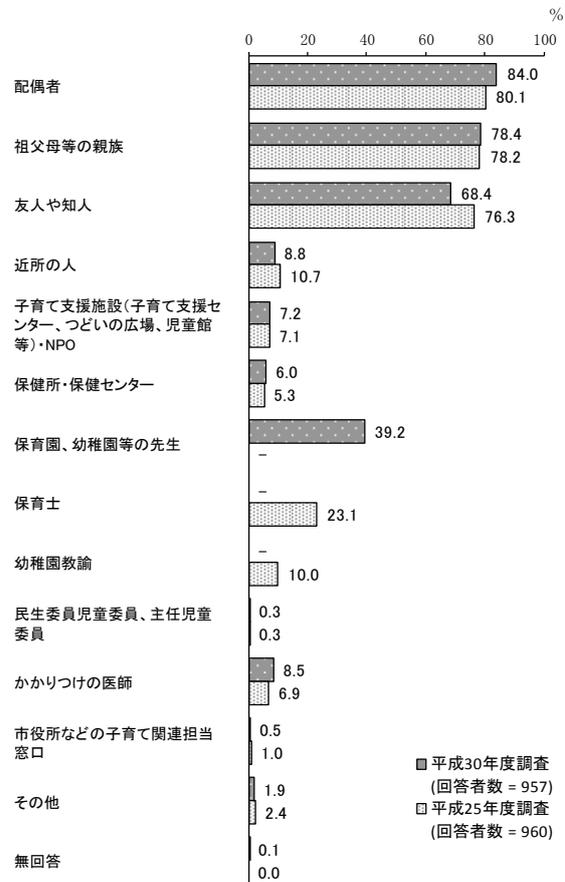
単位：%

区分	有効回答数 (件)	はい	いいえ	無回答
日常的に子どもをみてもらえる祖父母等の親族がいる	369	93.2	0.8	6.0
緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる祖父母等の親族がいる	659	91.2	2.7	6.1
日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	18	100.0	—	—
緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	86	88.4	2.3	9.3
いずれもない	94	91.5	8.5	—

問 10-1 問 10 で「1. はい」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育てや教育に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「配偶者」の割合が 84.0%と最も高く、次いで「祖父母等の親族」の割合が 78.4%、「友人や知人」の割合が 68.4%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「保育士」「幼稚園教諭」を合わせた数値より「保育園、幼稚園等の先生」の割合が増加しています。一方、「友人や知人」の割合が減少しています。



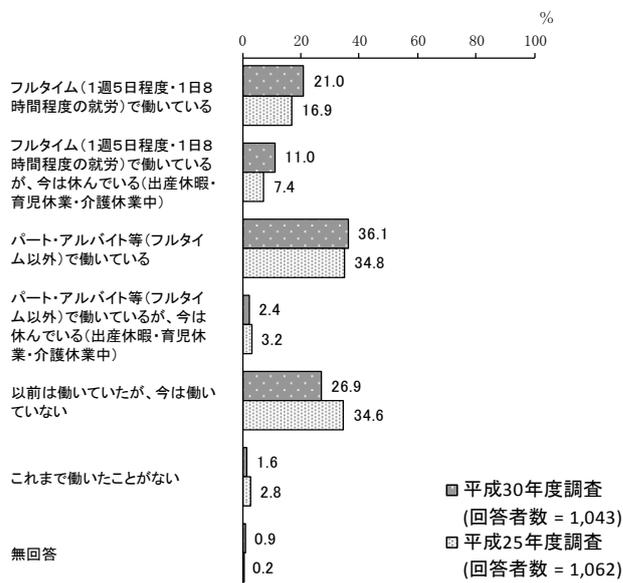
(4) お子さんの保護者の就労状況について

問12 お子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

(1) 母親の就労状況

「パート・アルバイト等（フルタイム以外）で働いている」の割合が36.1%と最も高く、次いで「以前は働いていたが、今は働いていない」の割合が26.9%、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で働いている」の割合が21.0%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「以前は働いていたが、今は働いていない」の割合が減少しています。

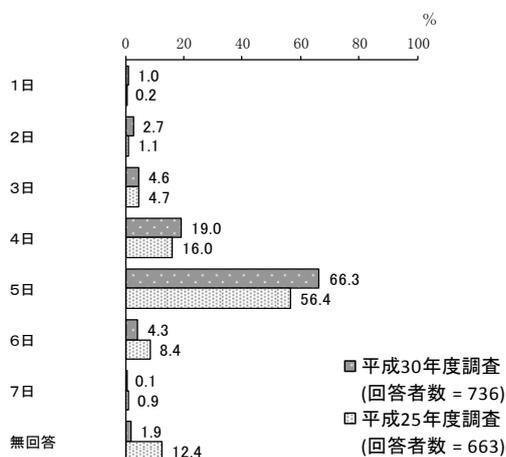


(1) - 1 (1)で「1.」～「4.」(働いている)に○をつけた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。出産休暇・育児休業・介護休業中の方は、休暇・休業に入る前の状況についてお答えください。()内に数字でご記入ください。

ア. 1週当たりの「就労日数」

「5日」の割合が66.3%と最も高く、次いで「4日」の割合が19.0%となっています。

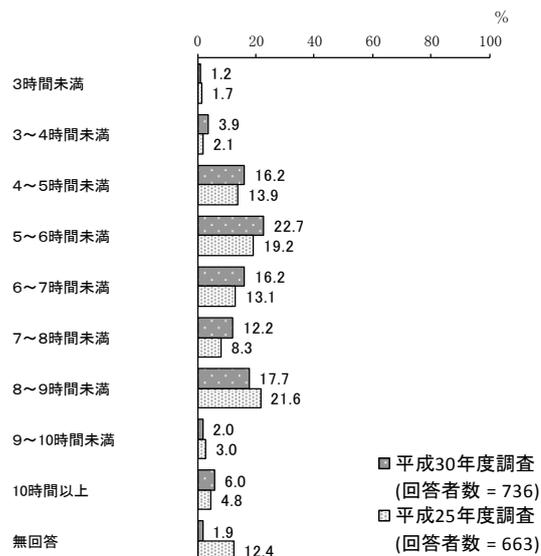
平成25年度調査と比較すると、「5日」の割合が増加しています。



イ. 1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」

「5～6時間未満」の割合が22.7%と最も高く、次いで「8～9時間未満」の割合が17.7%、「4～5時間未満」、「6～7時間未満」の割合が16.2%となっています。

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

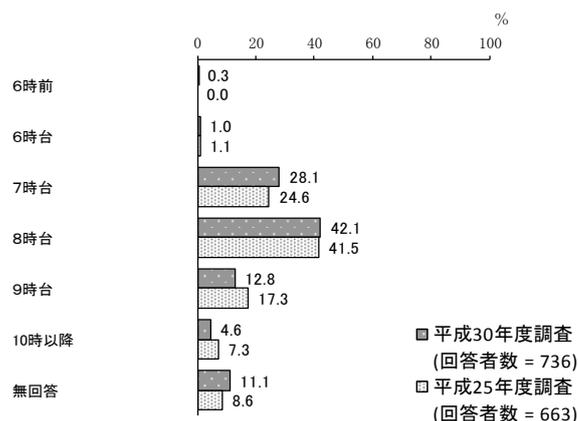


(1) - 2 (1)で「1.」～「4.」(働いている)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。出産休暇・育児休業・介護休業中の方は、休暇・休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず(例)8時00分～18時00分のように、24時間制でお答えください。()内に数字でご記入ください。

ア. 家を出る時刻

「8時台」の割合が42.1%と最も高く、次いで「7時台」の割合が28.1%、「9時台」の割合が12.8%となっています。

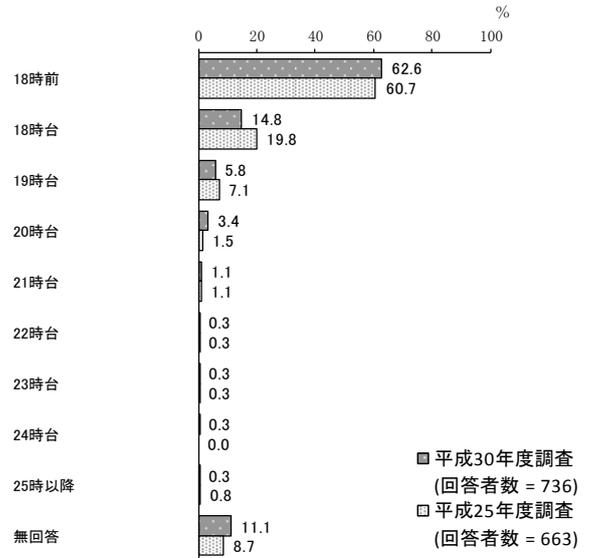
平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



イ. 帰宅時刻

「18 時前」の割合が 62.6%と最も高く、次いで「18 時台」の割合が 14.8%となっています。

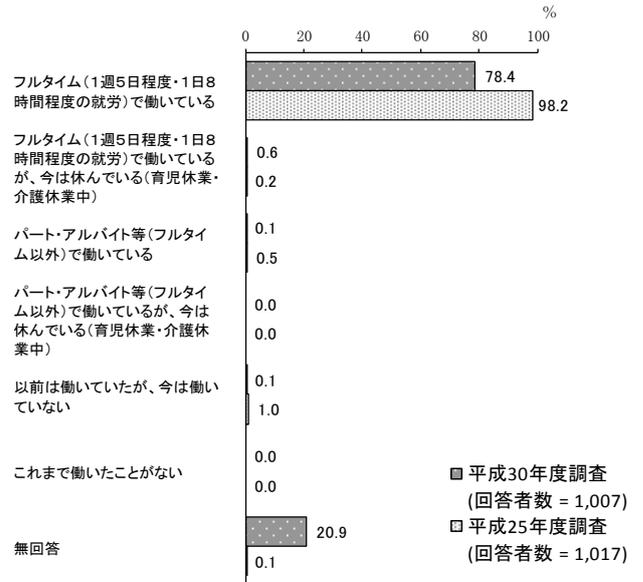
平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(2) 父親の就労状況

「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で働いている」の割合が78.4%と最も高くなっています。

平成25年度調査と比較すると、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で働いている」の割合が減少しています。

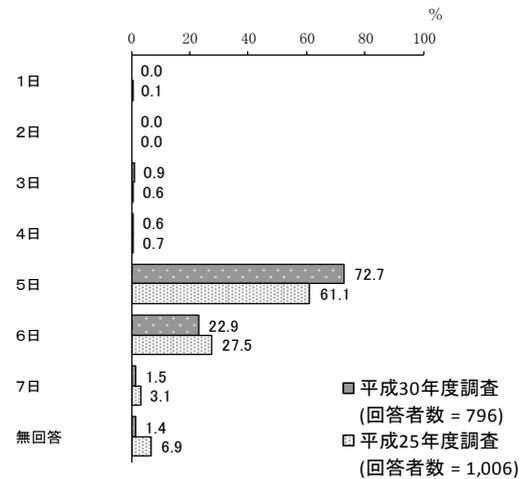


(2) - 1 (2)で「1.」～「4.」(働いている)に○をつけた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が、一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育児休業・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。()内に数字でご記入ください。

ア. 1週当たりの「就労日数」

「5日」の割合が72.7%と最も高く、次いで「6日」の割合が22.9%となっています。

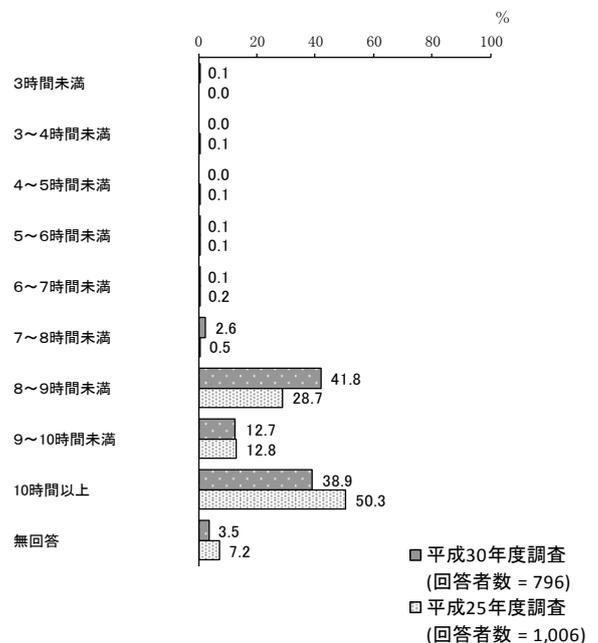
平成25年度調査と比較すると、「5日」の割合が増加しています。



イ. 1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」

「8～9時間未満」の割合が41.8%と最も高く、次いで「10時間以上」の割合が38.9%、「9～10時間未満」の割合が12.7%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「8～9時間未満」の割合が増加しています。一方、「10時間以上」の割合が減少しています。

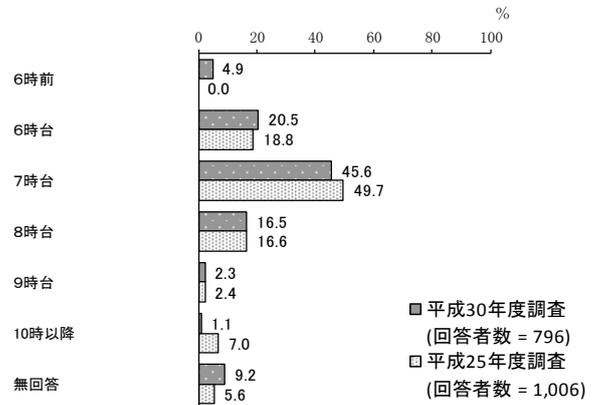


(2) - 2 (2)で「1.」～「4.」(働いている)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育児休業・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず(例)8時00分～18時00分のように、24時間制でお答えください。()内に数字でご記入ください。

ア. 家を出る時刻

「7時台」の割合が45.6%と最も高く、次いで「6時台」の割合が20.5%、「8時台」の割合が16.5%となっています。

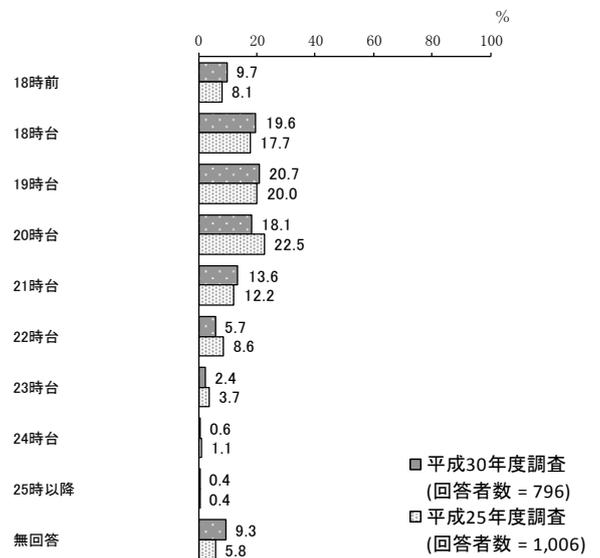
平成25年度調査と比較すると、「10時以降」の割合が減少しています。



イ. 帰宅時刻

「19時台」の割合が20.7%と最も高く、次いで「18時台」の割合が19.6%、「20時台」の割合が18.1%となっています。

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

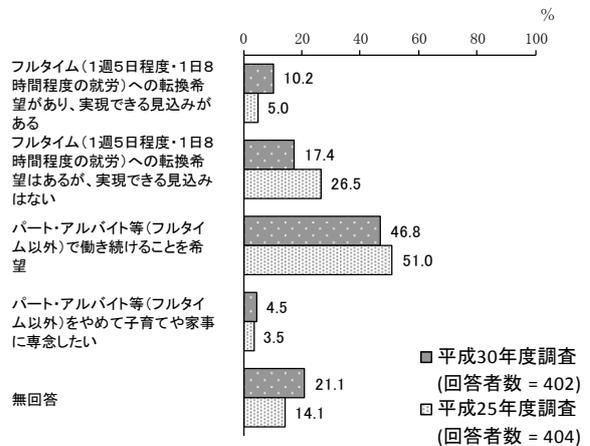


問13 問12の(1)または(2)で「3.」、「4.」(パート・アルバイト等で働いている)に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問14へお進みください。フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

「パート・アルバイト等(フルタイム以外)で働き続けることを希望」の割合が46.8%と最も高く、次いで「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が17.4%、「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある」の割合が10.2%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある」の割合が増加しています。一方、「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が減少しています。



(2) 父親

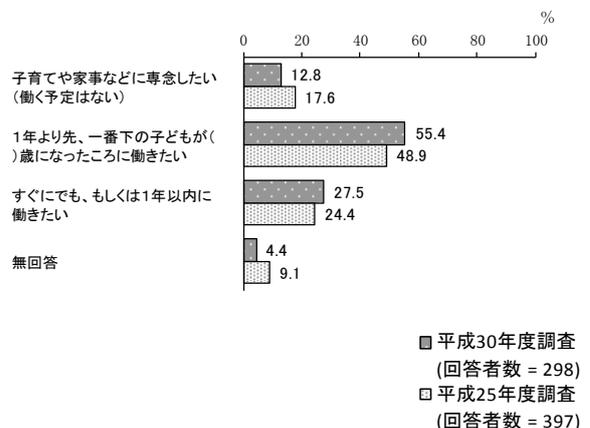
「パート・アルバイト等(フルタイム以外)で働き続けることを希望」が1件となっています。

問14 問12の(1)または(2)で「5.以前は働いていたが、今は働いていない」または「6.これまで働いたことがない」に○をつけた方にうかがいます。就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する()内には数字でご記入ください。該当しない方は、問15へお進みください。

(1) 母親

「1年より先、一番下の子どもが()歳になったところに働きたい」の割合が55.4%と最も高く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい」の割合が27.5%、「子育てや家事などに専念したい(働く予定はない)」の割合が12.8%となっています。

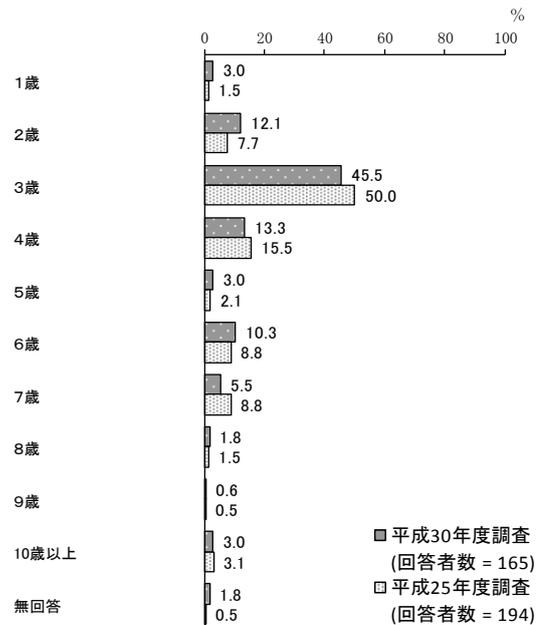
平成25年度調査と比較すると、「1年より先、一番下の子どもが()歳になったところに働きたい」の割合が増加しています。



ア. 一番下の子どもが何歳になったところに働きたいか

「3歳」の割合が45.5%と最も高く、次いで「4歳」の割合が13.3%、「2歳」の割合が12.1%となっています。

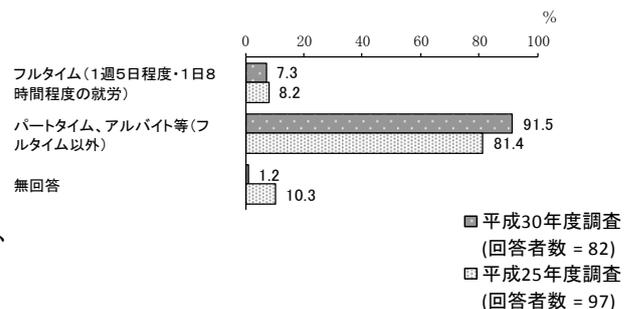
平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



イ. 希望する就労形態

「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」の割合が7.3%、「パートタイム、アルバイト等（フルタイム以外）」の割合が91.5%となっています。

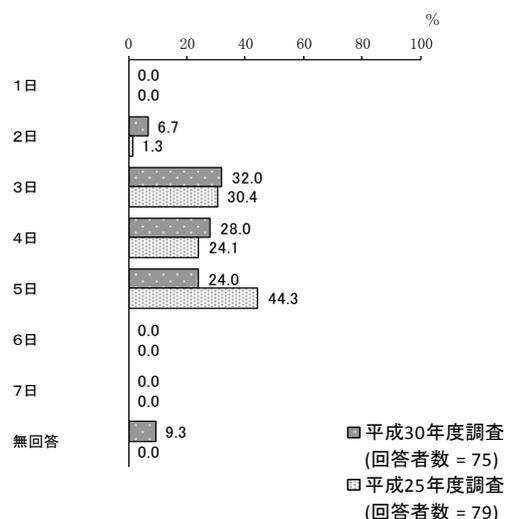
平成25年度調査と比較すると、「パートタイム、アルバイト等（フルタイム以外）」の割合が増加しています。



①パートタイム、アルバイト等 週あたり希望就労日数

「3日」の割合が32.0%と最も高く、次いで「4日」の割合が28.0%、「5日」の割合が24.0%となっています。

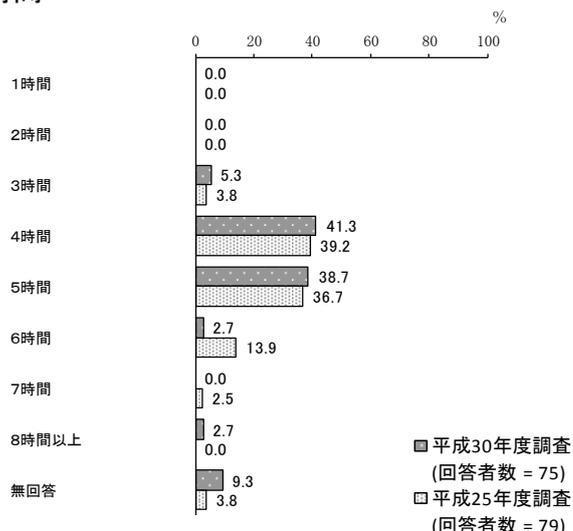
平成25年度調査と比較すると、「2日」の割合が増加しています。一方、「5日」の割合が減少しています。



②パートタイム、アルバイト等 1日あたり希望就労時間

「4時間」の割合が41.3%と最も高く、次いで「5時間」の割合が38.7%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「6時間」の割合が減少しています。



(2) 父親

有効回答がありませんでした。

ア. 一番下の子どもが何歳になったころに働きたいか

有効回答がありませんでした。

イ. 希望する就労形態

有効回答がありませんでした。

①パートタイム、アルバイト等 週あたり希望就労日数

有効回答がありませんでした。

②パートタイム、アルバイト等 1日あたり希望就労時間

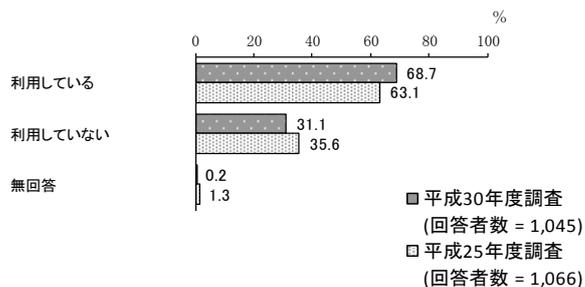
有効回答がありませんでした。

(5) お子さんの平日の定期的な幼稚園や保育所などの利用状況について

問 15 お子さんは現在、幼稚園や保育所などを定期的に利用されていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「利用している」の割合が68.7%、「利用していない」の割合が31.1%となっています。

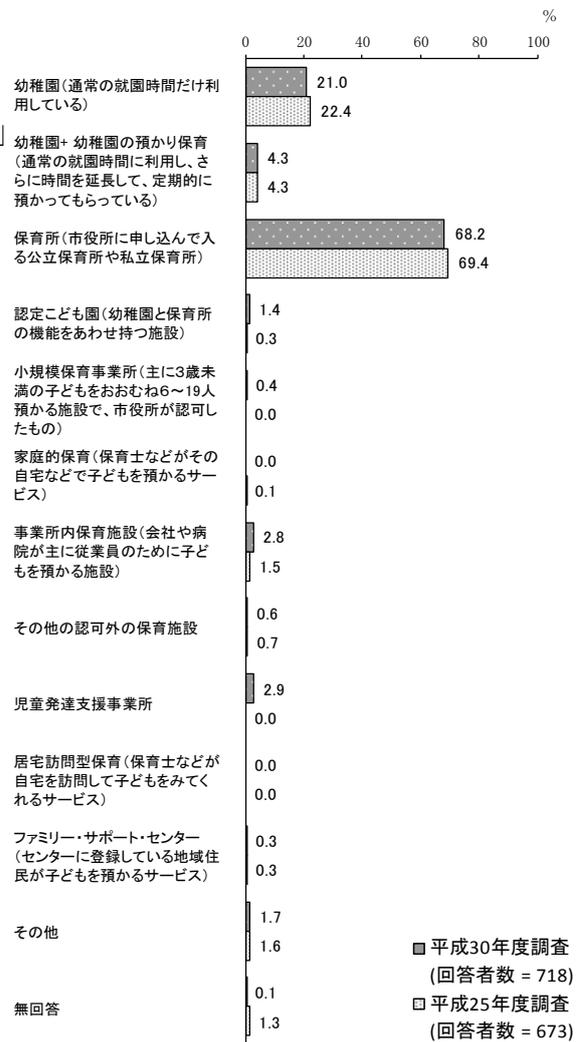
平成25年度調査と比較すると、「利用している」の割合が増加しています。



問 15-1 宛名のお子さんは、平日どのような幼稚園や保育所などを利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「保育所（市役所に申し込んで入る公立保育所や私立保育所）」の割合が 68.2%と最も高く、次いで「幼稚園（通常の就園時間だけ利用している）」の割合が 21.0%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別でみると、他に比べ、1歳、2歳で「保育所」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	幼稚園	幼稚園+幼稚園の預かり保育	保育所	認定こども園	小規模保育事業所	家庭的保育	事業所内保育施設	その他の認可外の保育施設	児童発達支援事業所	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
0歳	30	6.7	—	63.3	6.7	3.3	—	13.3	3.3	3.3	—	—	3.3	—
1歳	63	1.6	—	79.4	3.2	1.6	—	12.7	—	1.6	—	—	—	—
2歳	98	6.1	—	75.5	—	1.0	—	5.1	1.0	5.1	—	1.0	9.2	—
3歳	165	27.3	4.8	66.1	1.2	—	—	0.6	—	4.2	—	—	0.6	—
4歳	187	27.8	6.4	64.2	1.1	—	—	0.5	0.5	2.1	—	—	—	—
5歳	166	25.9	5.4	68.1	1.2	—	—	0.6	0.6	1.8	—	0.6	0.6	0.6

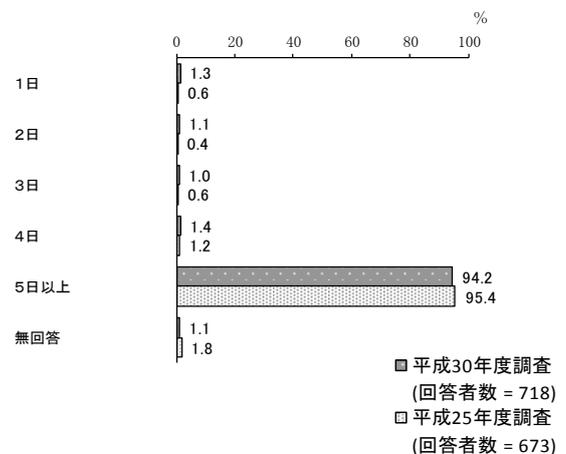
問 15-2 平日に定期的に利用している幼稚園や保育所などについて、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週間当たり何日、1日当たり何時間(何時から何時まで)かを、()内に具体的な数字でご記入ください。時間は、必ず(例)8時00分～18時00分のように、24時間制でお答えください。

ア. 現在

(ア) 利用日数

「5日以上」の割合が94.2%と最も高くなっています。

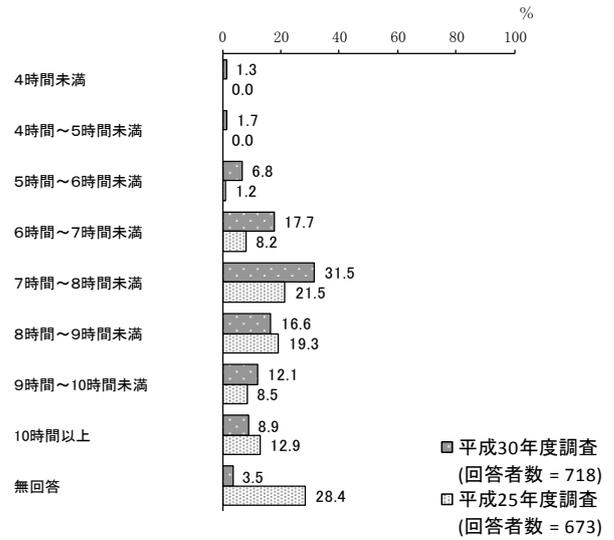
平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(イ) 利用時間

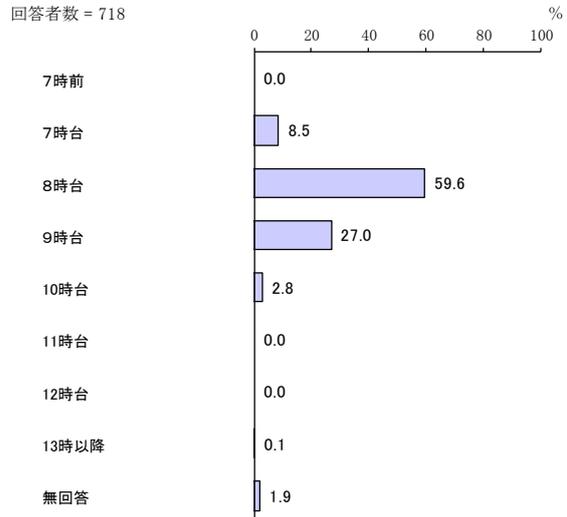
「7時間～8時間未満」の割合が31.5%と最も高く、次いで「6時間～7時間未満」の割合が17.7%、「8時間～9時間未満」の割合が16.6%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「5時間～6時間未満」「6時間～7時間未満」「7時間～8時間未満」の割合が増加しています。



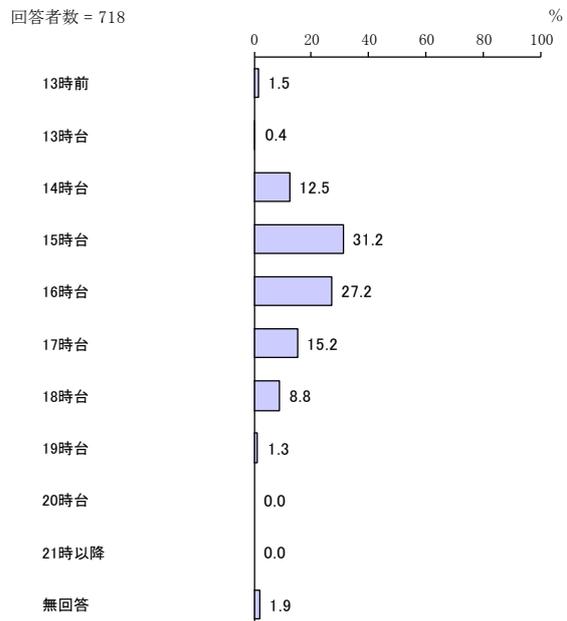
① 利用開始時刻

「8時台」の割合が59.6%と最も高く、次いで「9時台」の割合が27.0%となっています。



② 利用終了時刻

「15時台」の割合が31.2%と最も高く、次いで「16時台」の割合が27.2%、「17時台」の割合が15.2%となっています。

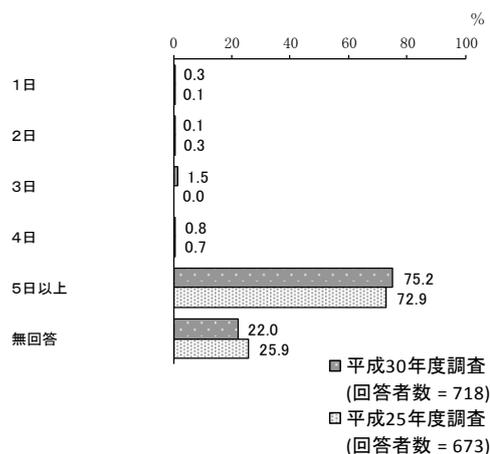


イ. 希望

(ア) 利用日数

「5日以上」の割合が75.2%と最も高くなっています。

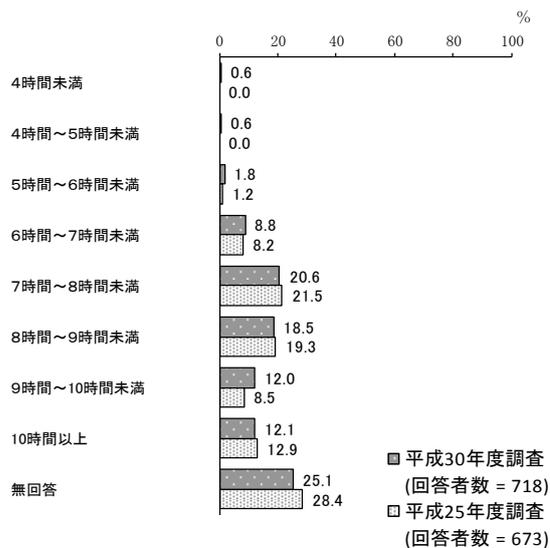
平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(イ) 利用時間

「7時間～8時間未満」の割合が20.6%と最も高く、次いで「8時間～9時間未満」の割合が18.5%、「10時間以上」の割合が12.1%となっています。

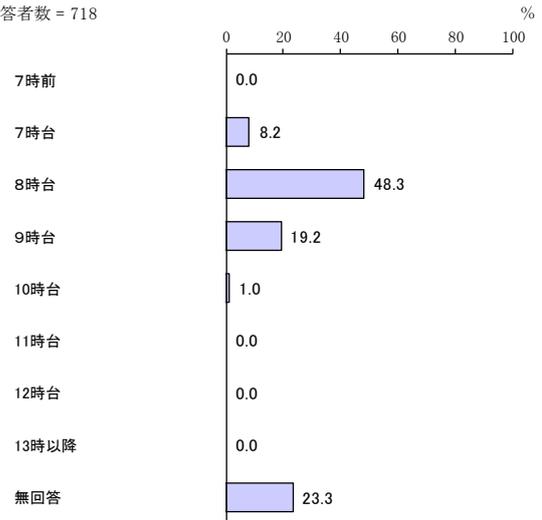
平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



①利用開始時刻

「8時台」の割合が48.3%と最も高く、次いで「9時台」の割合が19.2%となっています。

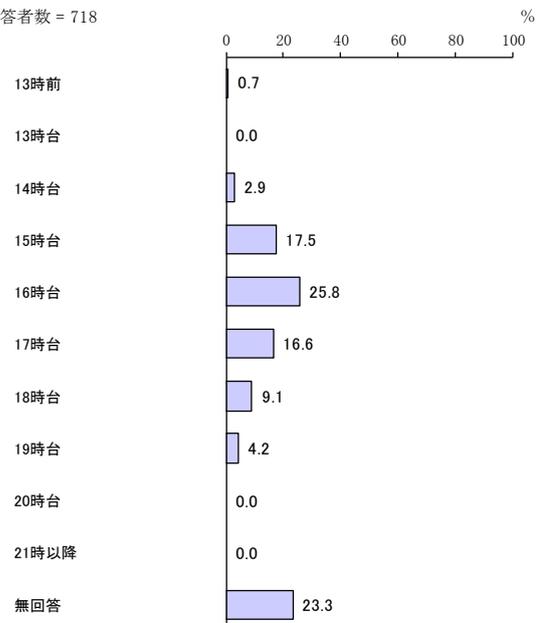
回答者数 = 718



②利用終了時刻

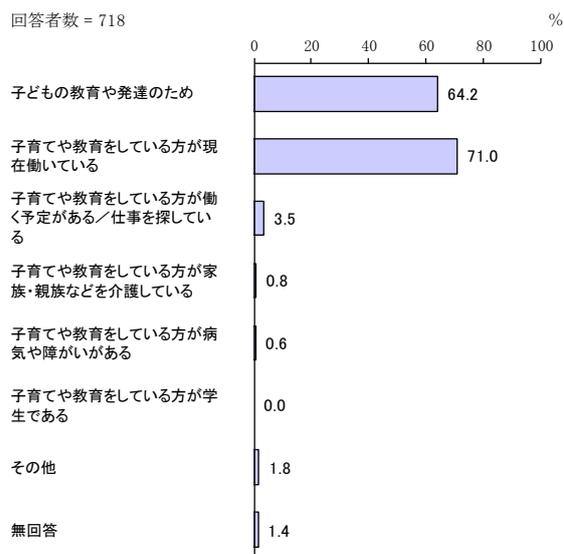
「16時台」の割合が25.8%と最も高く、次いで「15時台」の割合が17.5%、「17時台」の割合が16.6%となっています。

回答者数 = 718



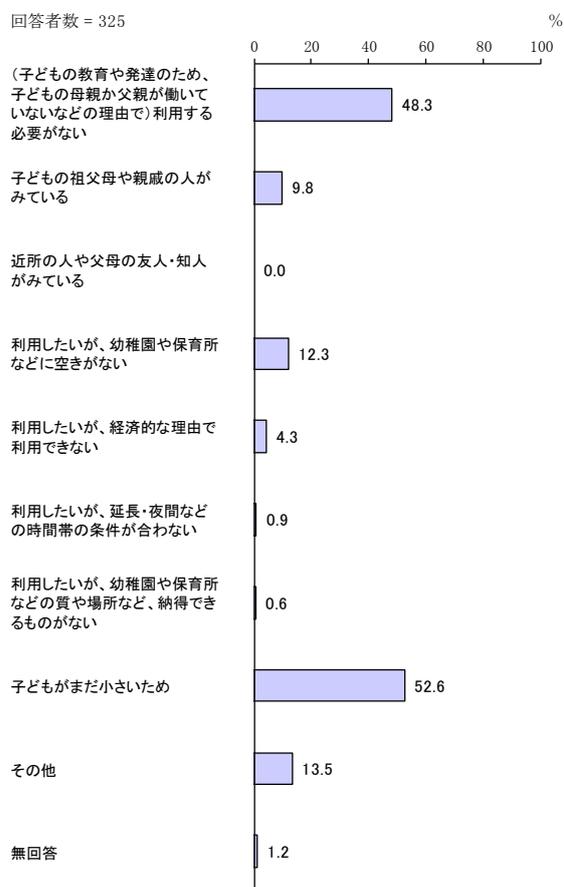
問 15-4 平日に定期的に幼稚園や保育所などを利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「子育てや教育をしている方が現在働いている」の割合が71.0%と最も高く、次いで「子どもの教育や発達のため」の割合が64.2%となっています。



問 15-5 利用していない理由は何ですか。理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

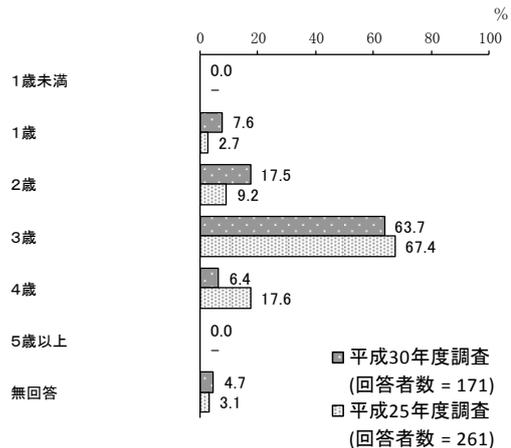
「子どもがまだ小さいため」の割合が52.6%と最も高く、次いで「(子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が働いていないなどの理由で) 利用する必要がない」の割合が48.3%、「利用したいが、幼稚園や保育所などに空きがない」の割合が12.3%となっています。



子どもがまだ小さいため 利用を開始したい子どもの年齢

「3歳」の割合が63.7%と最も高く、次いで「2歳」の割合が17.5%となっています。

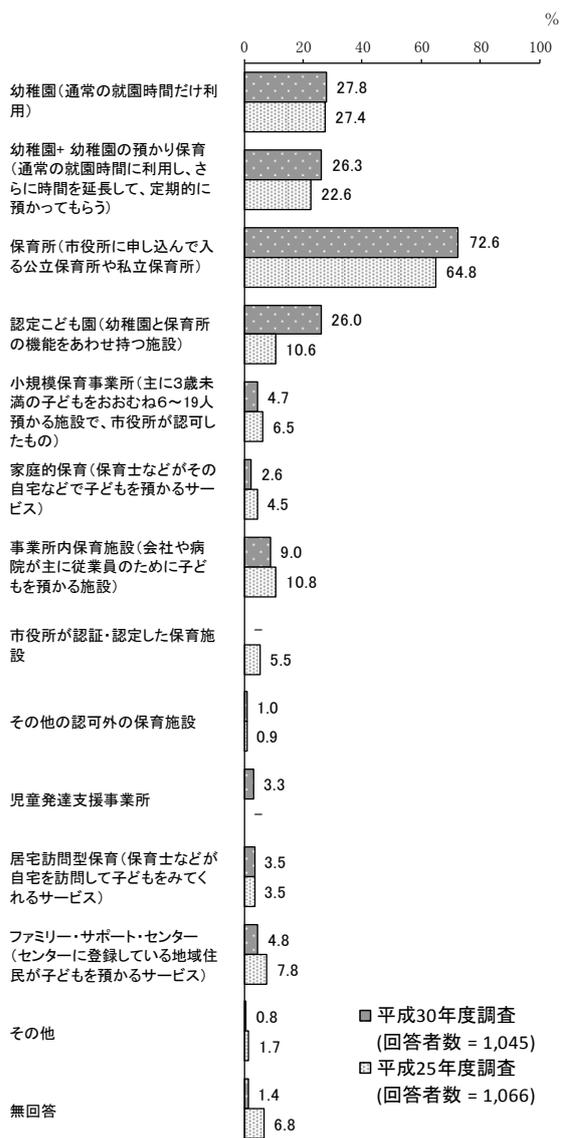
平成25年度調査と比較すると、「2歳」の割合が増加しています。一方、「4歳」の割合が減少しています。



問 16 すべての方にうかがいます。現在、利用している、利用していないにかかわらず、お子さんの平日の幼稚園や保育所などで、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用料が発生します。認可保育所の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。

「保育所（市役所に申し込んで入る公立保育所や私立保育所）」の割合が72.6%と最も高く、次いで「幼稚園（通常の就園時間だけ利用）」の割合が27.8%、「幼稚園+幼稚園の預かり保育（通常の就園時間に利用し、さらに時間を延長して、定期的に預かってもらう）」の割合が26.3%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「保育所（市役所に申し込んで入る公立保育所や私立保育所）」「認定こども園（幼稚園と保育所の機能をあわせ持つ施設）」の割合が増加しています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別で見ると、他に比べ、0歳、1歳で「保育所」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	幼稚園	幼稚園＋ 幼稚園の預かり保育	保育所	認定こども園	小規模保育事業所	家庭的保育	事業所内保育施設	その他の認可外の保育施設	児童発達支援事業所	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
0歳	169	29.6	26.6	79.9	29.0	8.9	2.4	9.5	1.2	4.1	4.7	7.7	1.8	—
1歳	162	27.2	29.0	81.5	34.6	8.0	1.9	13.6	—	2.5	2.5	5.6	—	1.2
2歳	173	30.1	23.1	72.3	20.8	3.5	3.5	11.6	1.7	4.0	4.0	6.4	0.6	1.7
3歳	168	24.4	26.2	69.0	22.0	4.8	3.0	8.9	1.2	4.2	4.8	3.6	1.2	0.6
4歳	190	28.4	25.8	64.7	26.3	1.6	3.2	6.3	1.1	3.7	2.6	2.1	1.1	2.1
5歳	166	25.9	25.9	71.1	25.3	1.8	1.8	5.4	0.6	1.8	3.0	4.2	—	1.8

【母親の就労状況別】

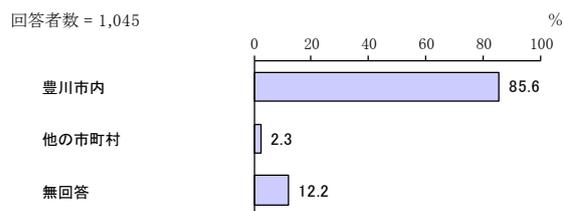
母親の就労状況別でみると、他に比べ、フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で働いている、フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で働いているが、今は休んでいる（出産休暇・育児休業・介護休業中）、パート・アルバイト等（フルタイム以外）で働いているが、今は休んでいる（出産休暇・育児休業・介護休業中）で「保育所」の割合が、これまで働いたことがないで「幼稚園」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	幼稚園	幼稚園＋幼稚園の預かり保育	保育所	認定こども園	小規模保育事業所	家庭的保育	事業所内保育施設	その他の認可外の保育施設	児童発達支援事業所	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で働いている	219	7.3	17.8	91.8	21.9	3.2	3.2	11.4	0.5	0.9	5.9	5.5	0.5	1.8
フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で働いているが、今は休んでいる（出産休暇・育児休業・介護休業中）	115	15.7	24.3	88.7	33.9	3.5	5.2	7.0	1.7	—	4.3	6.1	2.6	—
パート・アルバイト等（フルタイム以外）で働いている	377	19.9	24.1	74.8	26.3	4.8	1.9	8.5	0.5	3.4	2.7	3.4	—	2.1
パート・アルバイト等（フルタイム以外）で働いているが、今は休んでいる（出産休暇・育児休業・介護休業中）	25	8.0	24.0	88.0	16.0	12.0	4.0	12.0	4.0	4.0	4.0	8.0	—	4.0
以前は働いていたが、今は働いていない	281	58.4	36.7	49.1	27.0	6.0	2.1	9.3	1.4	5.7	2.8	5.7	1.1	0.4
これまで働いたことがない	17	70.6	41.2	35.3	17.6	—	—	—	—	5.9	—	—	5.9	—

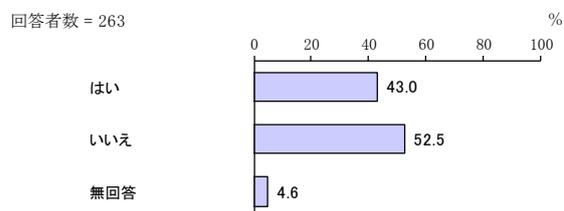
問 16-1 利用を希望している幼稚園や保育所などはどこにありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「豊川市内」の割合が 85.6%、「他の市町村」の割合が 2.3%となっています。



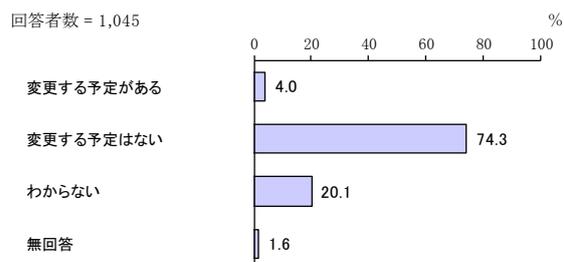
問 16-2 問 16 で「1. 幼稚園」または「2. 幼稚園+幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ3~12にも○をつけた方にうかがいます。特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「はい」の割合が 43.0%、「いいえ」の割合が 52.5%となっています。



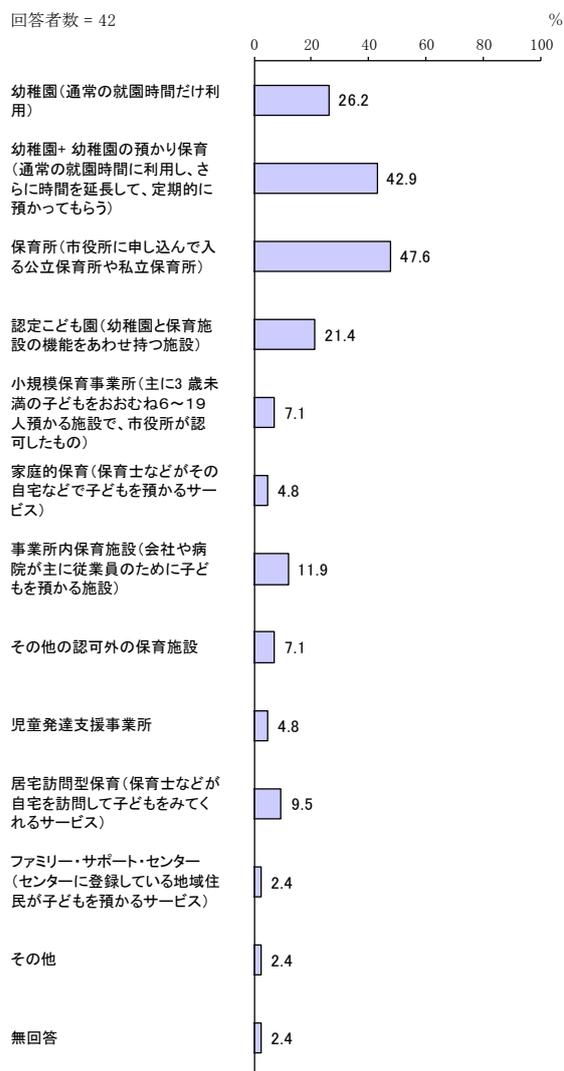
問 17 すべての方にうかがいます。国では、2019年10月から実施する消費税増税分を使って、幼児教育・保育の無償化を実施するとしていますが、無償化によって、問 16 で回答していただいた事業の利用を変更したいと考えますか。

「変更する予定はない」の割合が 74.3%と最も高く、次いで「わからない」の割合が 20.1%となっています。



問 17-1 問 17 で「1. 変更する予定がある」に○をつけた方にうかがいます。無償化された場合に、お子さんの平日の幼稚園や保育所などで、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「保育所（市役所に申し込んで入る公立保育所や私立保育所）」の割合が 47.6%と最も高く、次いで「幼稚園+幼稚園の預かり保育（通常の就園時間に利用し、さらに時間を延長して、定期的に預かってもらう）」の割合が 42.9%、「幼稚園（通常の就園時間だけ利用）」の割合が 26.2%となっています。

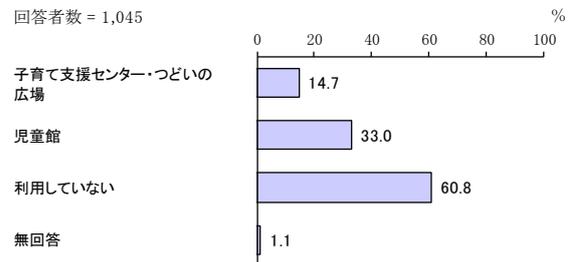


(6) お子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について

問 18 お子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業※を利用していますか。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、利用している方はおおよその利用回数を（ ）内に数字でご記入ください。

「利用していない」の割合が 60.8%と最も高く、次いで「児童館」の割合が 33.0%、「子育て支援センター・つどいの広場」の割合が 14.7%となっています。

回答者数 = 1,045



【小学校区別】

小学校区別でみると、他に比べ、千両小学校区で「利用していない」の割合が高くなっています。

単位：％

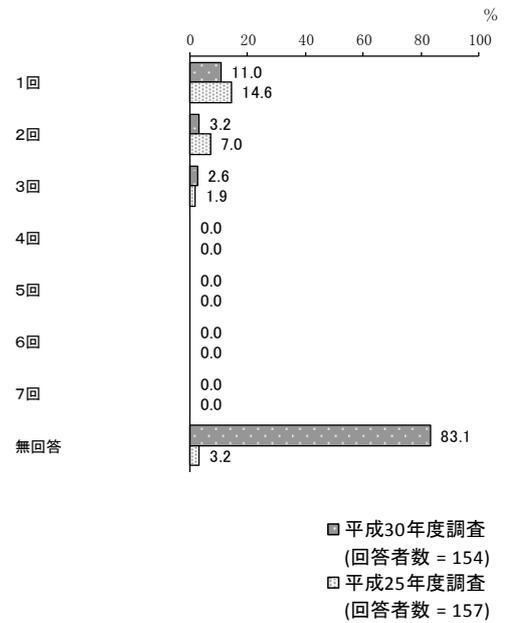
区分	有効回答数 (件)	子育て支援センター・ つどいの広場	児童館	利用していない	無回答
豊川小学校区	28	17.9	17.9	67.9	—
東部小学校区	42	14.3	16.7	71.4	2.4
桜木小学校区	28	14.3	35.7	64.3	—
三蔵子小学校区	73	15.1	35.6	56.2	2.7
千両小学校区	10	10.0	—	90.0	—
牛久保小学校区	40	12.5	32.5	62.5	—
中部小学校区	78	17.9	43.6	47.4	2.6
八南小学校区	88	17.0	39.8	52.3	1.1
平尾小学校区	32	15.6	37.5	53.1	3.1
国府小学校区	88	12.5	33.0	62.5	—
桜町小学校区	36	5.6	27.8	72.2	—
御油小学校区	44	20.5	45.5	54.5	—
天王小学校区	22	4.5	31.8	63.6	—
代田小学校区	60	28.3	35.0	55.0	—
金屋小学校区	34	23.5	29.4	64.7	—
豊小学校区	48	8.3	18.8	79.2	—
一宮東部小学校区	16	31.3	18.8	62.5	—
一宮西部小学校区	54	13.0	29.6	66.7	1.9
一宮南部小学校区	12	8.3	25.0	66.7	—
萩小学校区	5	40.0	60.0	40.0	—
長沢小学校区	11	—	36.4	63.6	—
赤坂小学校区	22	22.7	54.5	40.9	—
御津北部小学校区	14	21.4	28.6	57.1	—
御津南部小学校区	51	11.8	37.3	58.8	2.0
小坂井東小学校区	48	4.2	41.7	56.3	—
小坂井西小学校区	45	6.7	24.4	71.1	2.2

ア. 子育て支援センター・つどいの広場

(ア) 1週あたりでの利用回数

「1回」の割合が11.0%と最も高くなっています。

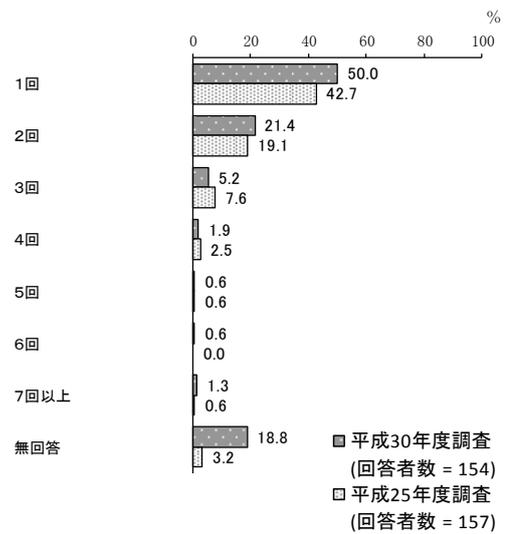
平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(イ) 1か月あたりでの利用回数

「1回」の割合が50.0%と最も高く、次いで「2回」の割合が21.4%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「1回」の割合が増加しています。

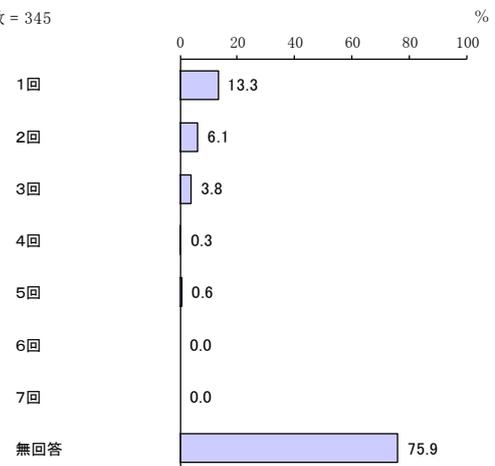


イ. 児童館

(ア) 1週あたりでの利用回数

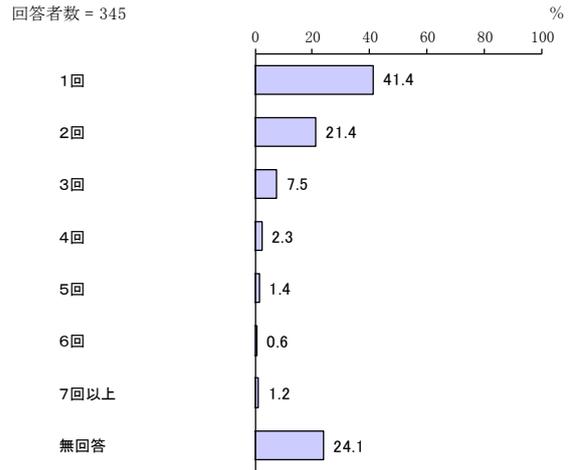
「1回」の割合が13.3%と最も高くなっています。

回答者数 = 345



(イ) 1か月あたりでの利用回数

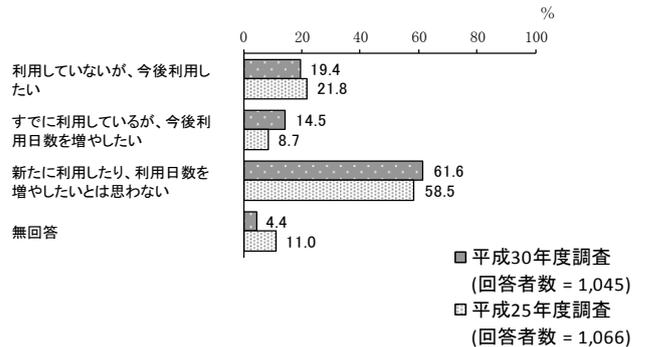
「1回」の割合が41.4%と最も高く、次いで「2回」の割合が21.4%となっています。



問 19 問 18 のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を（ ）内に数字でご記入ください。

「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」の割合が61.6%と最も高く、次いで「利用していないが、今後利用したい」の割合が19.4%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」の割合が14.5%となっています。

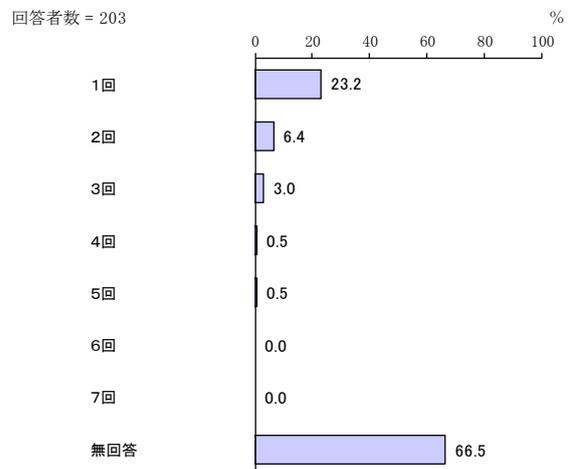
平成25年度調査と比較すると、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」の割合が増加しています。



ア. 利用していないが、今後利用したい

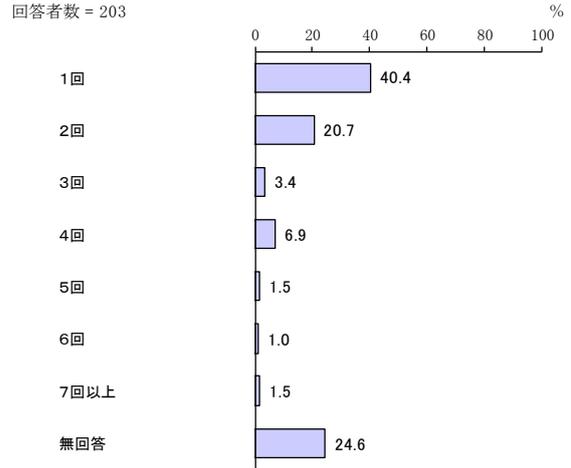
(ア) 1週あたりでの利用回数

「1回」の割合が23.2%と最も高くなっています。



(イ) 1か月あたりでの利用回数

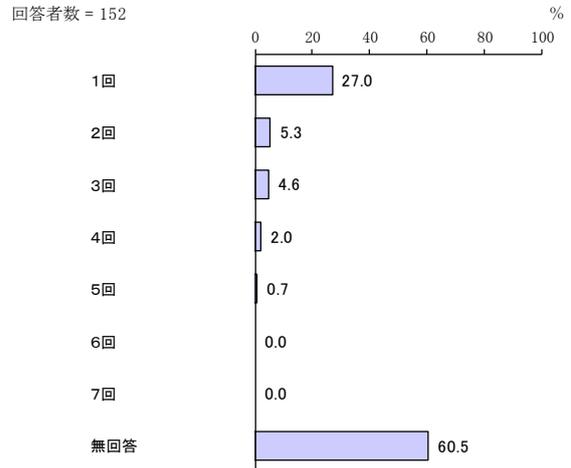
「1回」の割合が40.4%と最も高く、次いで「2回」の割合が20.7%となっています。



イ. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい

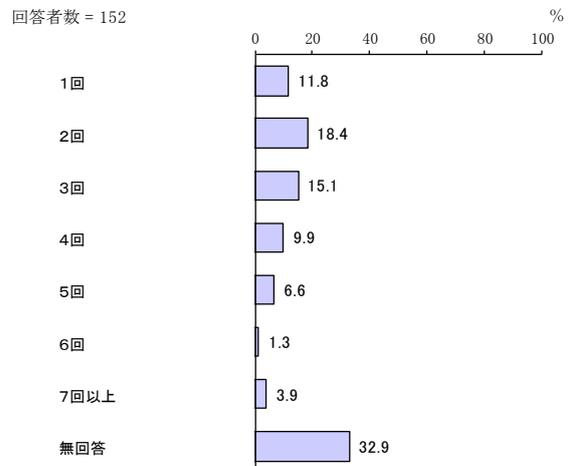
(ア) 1週あたりでの利用回数

「1回」の割合が27.0%と最も高くなっています。



(イ) 1か月あたりでの利用回数

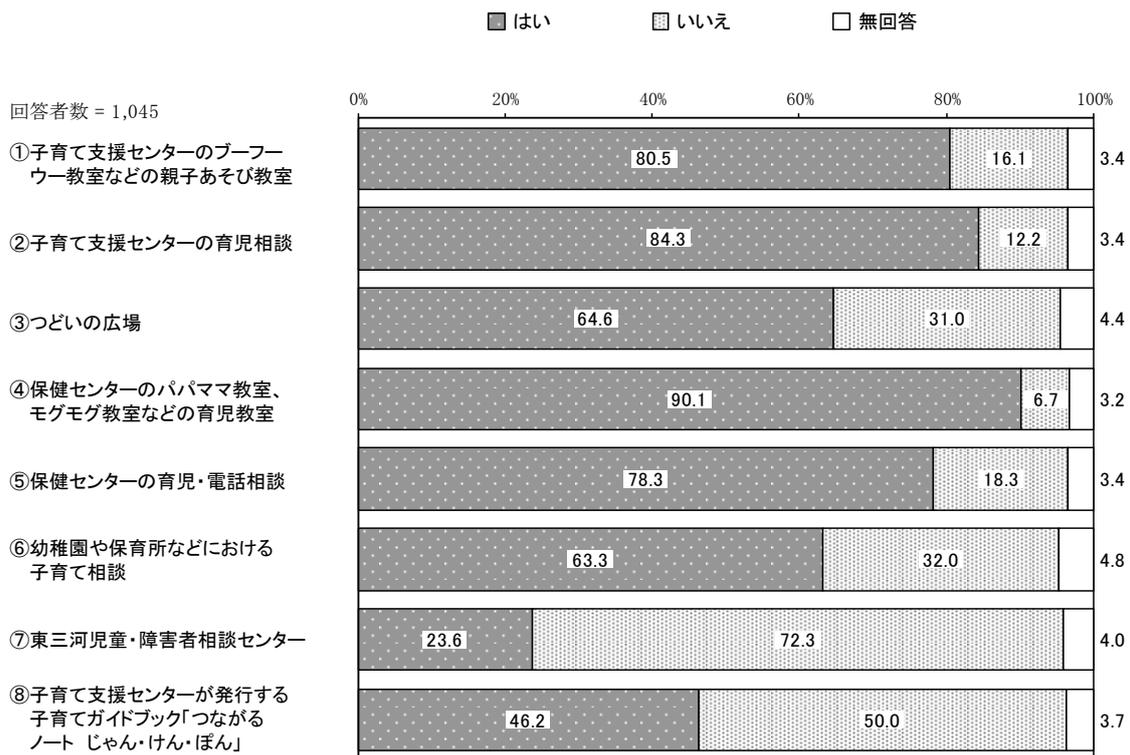
「2回」の割合が18.4%と最も高く、次いで「3回」の割合が15.1%、「1回」の割合が11.8%となっています。



問 20 下記のサービスで知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものはありますか。①～⑧のサービスごとに、A～Cのそれぞれについて、いずれか1つに○をつけてください。

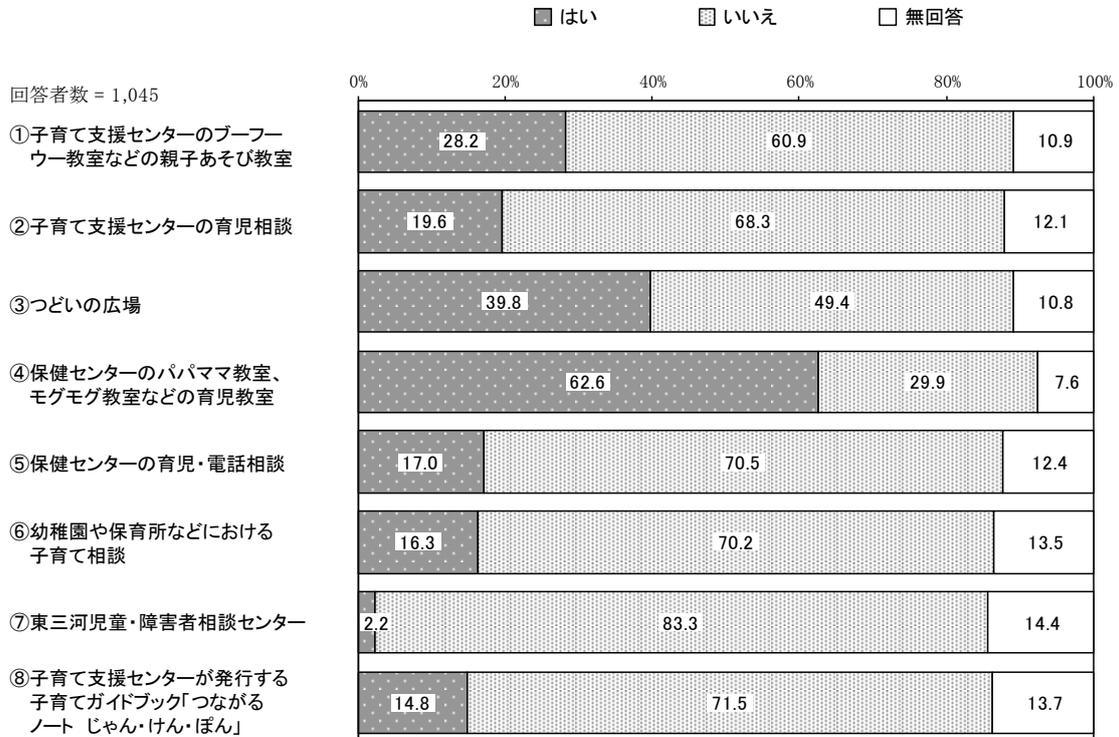
A. 知っている

『④ 保健センターのパパママ教室、モグモグ教室などの育児教室』で「はい」の割合が高くなっています。また、『⑦ 東三河児童・障害者相談センター』で「いいえ」の割合が高くなっています。



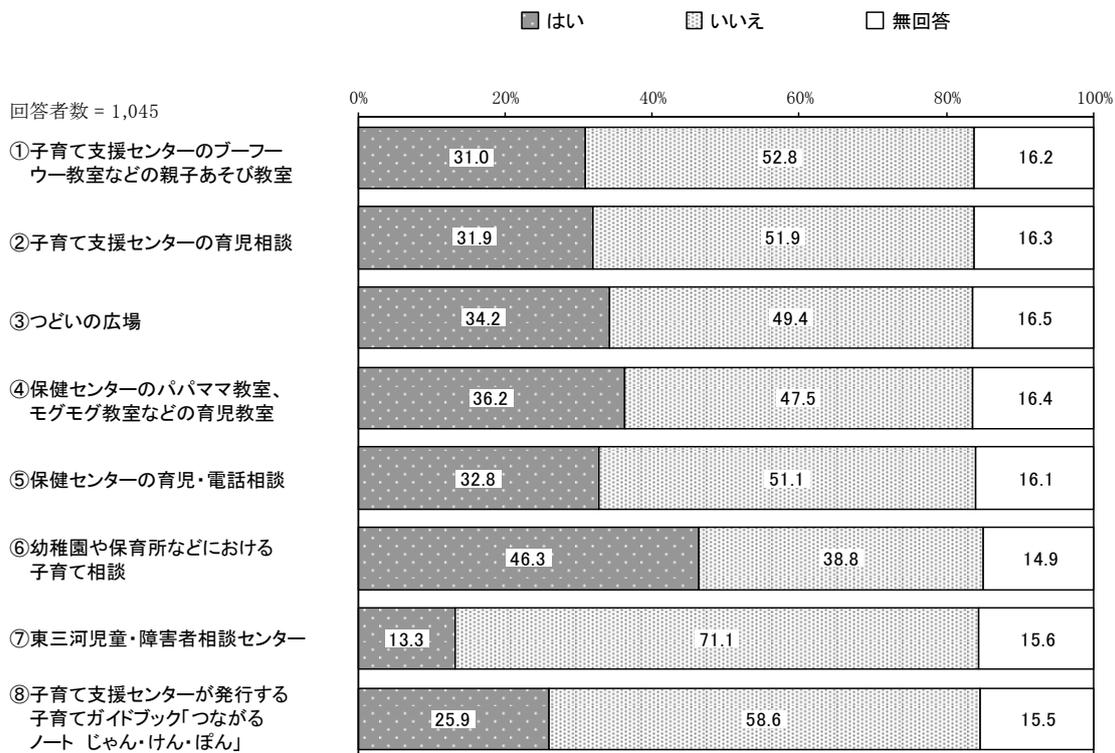
B. これまでに利用したことがある

『④ 保健センターのパパママ教室、モグモグ教室などの育児教室』で「はい」の割合が高くなっています。また、『⑦ 東三河児童・障害者相談センター』で「いいえ」の割合が高くなっています。



C. 今後利用したい

『⑥ 幼稚園や保育所などにおける子育て相談』で「はい」の割合が高くなっています。また、『⑦ 東三河児童・障害者相談センター』で「いいえ」の割合が高くなっています。



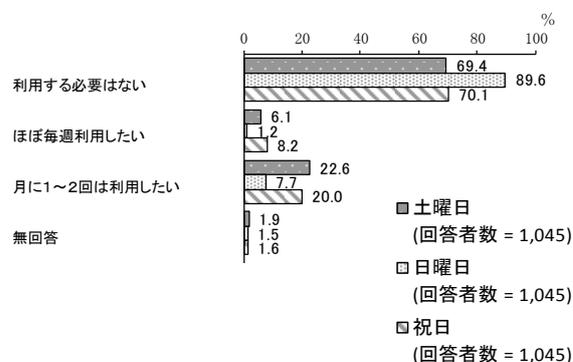
(7) お子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な幼稚園や保育所などの利用希望について

問 21 お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、幼稚園や保育所などの事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。当てはまる番号1つに○をつけてください。また、希望がある場合は、利用したい時間帯を（ ）内に数字でご記入ください。

土曜日では「利用する必要はない」の割合が69.4%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」の割合が22.6%となっています。

日曜日では「利用する必要はない」の割合が89.6%と最も高くなっています。

祝日では「利用する必要はない」の割合が70.1%と最も高く、次いで「年に数回は利用したい」の割合が20.0%となっています。

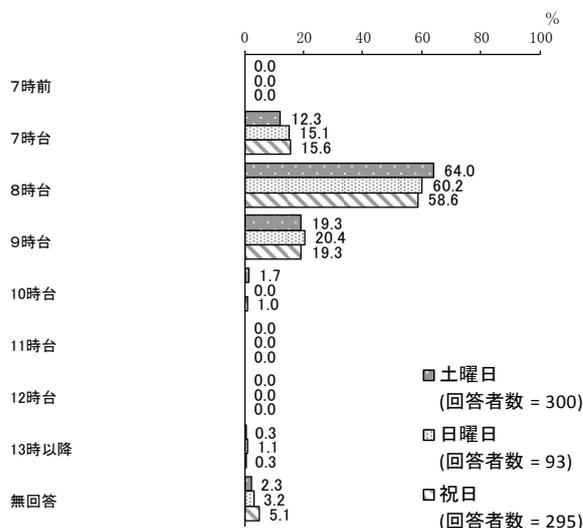


(ア) 利用開始時刻

土曜日では「8時台」の割合が64.0%と最も高く、次いで「9時台」の割合が19.3%、「7時台」の割合が12.3%となっています。

日曜日では「8時台」の割合が60.2%と最も高く、次いで「9時台」の割合が20.4%、「7時台」の割合が15.1%となっています。

祝日では「8時台」の割合が58.6%と最も高く、次いで「9時台」の割合が19.3%、「7時台」の割合が15.6%となっています。

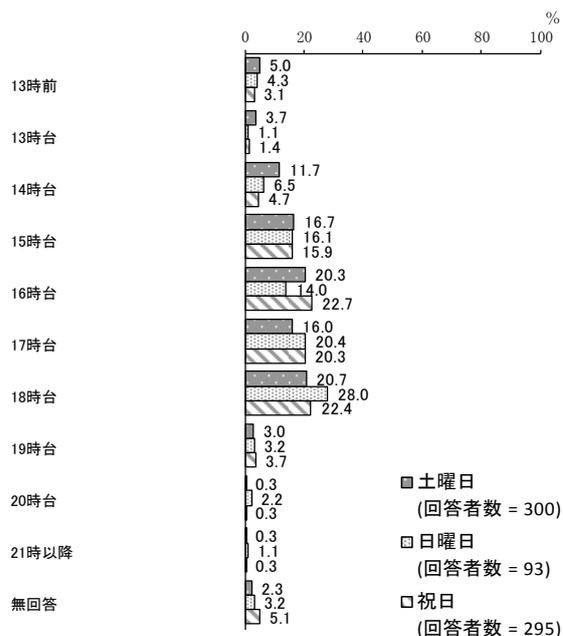


(イ) 利用終了時刻

土曜日では「18 時台」の割合が 20.7%と最も高く、次いで「16 時台」の割合が 20.3%、「15 時台」の割合が 16.7%となっています。

日曜日では「18 時台」の割合が 28.0%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 20.4%、「15 時台」の割合が 16.1%となっています。

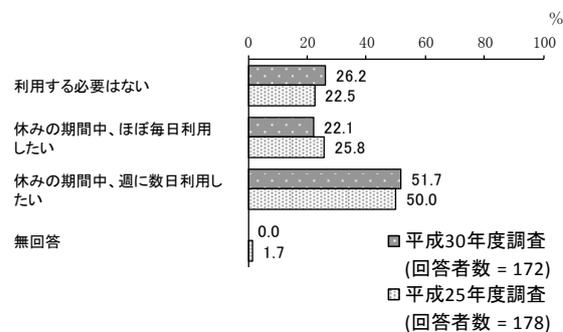
祝日では「16 時台」の割合が 22.7%と最も高く、次いで「18 時台」の割合が 22.4%、「17 時台」の割合が 20.3%となっています。



問 22 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。お子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の幼稚園や保育所などの利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)9 時 00 分～18 時 00 分のように 24 時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用料が発生します。

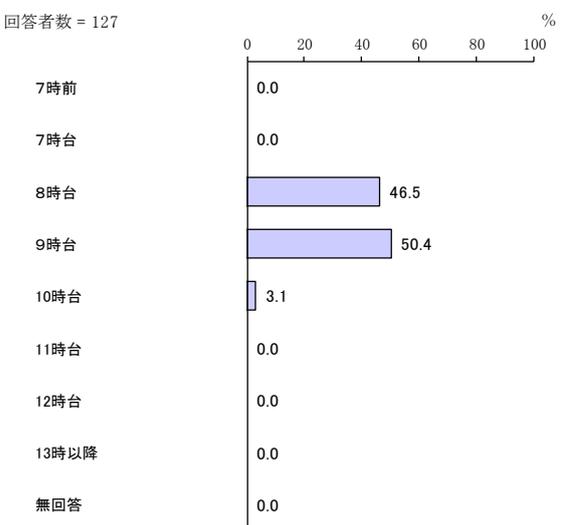
「休みの期間中、週に数日利用したい」の割合が 51.7%と最も高く、次いで「利用する必要はない」の割合が 26.2%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」の割合が 22.1%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



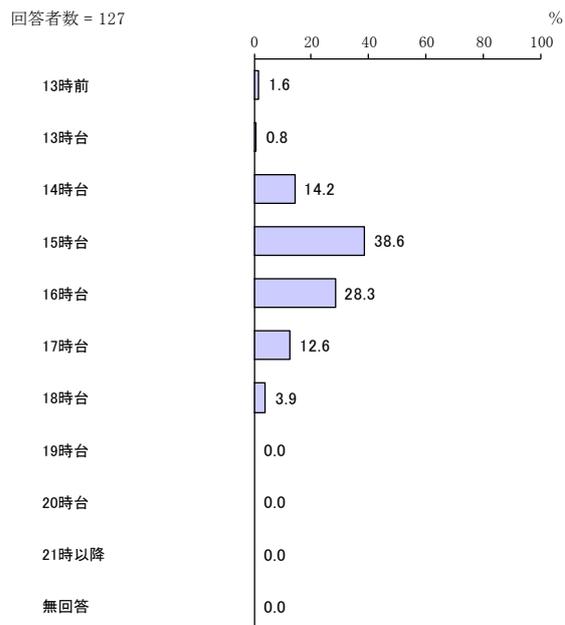
ア. 利用開始時刻

「9 時台」の割合が 50.4%と最も高く、次いで「8 時台」の割合が 46.5%となっています。



イ. 利用終了時刻

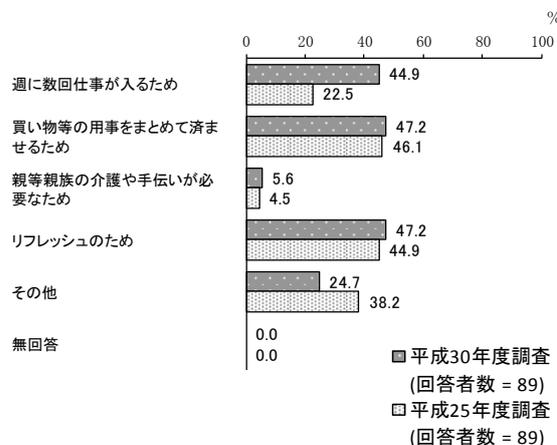
「15 時台」の割合が 38.6%と最も高く、次いで「16 時台」の割合が 28.3%、「14 時台」の割合が 14.2%となっています。



問 22-1 問 22 で、「3. 休みの期間中、週に数日利用したい」に○をつけた方にかがいます。毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「買い物等の用事をまとめて済ませるため」、「リフレッシュのため」の割合が 47.2%と最も高く、次いで「週に数回仕事が入るため」の割合が 44.9%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「週に数回仕事が入るため」の割合が増加しています。

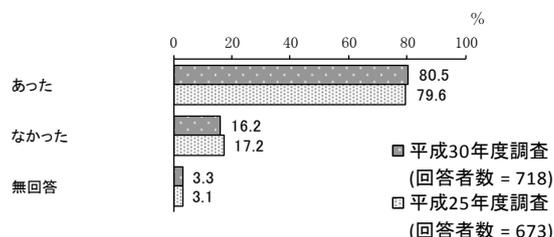


(8) お子さんの病気の際の対応について

問 23 平日の定期的な幼稚園や保育所などを利用していると答えた保護者の方（問 15 で「1.」に○をつけた方）にうかがいます。利用していない方は、問 24 にお進みください。この1年間に、お子さんが病気やけがで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

「あった」の割合が80.5%、「なかった」の割合が16.2%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別でみると、他に比べ、0歳、1歳で「あった」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	あった	なかった	無回答
0歳	30	93.3	6.7	—
1歳	63	93.7	4.8	1.6
2歳	98	79.6	15.3	5.1
3歳	165	81.8	15.8	2.4
4歳	187	73.8	20.3	5.9
5歳	166	80.1	18.1	1.8

【母親の就労状況別】

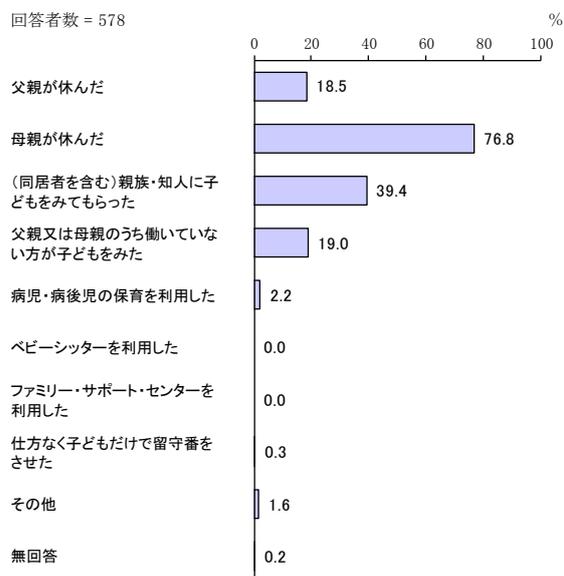
母親の就労状況別でみると、他に比べ、フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で働いているで「あった」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	あ っ た	な か っ た	無 回 答
フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度 の就労)で働いている	209	90.4	6.2	3.3
フルタイム(1週5日程度・1日8時間程 度の就労)で働いているが、今は休ん でいる(出産休暇・育児休業・介護休業中)	45	77.8	20.0	2.2
パート・アルバイト等(フルタイム以外)で 働いている	324	81.8	15.1	3.1
パート・アルバイト等(フルタイム以外)で 働いているが、今は休んでいる(出産休 暇・育児休業・介護休業中)	15	60.0	33.3	6.7
以前は働いていたが、今は働いていな い	109	66.1	30.3	3.7
これまで働いたことがない	11	45.5	54.5	—

問 23-1 お子さんが病気やけがで普段利用している幼稚園や保育所などが利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も()内に数字でご記入ください。(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。)

「母親が休んだ」の割合が76.8%と最も高く、次いで「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」の割合が39.4%、「父親又は母親のうち働いていない方が子どもをみた」の割合が19.0%となっています。



1年間の対処方法

『ア 父親が休んだ』で「2日～3日」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	1日	2日～3日	4日～5日	6日～9日	10日～19日	20日以上	無回答
ア 父親が休んだ	107	26.2	43.9	15.9	4.7	2.8	0.9	5.6
イ 母親が休んだ	444	7.0	24.1	21.6	8.3	24.8	5.9	8.3
ウ (同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	228	12.3	30.7	24.1	6.6	15.8	5.3	5.3
エ 父親又は母親のうち働いていない方が子どもをみた	110	10.9	28.2	19.1	12.7	14.5	5.5	9.1
オ 病児・病後児の保育を利用した	13	15.4	30.8	23.1	15.4	7.7	7.7	-
カ ベビーシッターを利用した	-	-	-	-	-	-	-	-
キ ファミリー・サポート・センターを利用した	-	-	-	-	-	-	-	-
ク 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	2	50.0	50.0	-	-	-	-	-
ケ その他	9	-	22.2	-	22.2	44.4	-	11.1

【子どもの年齢別】

子どもの年齢別で見ると、他に比べ、0歳、2歳で「母親が休んだ」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	父親が休んだ	母親が休んだ	(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	父親又は母親のうち働いていない方が子どもをみた	病児・病後児の保育を利用した	ベビーシッターを利用した	ファミリー・サポート・センターを利用した	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
0歳	28	28.6	82.1	42.9	14.3	3.6	—	—	—	—	—
1歳	59	30.5	79.7	52.5	16.9	3.4	—	—	—	1.7	—
2歳	78	20.5	83.3	46.2	16.7	2.6	—	—	—	1.3	—
3歳	135	15.6	72.6	37.8	23.7	0.7	—	—	0.7	1.5	—
4歳	138	16.7	73.2	35.5	20.3	2.9	—	—	0.7	—	—
5歳	133	15.0	77.4	36.1	17.3	2.3	—	—	—	3.8	0.8

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別でみると、他に比べ、パート・アルバイト等（フルタイム以外）で働いているで「母親が休んだ」の割合が高くなっています。

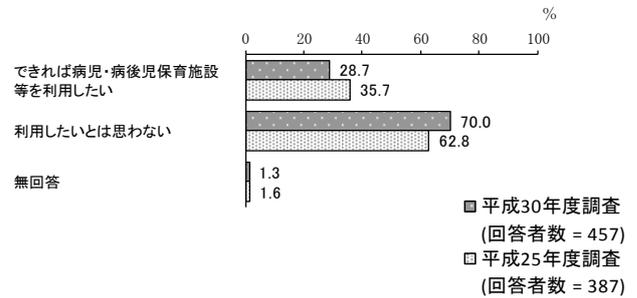
単位：％

区分	有効回答数（件）	父親が休んだ	母親が休んだ	（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった	父親又は母親のうち働いていない方が子どもをみた	病児・病後児の保育を利用した	ベビーシッターを利用した	ファミリー・サポート・センターを利用した	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で働いている	189	34.9	82.0	61.4	6.9	4.8	—	—	1.1	0.5	—
フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で働いているが、今は休んでいる（出産休暇・育児休業・介護休業中）	35	17.1	68.6	34.3	34.3	2.9	—	—	—	2.9	—
パート・アルバイト等（フルタイム以外）で働いている	265	11.7	92.8	34.7	7.2	1.1	—	—	—	2.3	—
パート・アルバイト等（フルタイム以外）で働いているが、今は休んでいる（出産休暇・育児休業・介護休業中）	9	11.1	88.9	11.1	11.1	—	—	—	—	—	—
以前は働いていたが、今は働いていない	72	2.8	15.3	6.9	81.9	—	—	—	—	—	1.4
これまで働いたことがない	5	—	—	20.0	100.0	—	—	—	—	—	—

問 23-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても（ ）内に数字でご記入ください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

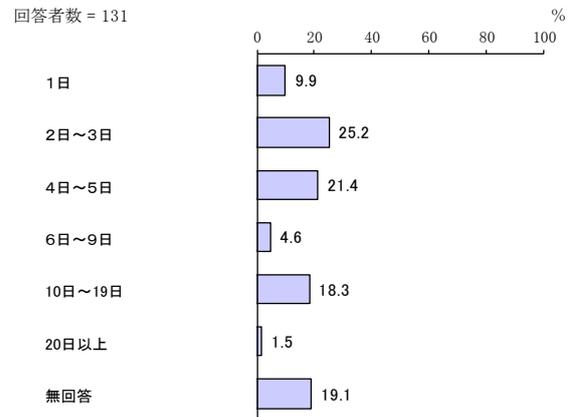
「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」の割合が28.7%、「利用したいとは思わない」の割合が70.0%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「利用したいとは思わない」の割合が増加しています。一方、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」の割合が減少しています。



病児・病後児保育施設等を利用したい日数

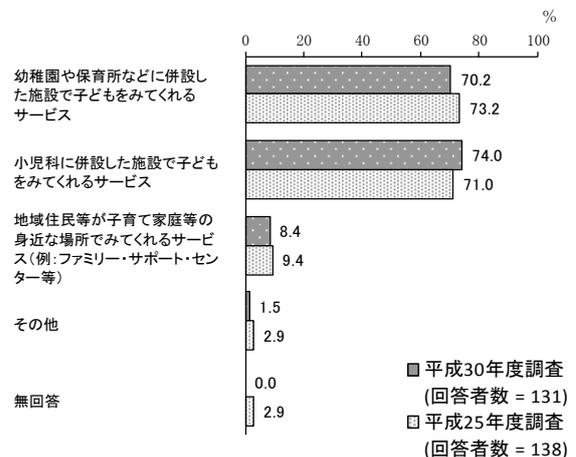
「2日～3日」の割合が25.2%と最も高く、次いで「4日～5日」の割合が21.4%、「10日～19日」の割合が18.3%となっています。



問 23-3 問 23-2で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われませんか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「小児科に併設した施設で子どもをみてくれるサービス」の割合が74.0%と最も高く、次いで「幼稚園や保育所などに併設した施設で子どもをみてくれるサービス」の割合が70.2%となっています。

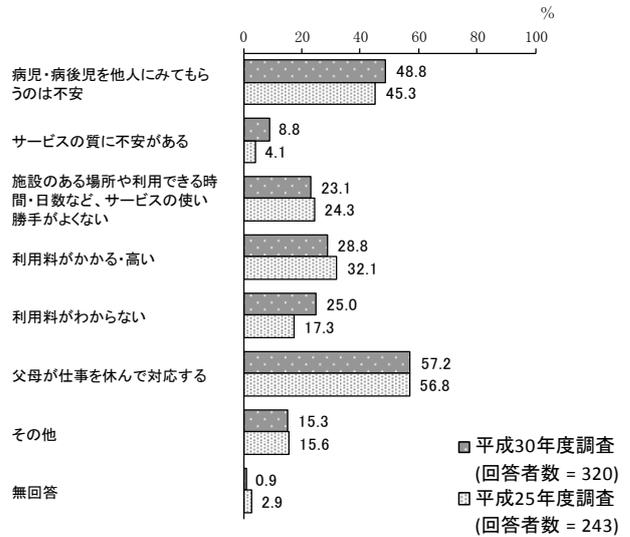
平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 23-4 問 23-2で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

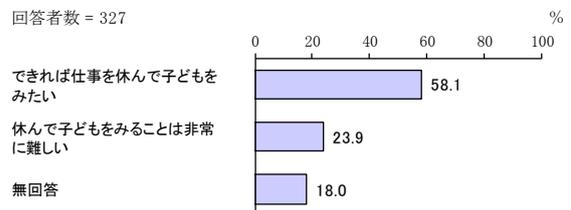
「父母が仕事を休んで対応する」の割合が57.2%と最も高く、次いで「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」の割合が48.8%、「利用料がかかる・高い」の割合が28.8%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「利用料がわからない」の割合が増加しています。



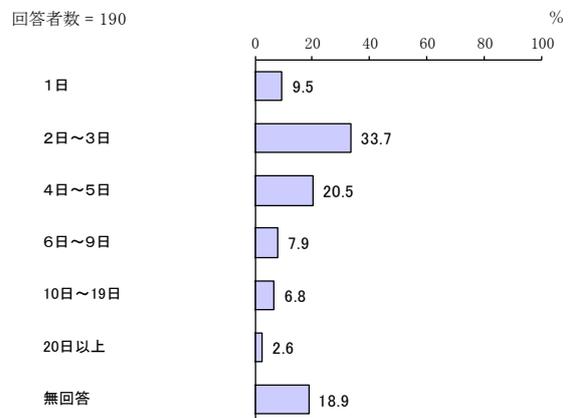
問 23-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで子どもをみたい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、「ウ」から「ケ」の日数のうち仕事を休んでみたかった日数についても () 内に数字でご記入ください。

「できれば仕事を休んで子どもをみたい」の割合が58.1%、「休んで子どもをみることは非常に難しい」の割合が23.9%となっています。



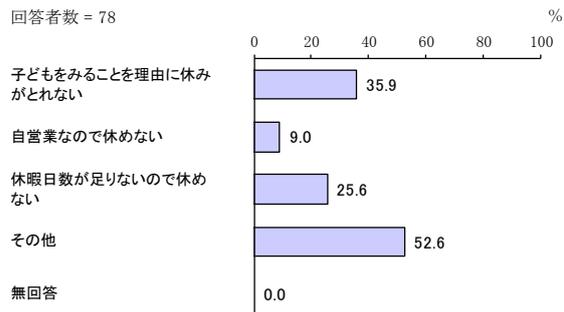
仕事を休んで子どもをみたい日数

「2日～3日」の割合が33.7%と最も高く、次いで「4日～5日」の割合が20.5%となっています。



問 23-6 問 23-5で「2. 休んで子どもをみることは非常に難しい」に○をつけた方
 にかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつ
 けてください。

「その他（仕事が多い、職場の雰囲気が休みづ
 らい等）」の割合が 35.9%と最も高く、次いで子
 どもをみることを理由に休みがとれない」の割合
 が 35.9%、「休曜日数が足りないので休めない」
 の割合が 25.6%となっています。

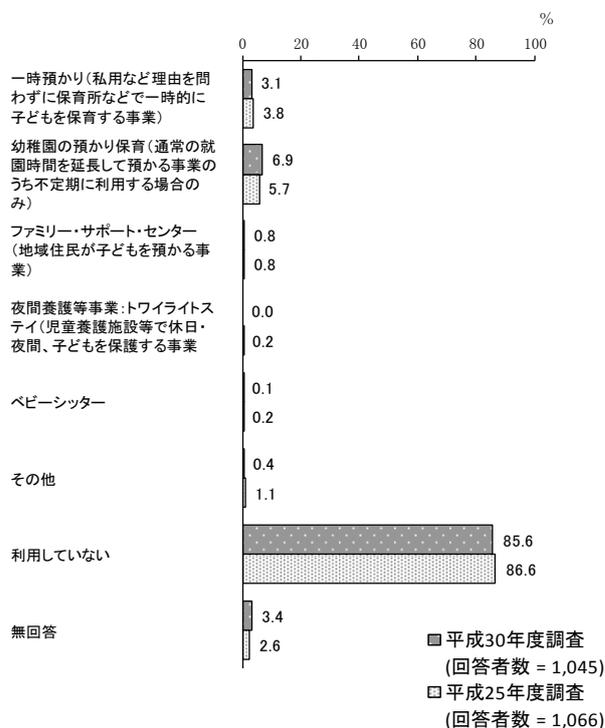


(9) お子さんの不定期の幼稚園や保育所などや宿泊を伴う一時預かり等の 利用について

問 24 お子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、
 不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、
 当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）を（ ）内
 に数字でご記入ください。

「利用していない」の割合が 85.6%と最も高く
 なっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化は
 みられません。



年間利用日数

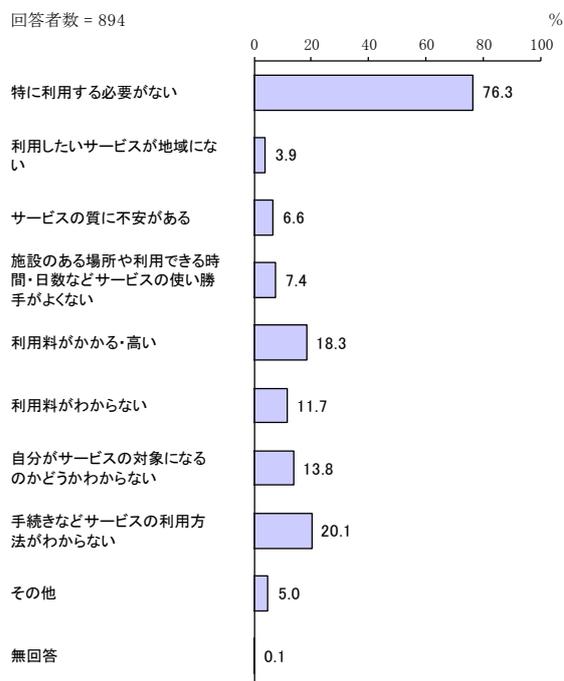
『1. 一時預かり』で「20日以上」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	1日	2日 ～ 3日	4日 ～ 5日	6日 ～ 9日	10日 ～ 19日	20日 以上	無回答
1. 一時預かり	32	6.3	18.8	9.4	-	18.8	43.8	3.1
2. 幼稚園の預かり保育	72	1.4	13.9	13.9	5.6	31.9	26.4	6.9
3. ファミリー・サポート・センター	8	25.0	12.5	25.0	-	37.5	-	-
4. 夜間養護等事業:トワイライトステイ	-	-	-	-	-	-	-	-
5. ベビーシッター	1	-	-	100.0	-	-	-	-
6. その他	4	50.0	25.0	-	-	25.0	-	-

問 24-1 現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

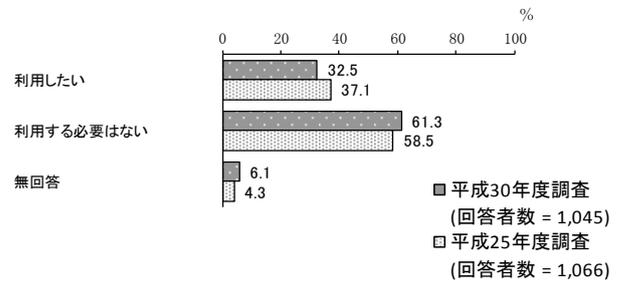
「特に利用する必要がない」の割合が76.3%と最も高く、次いで「手続きなどサービスの利用方法がわからない」の割合が20.1%、「利用料がかかる・高い」の割合が18.3%となっています。



問 25 お子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、今後年間何日くらいお子さんを預かる事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を（ ）内に数字でご記入ください。）なお、これらの事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

「利用したい」の割合が 32.5%、「利用する必要はない」の割合が 61.3%となっています。

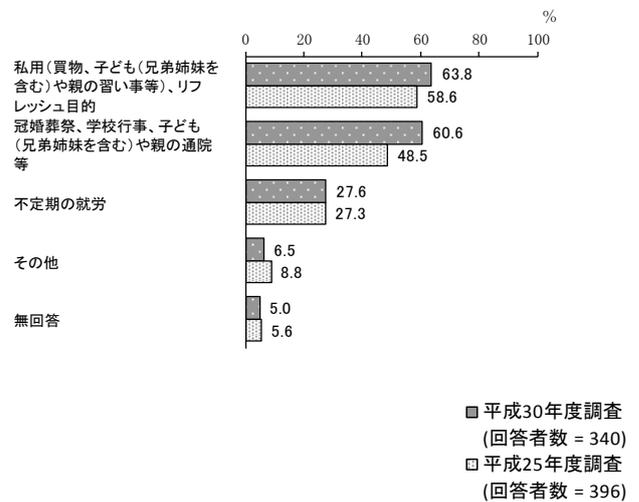
平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



ア. 利用したい

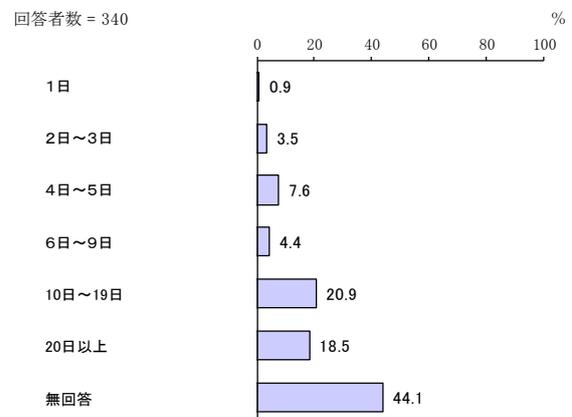
「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」の割合が 63.8%と最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」の割合が 60.6%、「不定期の就労」の割合が 27.6%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」の割合が増加しています。



合計日数

「10 日～19 日」の割合が 20.9%と最も高く、次いで「20 日以上」の割合が 18.5%となっています。



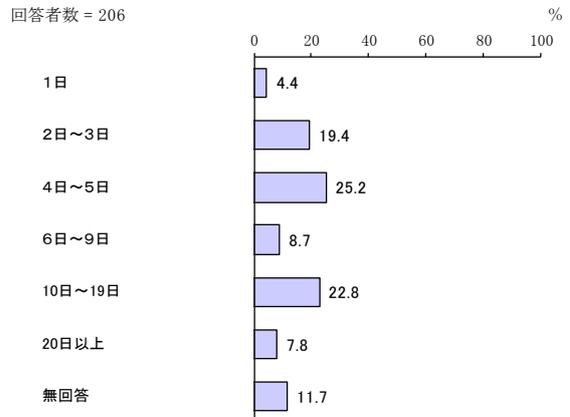
ア. 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的

「10日～19日」の割合が33.6%と最も高く、次いで「2日～3日」、「4日～5日」の割合が16.6%となっています。



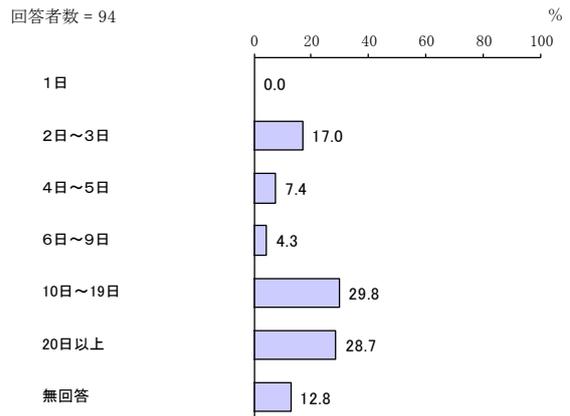
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等

「4日～5日」の割合が25.2%と最も高く、次いで「10日～19日」の割合が22.8%、「2日～3日」の割合が19.4%となっています。



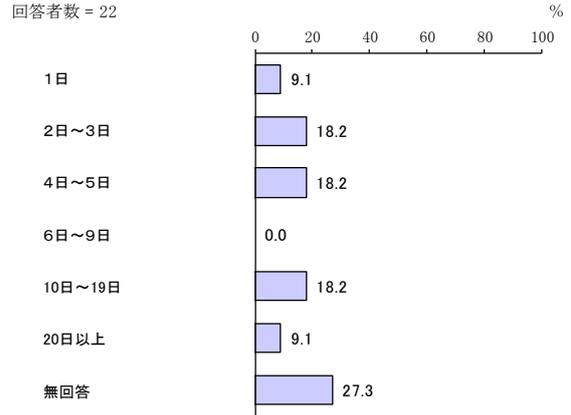
ウ. 不定期の就労

「10日～19日」の割合が29.8%と最も高く、次いで「20日以上」の割合が28.7%、「2日～3日」の割合が17.0%となっています。



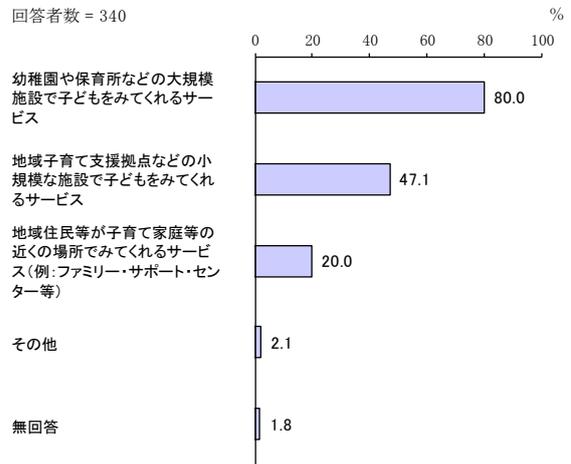
エ. その他

「2日～3日」、「4日～5日」、「10日～19日」の割合が18.2%と最も高くなっています。



問 25-1 問 25 の目的でお子さんを預ける場合、どんな子育て支援サービスが望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

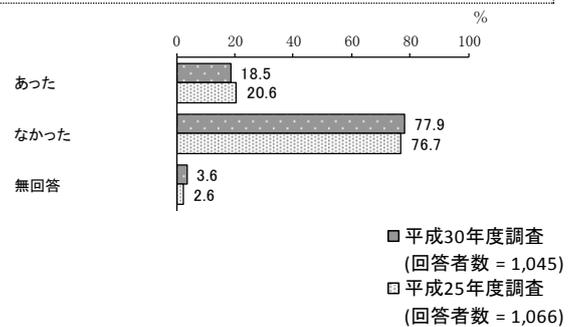
「幼稚園や保育所などの大規模施設で子どもをみてるサービス」の割合が80.0%と最も高く、次いで「地域子育て支援拠点などの小規模な施設で子どもをみてるサービス」の割合が47.1%、「地域住民等が子育て家庭等の近くの場合でみてるサービス（例：ファミリー・サポート・センター等）」の割合が20.0%となっています。



問 26 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、お子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も（ ）内に数字でご記入ください。

「あった」の割合が18.5%、「なかった」の割合が77.9%となっています。

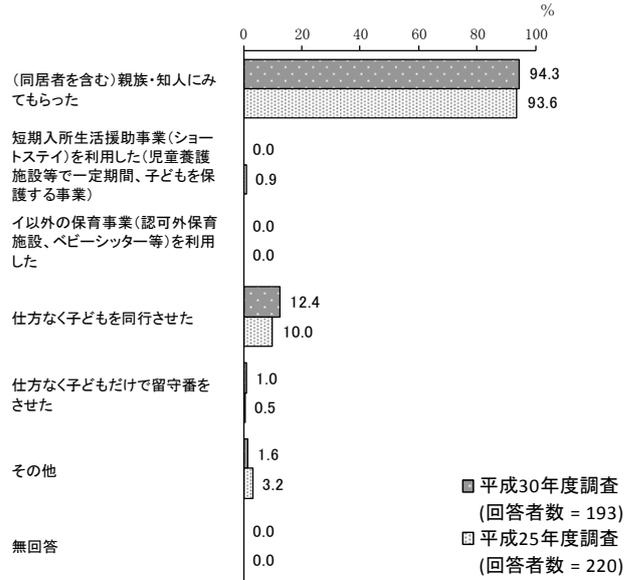
平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



あった

「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」の割合が94.3%と最も高く、次いで「仕方なく子どもを同行させた」の割合が12.4%となっています。

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



年間利用日数

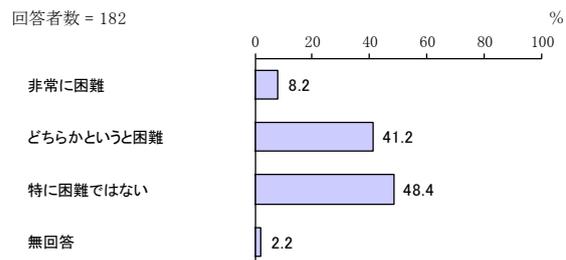
『エ 仕方なく子どもを同行させた』で「2泊～3泊」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	1泊	2泊～3泊	4泊～5泊	6泊～9泊	10日～19日	20日以上	無回答
ア (同居者を含む)親族・知人にみてもらった	182	21.4	24.2	15.9	5.5	9.9	6.0	17.0
イ 短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した	-	-	-	-	-	-	-	-
ウ イ以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した	-	-	-	-	-	-	-	-
エ 仕方なく子どもを同行させた	24	16.7	29.2	-	-	-	-	54.2
オ 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	2	-	-	-	-	-	-	100.0
カ その他	3	33.3	-	-	-	-	66.7	-

問 26-1 その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「特に困難ではない」の割合が48.4%と最も高く、次いで「どちらかという困難」の割合が41.2%となっています。

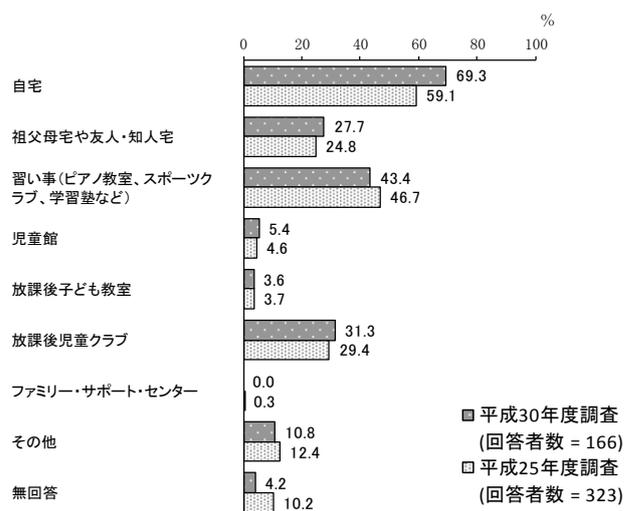


(10) お子さんが5歳以上である方に、小学校就学後の放課後の過ごし方について

問 27 お子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週あたり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も（ ）内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時00分のように24時間制でご記入ください。

「自宅」の割合が69.3%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）」の割合が43.4%、「放課後児童クラブ」の割合が31.3%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「自宅」の割合が増加しています。



週あたり日数

『6. 放課後児童クラブ』で「5日」の割合が高くなっています。

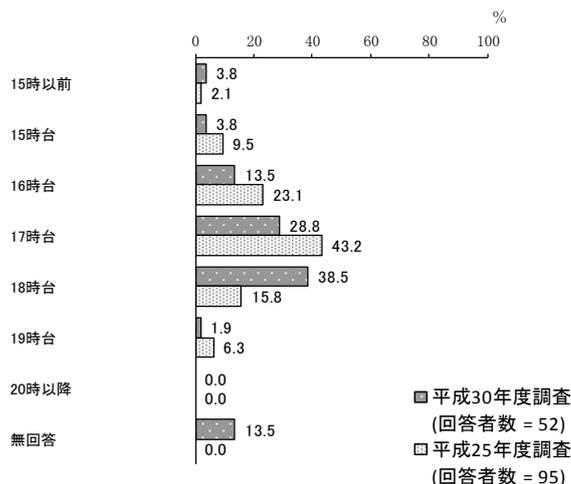
単位：%

区分	回答者数(件)	1日	2日	3日	4日	5日	無回答
1. 自宅	115	4.3	21.7	16.5	11.3	39.1	7.0
2. 祖父母宅や友人・知人宅	46	50.0	26.1	8.7	-	15.2	-
3. 習い事(ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など)	72	40.3	33.3	18.1	1.4	2.8	4.2
4. 児童館	9	66.7	22.2	-	-	11.1	-
5. 放課後子ども教室	6	66.7	16.7	16.7	-	-	-
6. 放課後児童クラブ	52	3.8	1.9	11.5	5.8	69.2	7.7
7. ファミリー・サポート・センター	-	-	-	-	-	-	-
8. その他	18	44.4	16.7	11.1	11.1	11.1	5.6

放課後児童クラブ 利用終了時刻

「18 時台」の割合が 38.5%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 28.8%、「16 時台」の割合が 13.5%となっています。

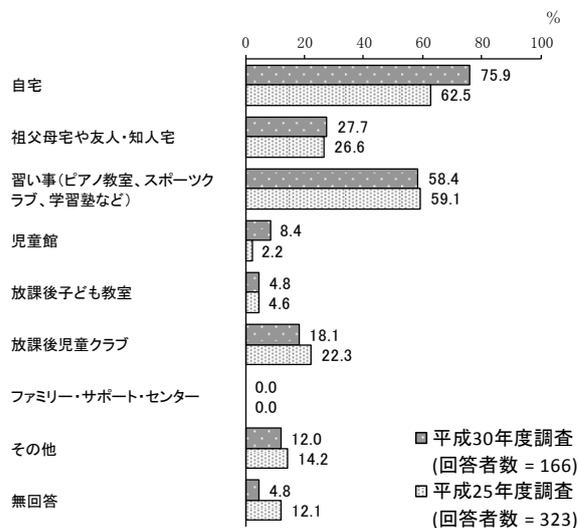
平成 25 年度調査と比較すると、「18 時台」の割合が増加しています。一方、「15 時台」「16 時台」「17 時台」の割合が減少しています。



問 28 お子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も（ ）内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時00分のように24時間制でご記入ください。

「自宅」の割合が 75.9%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）」の割合が 58.4%、「祖父母宅や友人・知人宅」の割合が 27.7%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「自宅」「児童館」の割合が増加しています。



週あたり日数

『4. 児童館』で「1日」の割合が、『6. 放課後児童クラブ』で「5日」の割合が高くなっています。

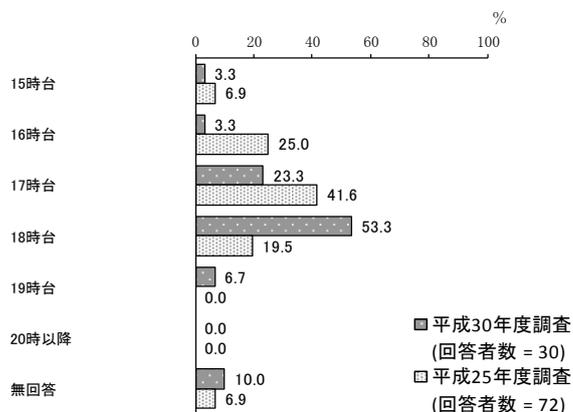
単位：％

区分	回答者数 (件)	1日	2日	3日	4日	5日	無回答
1. 自宅	126	11.1	19.0	18.3	12.7	29.4	9.5
2. 祖父母宅や友人・知人宅	46	41.3	39.1	10.9	-	8.7	-
3. 習い事(ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など)	97	26.8	40.2	20.6	4.1	3.1	5.2
4. 児童館	14	50.0	21.4	7.1	-	7.1	14.3
5. 放課後子ども教室	8	62.5	12.5	-	-	25.0	-
6. 放課後児童クラブ	30	10.0	6.7	23.3	3.3	50.0	6.7
7. ファミリー・サポート・センター	-	-	-	-	-	-	-
8. その他	20	25.0	40.0	25.0	5.0	5.0	-

放課後児童クラブ 利用終了時刻

「18時台」の割合が53.3%と最も高く、次いで「17時台」の割合が23.3%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「18時台」「19時台」の割合が増加しています。一方、「16時台」「17時台」の割合が減少しています。

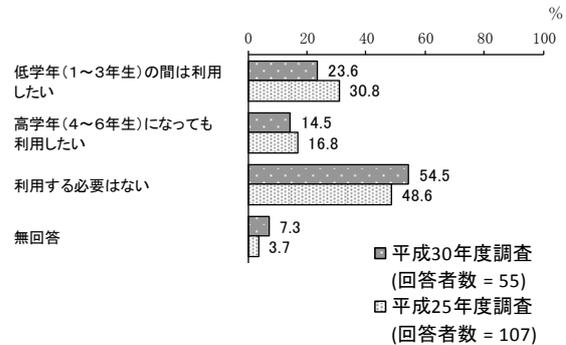


問 29 問 27 または問 28 で「6. 放課後児童クラブ」に○をつけた方にうかがいます。お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。次の(1)～(3)のそれぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、()内に(例)9時00分～18時00分のように24時間制でご記入ください。なお、事業の利用には、一定の利用料がかかります。

(1) 土曜日

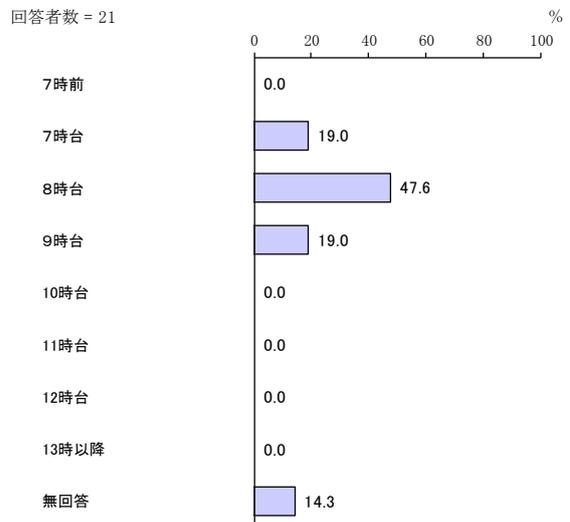
「利用する必要はない」の割合が54.5%と最も高く、次いで「低学年(1～3年生)の間は利用したい」の割合が23.6%、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」の割合が14.5%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「利用する必要はない」の割合が増加しています。一方、「低学年(1～3年生)の間は利用したい」の割合が減少しています。



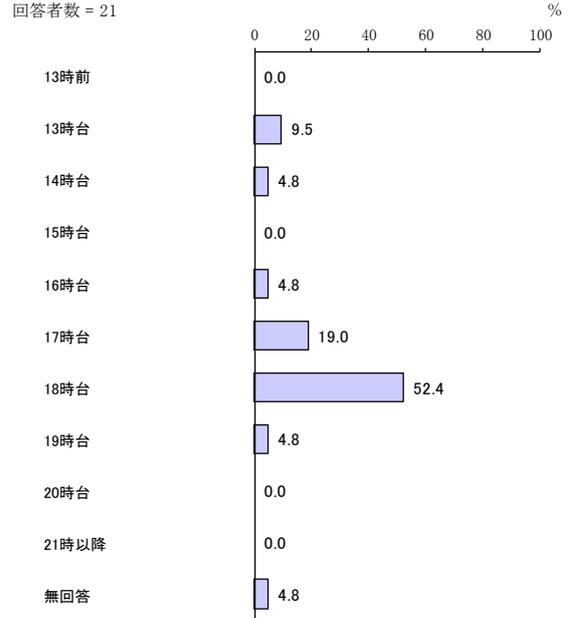
ア. 利用開始時刻

「8時台」の割合が47.6%と最も高く、次いで「7時台」、「9時台」の割合が19.0%となっています。



イ. 利用終了時刻

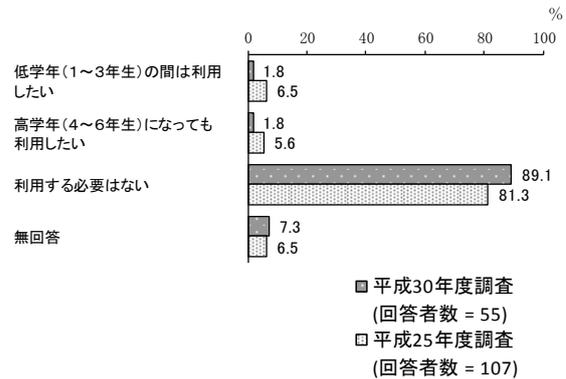
「18 時台」の割合が 52.4%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 19.0%となっています。



(2) 日曜日

「利用する必要はない」の割合が 89.1%と最も高くなっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「利用する必要はない」の割合が増加しています。



ア. 利用開始時刻

「8 時台」が 2 件となっています。

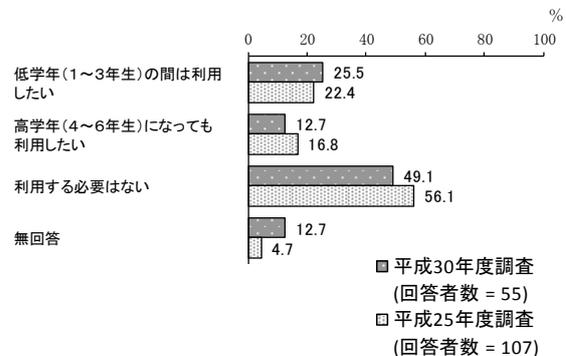
イ. 利用終了時刻

「17 時台」、「18 時台」が 1 件となっています。

(3) 祝日

「利用する必要はない」の割合が 49.1%と最も高く、次いで「低学年(1~3年生)の間は利用したい」の割合が 25.5%、「高学年(4~6年生)になっても利用したい」の割合が 12.7%となっています。

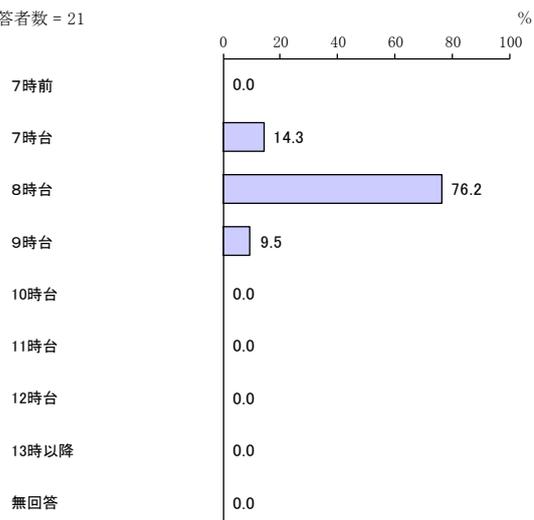
平成 25 年度調査と比較すると、「利用する必要はない」の割合が減少しています。



ア. 利用開始時刻

「8時台」の割合が76.2%と最も高く、次いで「7時台」の割合が14.3%となっています。

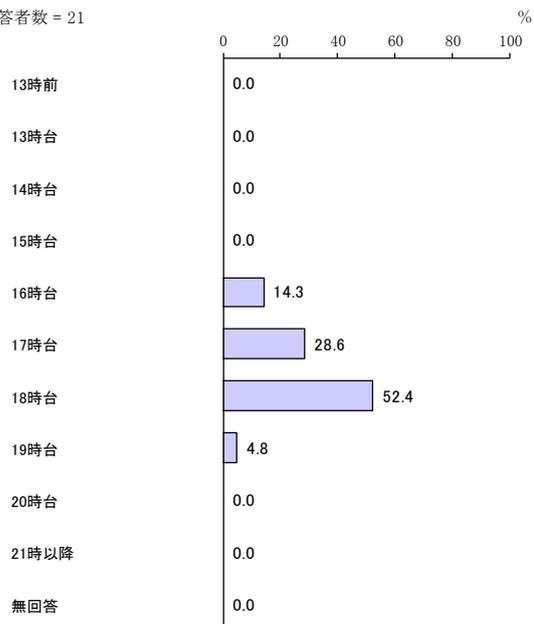
回答者数 = 21



イ. 利用終了時刻

「18時台」の割合が52.4%と最も高く、次いで「17時台」の割合が28.6%、「16時台」の割合が14.3%となっています。

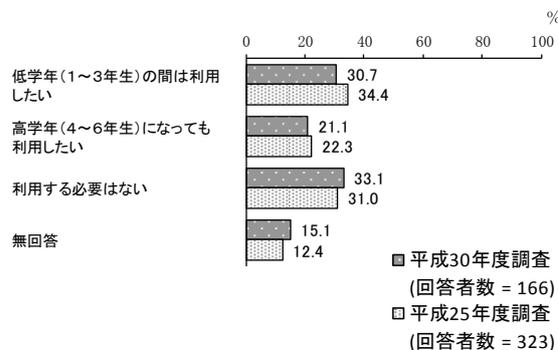
回答者数 = 21



問 30 お子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、() 内に(例) 9時00分～18時00分のように24時間制でご記入ください。なお、事業の利用には、一定の利用料がかかります。

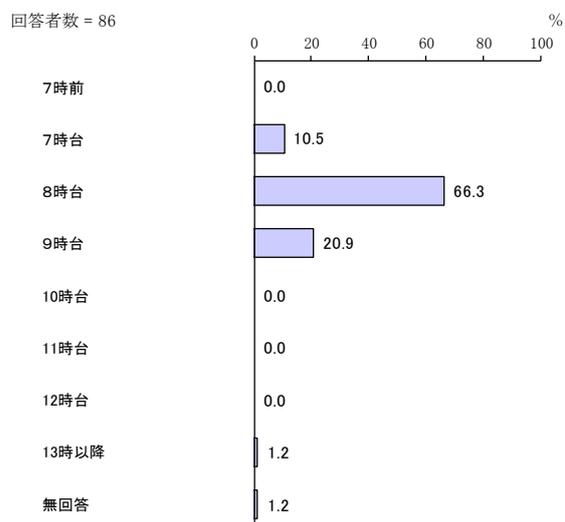
「利用する必要はない」の割合が33.1%と最も高く、次いで「低学年(1～3年生)の間は利用したい」の割合が30.7%、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」の割合が21.1%となっています。

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



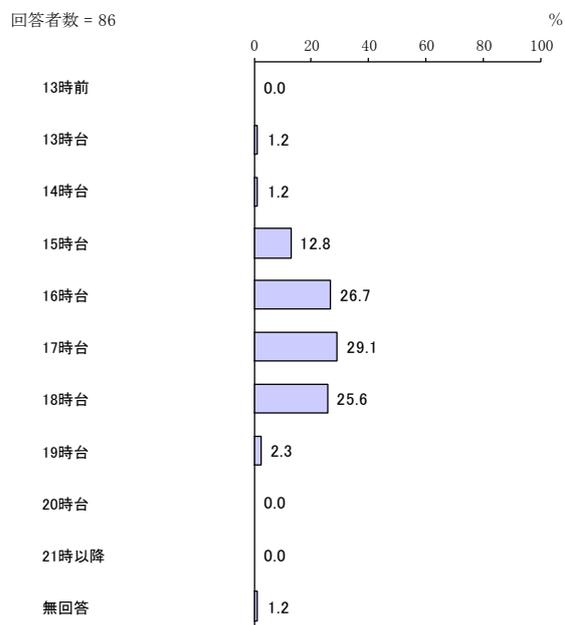
ア. 利用開始時刻

「8時台」の割合が66.3%と最も高く、次いで「9時台」の割合が20.9%、「7時台」の割合が10.5%となっています。



イ. 利用終了時刻

「17時台」の割合が29.1%と最も高く、次いで「16時台」の割合が26.7%、「18時台」の割合が25.6%となっています。



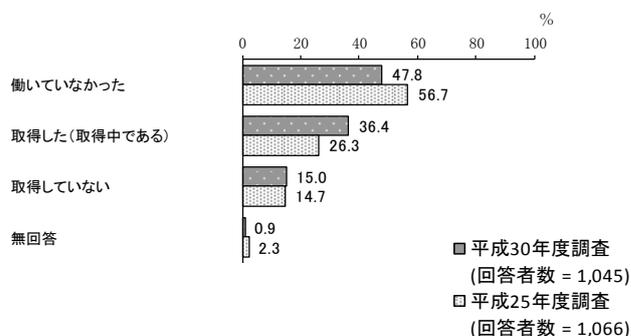
(11) すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

問 31 お子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけ、該当する()内には数字でご記入ください。また、取得していない方はその理由をご記入ください。

ア. 母親

「働いていなかった」の割合が47.8%と最も高く、次いで「取得した(取得中である)」の割合が36.4%、「取得していない」の割合が15.0%となっています。

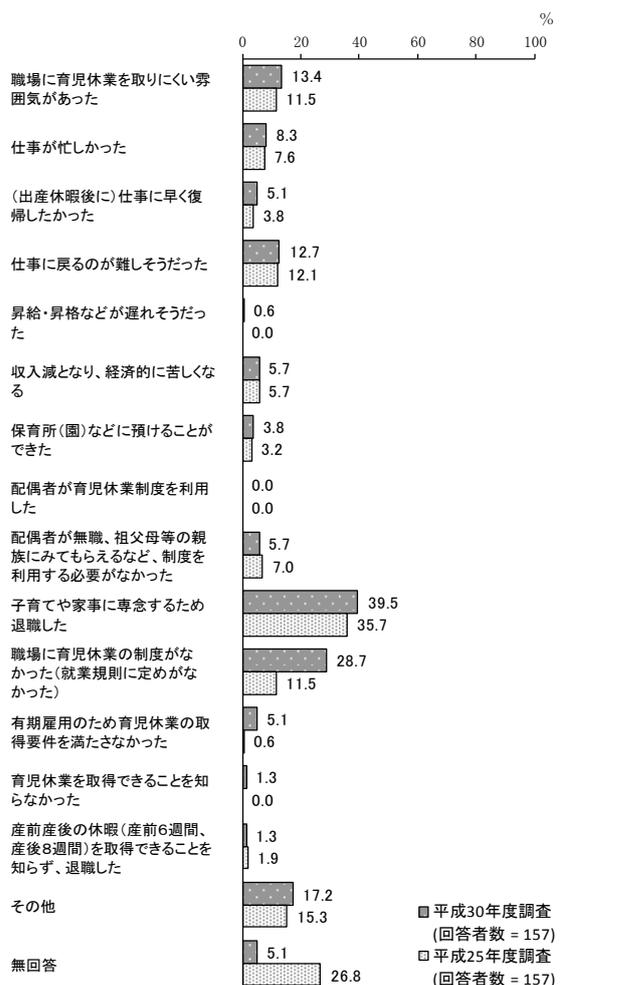
平成25年度調査と比較すると、「取得した(取得中である)」の割合が増加しています。一方、「働いていなかった」の割合が減少しています。



取得していない理由

「子育てや家事に専念するため退職した」の割合が39.5%と最も高く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」の割合が28.7%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」の割合が13.4%となっています。

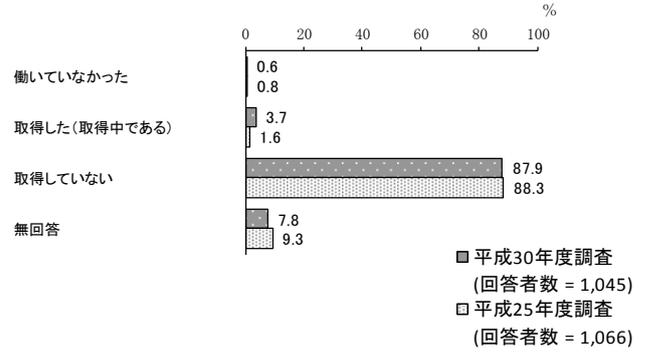
平成25年度調査と比較すると、「職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」の割合が増加しています。



イ. 父親

「取得していない」の割合が87.9%と最も高くなっています。

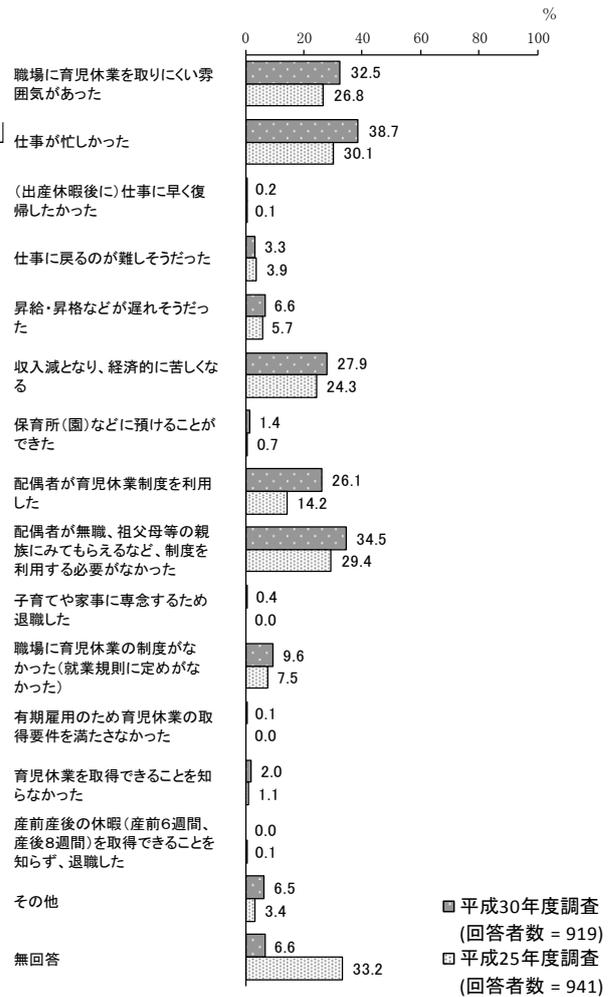
平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



取得していない理由

「仕事が忙しかった」の割合が38.7%と最も高く、次いで「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」の割合が34.5%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」の割合が32.5%となっている。

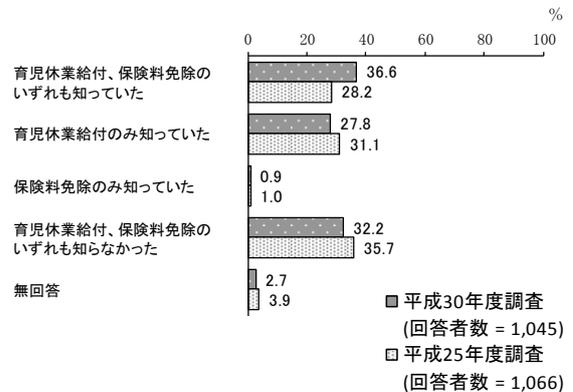
平成25年度調査と比較すると、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」「仕事が忙しかった」「配偶者が育児休業制度を利用した」「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」の割合が増加しています。



問 31-1 子どもが原則1歳（保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は2歳）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）の期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」の割合が36.6%と最も高く、次いで「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」の割合が32.2%、「育児休業給付のみ知っていた」の割合が27.8%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」の割合が増加しています。

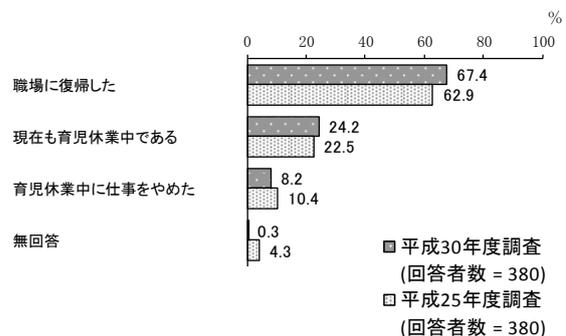


問 31-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

ア. 母親

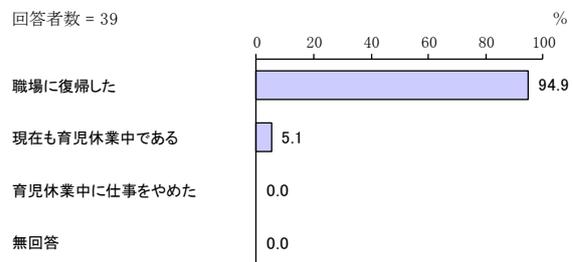
「職場に復帰した」の割合が67.4%と最も高く、次いで「現在も育児休業中である」の割合が24.2%となっています。

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



イ. 父親

「職場に復帰した」の割合が94.9%と最も高くなっています。

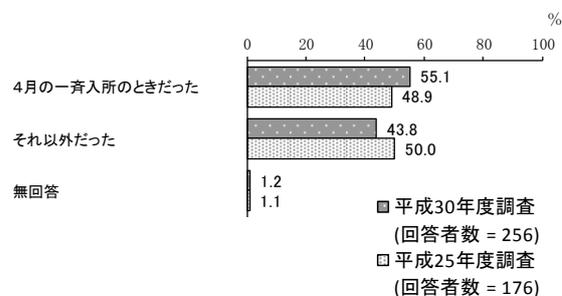


問 31-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか1つに○をつけてください。※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時預かりや認可外保育施設などを利用した場合なども「1.」に当てはまりません。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1.」を選択してください。

ア. 母親

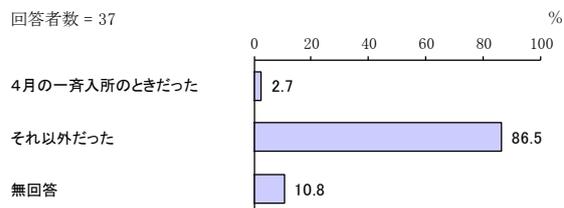
「4月の一斉入所のと きだった」の割合が55.1%、「それ以外だった」の割合が43.8%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「4月の一斉入所のと きだった」の割合が増加しています。一方、「それ以外だった」の割合が減少しています。



イ. 父親

「4月の一斉入所のと きだった」の割合が2.7%、「それ以外だった」の割合が86.5%となっています。



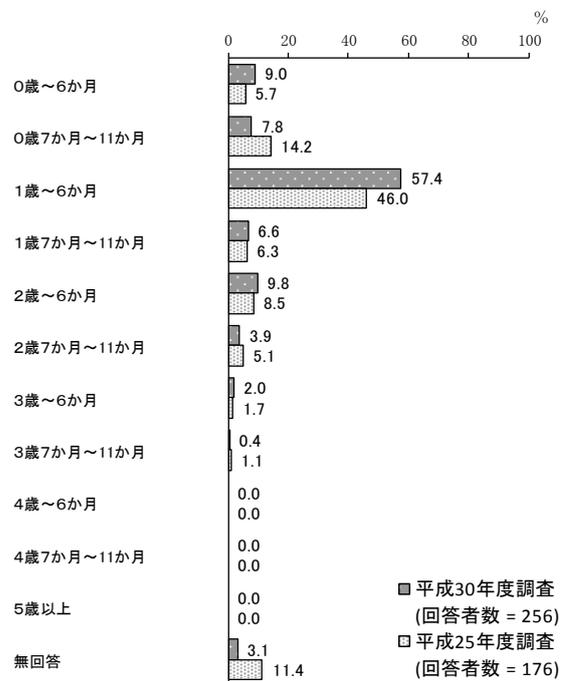
問 31-4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何か月のときまで取りたかったですか。() 内に数字でご記入ください。

ア. 母親

(ア) 実際の取得期間

「1歳～6か月」の割合が57.4%と最も高くなっています。

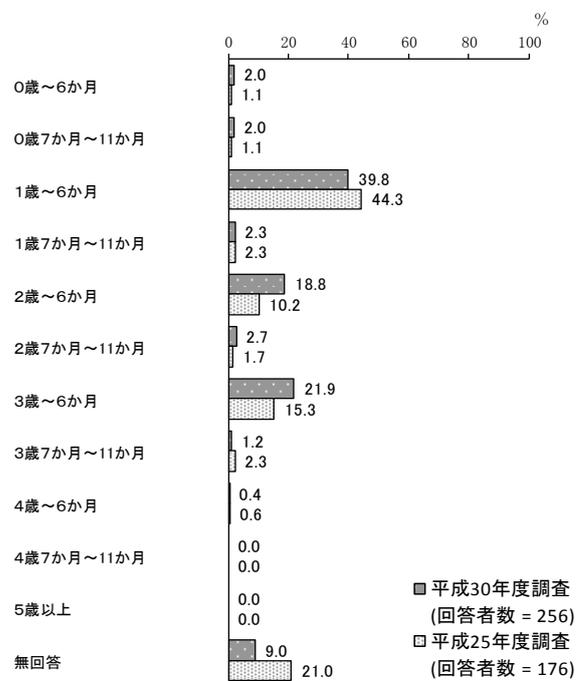
平成25年度調査と比較すると、「1歳～6か月」の割合が増加しています。一方、「0歳7か月～11か月」の割合が減少しています。



(イ) 希望

「1歳～6か月」の割合が39.8%と最も高く、次いで「3歳～6か月」の割合が21.9%、「2歳～6か月」の割合が18.8%となっています。

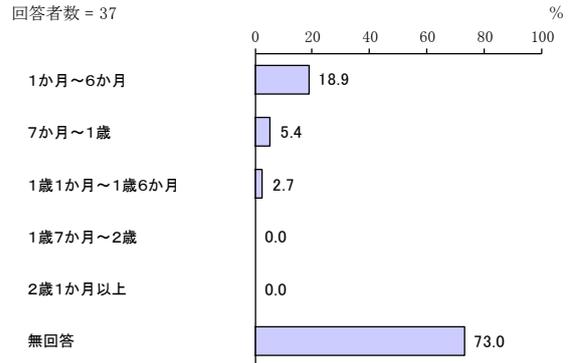
平成25年度調査と比較すると、「2歳～6か月」「3歳～6か月」の割合が増加しています。



イ. 父親

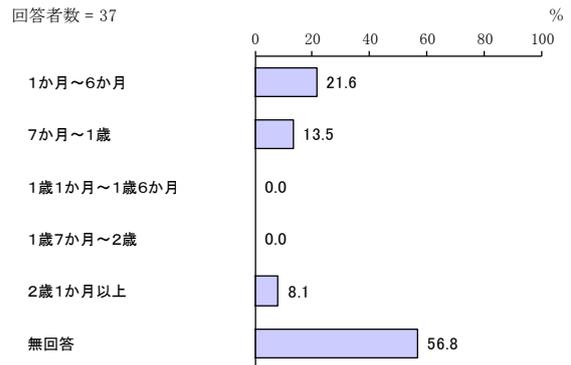
(ア) 実際の取得期間

「1か月～6か月」の割合が18.9%と最も高くなっています。



(イ) 希望

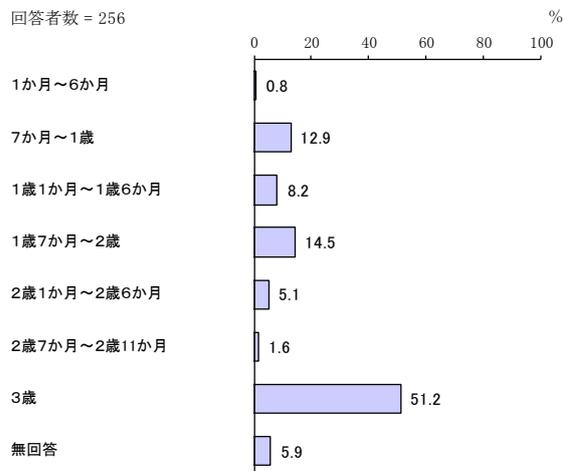
「1か月～6か月」の割合が21.6%と最も高く、次いで「7か月～1歳」の割合が13.5%となっています。



問 31-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか。
 () 内に数字でご記入ください。

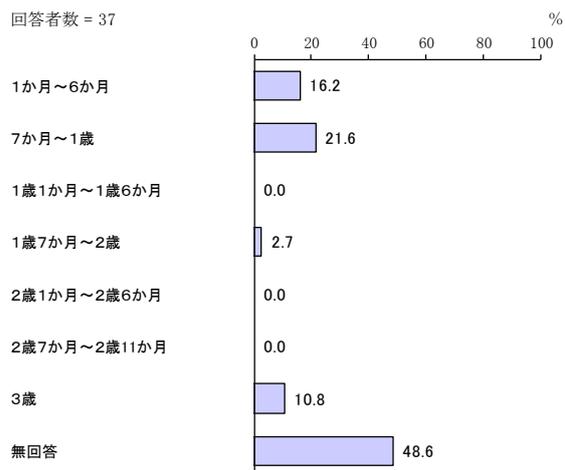
ア. 母親

「3歳」の割合が51.2%と最も高く、次いで「1歳7か月～2歳」の割合が14.5%、「7か月～1歳」の割合が12.9%となっています。



イ. 父親

「7か月～1歳」の割合が21.6%と最も高く、次いで「1か月～6か月」の割合が16.2%、「3歳」の割合が10.8%となっています。



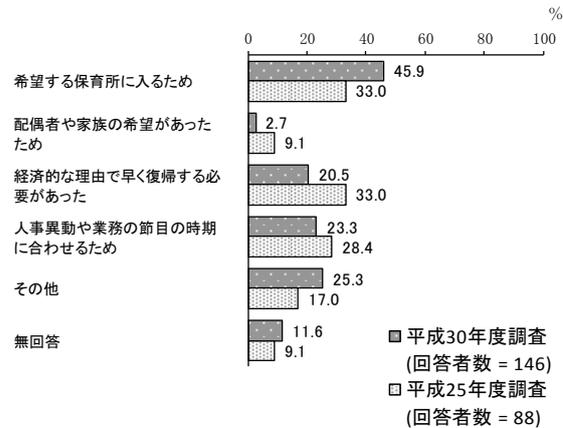
問 31-6 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

ア. 「希望」より早く復帰した方

(ア) 母親

「希望する保育所に入るため」の割合が 45.9%と最も高く、次いで「その他（職場の意向・制度等）」の割合が 25.3%、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」の割合が 23.3%となっています。

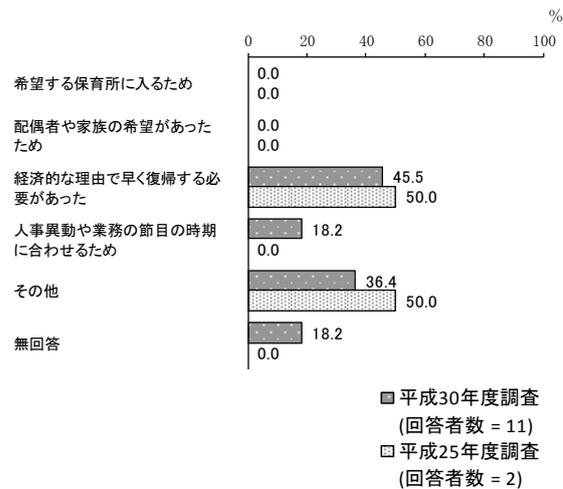
平成 25 年度調査と比較すると、「希望する保育所に入るため」の割合が増加しています。一方、「配偶者や家族の希望があったため」「経済的な理由で早く復帰する必要があった」「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」の割合が減少しています。



(イ) 父親

「経済的な理由で早く復帰する必要があった」の割合が 45.5%と最も高く、次いで「その他（職場の状況、会社員のため等）」の割合が 36.4%、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」の割合が 18.2%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」の割合が増加しています。

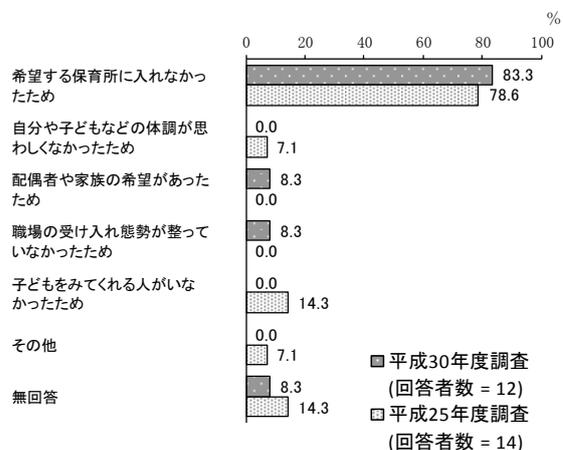


イ. 「希望」より遅く復帰した方

(ア) 母親

「希望する保育所に入れなかったため」の割合が 83.3%と最も高くなっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「配偶者や家族の希望があったため」「職場の受け入れ態勢が整っていなかったため」の割合が増加しています。一方、「自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため」「子どもをみてくれる人がいなかったため」の割合が減少しています。



(イ) 父親

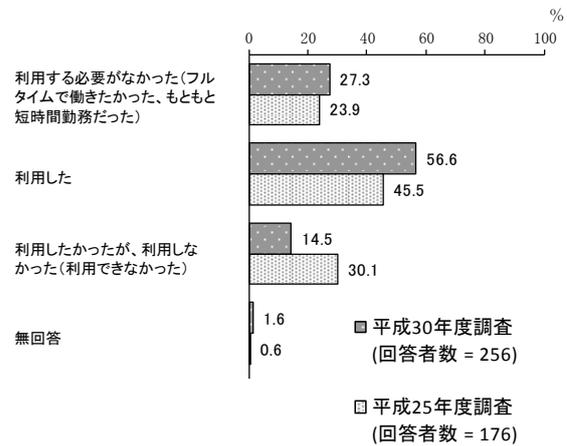
有効回答がありませんでした。

問 31-7 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

ア. 母親

「利用した」の割合が56.6%と最も高く、次いで「利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)」の割合が27.3%、「利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」の割合が14.5%となっています。

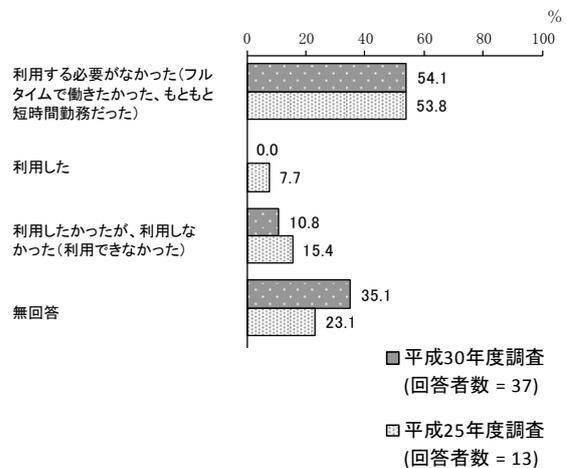
平成25年度調査と比較すると、「利用した」の割合が増加しています。一方、「利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」の割合が減少しています。



(イ) 父親

「利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)」の割合が54.1%と最も高く、次いで「利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」の割合が10.8%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「利用した」の割合が減少しています。



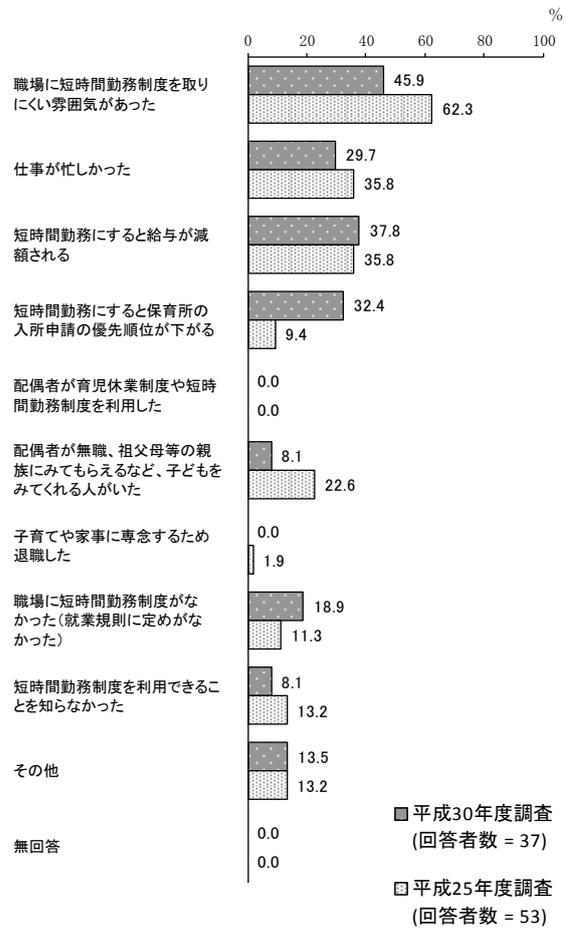
問 31-8 短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

ア. 母親

「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」の割合が 45.9%と最も高く、次いで「短時間勤務にすると給与が減額される」の割合が 37.8%、「短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる」の割合が 32.4%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる」

「職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」の割合が増加しています。一方、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」「仕事が忙しかった」「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた」「短時間勤務制度を利用できることを知らなかった」の割合が減少しています。



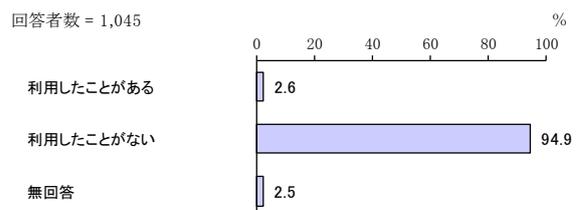
イ. 父親

「短時間勤務にすると給与が減額される」が 3 件となっています。「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」、「仕事が忙しかった」、「職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」が 2 件となっています。

(12) ファミリー・サポート・センター事業の利用について

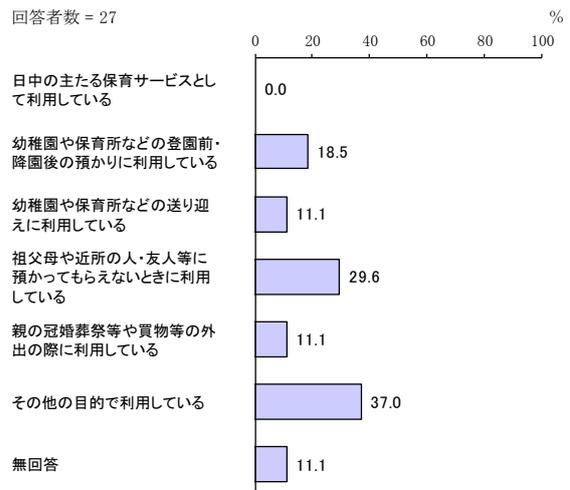
問 32 ファミリー・サポート・センター事業を利用したことはありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「利用したことがある」の割合が 2.6%、「利用したことがない」の割合が 94.9%となっています。



問 32-1 どのような目的で利用しましたか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

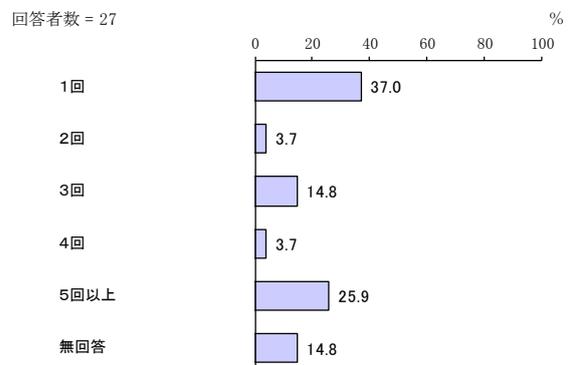
「その他の目的で利用している」の割合が 37.0%と最も高く、次いで「祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえないときに利用している」の割合が 29.6%、「幼稚園や保育所などの登園前・降園後の預かりに利用している」の割合が 18.5%となっています。



問 32-2 どれくらいの頻度で利用していますか。日数・時間を () 内に数字でご記入ください。

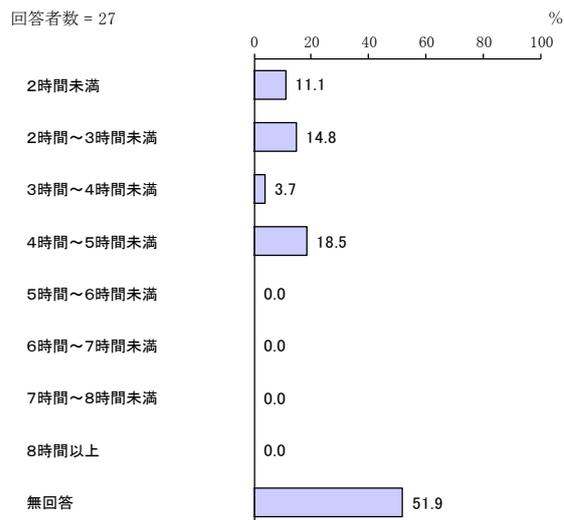
ア. 1年あたりの利用回数

「1回」の割合が 37.0%と最も高く、次いで「5回以上」の割合が 25.9%、「3回」の割合が 14.8%となっています。



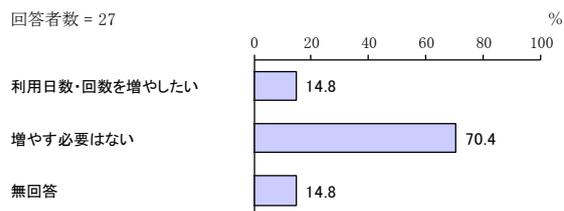
イ. 1回あたりの利用時間

「4時間～5時間未満」の割合が18.5%と最も高く、次いで「2時間～3時間未満」の割合が14.8%、「2時間未満」の割合が11.1%となっています。



問 32-3 利用日数・回数を増やしたいと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。希望がある方は、希望日数・時間を（ ）内に数字でご記入ください。

「利用日数・回数を増やしたい」の割合が14.8%、「増やす必要はない」の割合が70.4%となっています。



ア. 1年あたりの利用回数

「5回以上」が2件となっています。「2回」、「4回」が1件となっています。

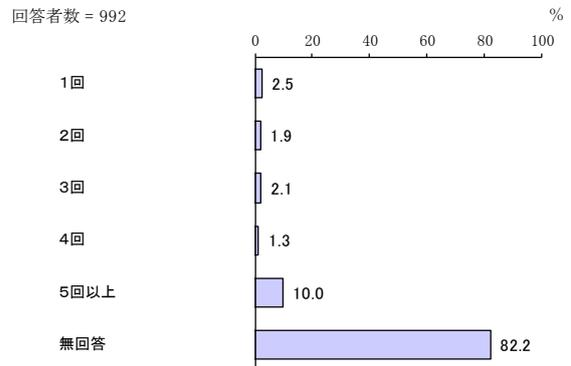
イ. 1回あたりの利用時間

「4時間～5時間未満」が2件となっています。「2時間～3時間未満」、「6時間～7時間未満」が1件となっています。

問 32-4 ファミリー・サポート・センター事業を利用したことがないが、今後できれば利用したい方は、利用したい日数・時間を（ ）内に数字でご記入ください。なお、利用するにあたっては、一定の利用料がかかります。

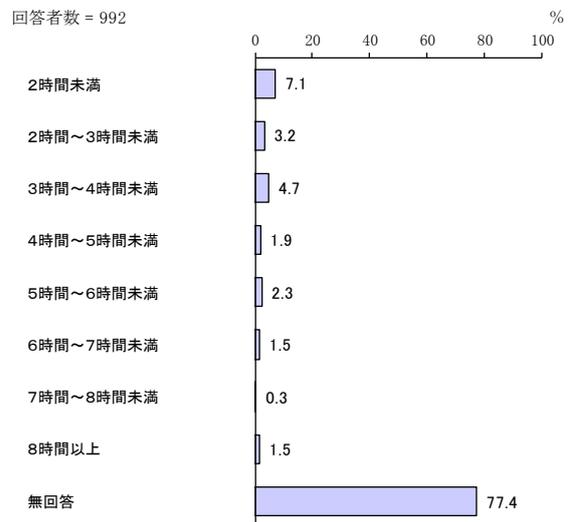
ア. 1年あたりの利用回数

「5回以上」の割合が10.0%と最も高くなっています。



イ. 1回あたりの利用時間

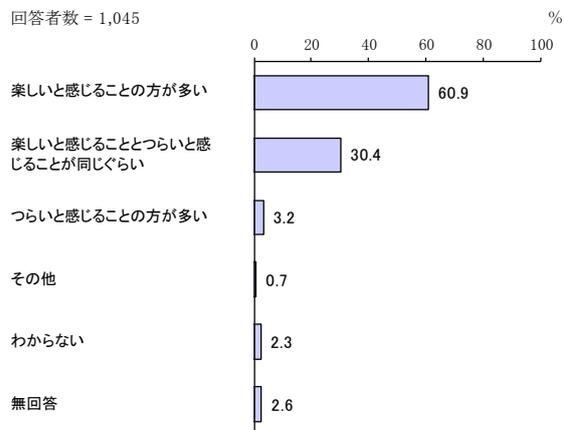
「2時間未満」の割合が7.1%と最も高くなっています。



(13) 子育て全般について

問 33 あなたは、自分にとって子育てを楽しいと感じることが多いと思いますか。それともつらいと感じることが多いと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「楽しいと感じることの方が多い」の割合が60.9%と最も高く、次いで「楽しいと感じることとつらいと感じることが同じぐらい」の割合が30.4%となっています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別でみると、他に比べ、0歳で「楽しいと感じることの方が多い」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	楽しいと感じることの方が多い	楽しいと感じることとつらいと感じることが同じぐらい	つらいと感じることの方が多い	その他	わからない	無回答
0歳	169	66.9	27.8	1.2	1.2	1.8	1.2
1歳	162	59.3	28.4	3.7	0.6	3.7	4.3
2歳	173	58.4	31.8	5.2	—	2.3	2.3
3歳	168	62.5	28.0	4.2	0.6	1.2	3.6
4歳	190	59.5	34.2	2.1	1.1	2.6	0.5
5歳	166	60.2	31.3	2.4	0.6	1.8	3.6

【子育てを主に行っている人別】

子育てを主に行っている人別でみると、大きな差異はみられません。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	楽しいと感じるこ との方が多い	楽しいと感じるこ ととつらいと感じ ることが同じぐら い	つらいと感じるこ との方が多い	その他	わからない	無回答
父母ともに	585	61.2	30.9	2.9	0.9	0.9	3.2
主に母親	440	60.2	30.2	3.6	0.5	4.1	1.4
主に父親	3	66.7	33.3	—	—	—	—
主に祖父母	7	71.4	—	—	—	14.3	14.3
その他	1	100.0	—	—	—	—	—

【子どもをみてもらえる親族・知人の有無別】

子どもをみてもらえる親族・知人の有無別でみると、他に比べ、日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる、緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいるで「楽しいと感じることの方が多い」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	楽しいと感じるこ との方が多い	楽しいと感じるこ ととつらいと感じ ることが同じぐら い	つらいと感じるこ との方が多い	その他	わからない	無回答
日常的に子どもをみてもらえる祖父母等の親族がいる	369	65.6	27.4	2.2	0.3	2.2	2.4
緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる祖父母等の親族がいる	659	60.7	30.0	3.5	0.8	3.0	2.0
日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	18	77.8	22.2	—	—	—	—
緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	86	79.1	16.3	3.5	—	1.2	—
いずれもない	94	46.8	42.6	5.3	1.1	—	4.3

【母親の就労状況別】

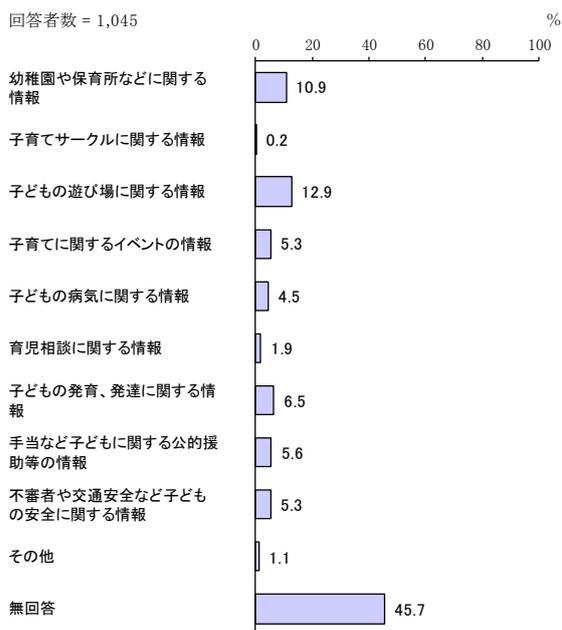
母親の就労状況別でみると、他に比べ、パート・アルバイト等（フルタイム以外）で働いているが、今は休んでいる（出産休暇・育児休業・介護休業中）で「楽しいと感じることの方が多い」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	楽しいと感じることの方が多い	楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい	つらいと感じることの方が多い	その他	わからない	無回答
フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で働いている	219	62.6	28.3	2.3	—	3.2	3.7
フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で働いているが、今は休んでいる(出産休暇・育児休業・介護休業中)	115	65.2	27.8	1.7	1.7	1.7	1.7
パート・アルバイト等(フルタイム以外)で働いている	377	59.9	32.9	3.7	0.8	1.6	1.1
パート・アルバイト等(フルタイム以外)で働いているが、今は休んでいる(出産休暇・育児休業・介護休業中)	25	56.0	28.0	4.0	—	—	12.0
以前は働いていたが、今は働いていない	281	60.1	29.9	3.9	0.4	2.8	2.8
これまで働いたことがない	17	64.7	29.4	—	—	5.9	—

問 34 あなたは、子育てに関してどのような情報入手したいですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「子どもの遊び場に関する情報」の割合が12.9%と最も高く、次いで「幼稚園や保育所などに関する情報」の割合が10.9%となっています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢で見ると、他に比べ、0歳、1歳で「幼稚園や保育所などに関する情報」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	幼稚園や保育所などに関する情報	子育てサークルに関する情報	子どもの遊び場に関する情報	子育てに関するイベントの情報	子どもの病気に関する情報	育児相談に関する情報	子どもの発育、発達に関する情報	手当など子どもに関する公的援助等の情報	不審者や交通安全など子どもの安全に関する情報	その他	無回答
0歳	169	17.2	0.6	15.4	6.5	4.1	5.3	3.0	4.7	3.6	—	39.6
1歳	162	19.8	—	10.5	3.7	4.9	—	3.7	4.3	3.7	—	49.4
2歳	173	10.4	0.6	15.6	4.6	4.0	2.3	11.0	5.8	1.7	—	43.9
3歳	168	6.5	—	9.5	6.5	3.6	1.2	8.3	7.1	4.8	1.8	50.6
4歳	190	4.2	—	14.7	4.2	4.7	1.6	5.8	6.8	5.8	3.2	48.9
5歳	166	7.8	—	11.4	5.4	6.0	1.2	7.8	4.8	12.7	1.8	41.0

【母親の就労状況】

母親の就労状況でみると、他に比べ、これまで働いたことがないで「子どもの遊び場に関する情報」の割合が高くなっています。

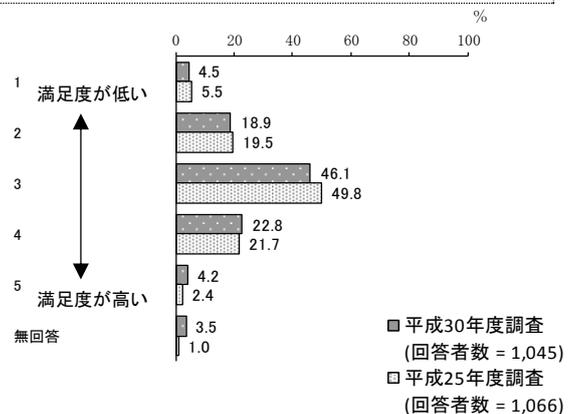
単位：％

区分	有効回答数(件)	幼稚園や保育所などに関する情報	子育てサークルに関する情報	子どもの遊び場に関する情報	子育てに関するイベントの情報	子どもの病気にに関する情報	育児相談に関する情報	子どもの発育、発達に関する情報	手など子どもに関する公的援助等の情報	不審者や交通安全など子どもの安全に関する情報	その他	無回答
フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で働いている	219	7.3	0.5	13.7	6.4	7.3	2.7	7.8	6.4	3.2	0.5	44.3
フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で働いているが、今は休んでいる(出産休暇・育児休業・介護休業中)	115	14.8	0.9	13.9	8.7	1.7	3.5	7.8	3.5	2.6	0.9	41.7
パート・アルバイト等(フルタイム以外)で働いている	377	9.0	—	12.7	4.8	4.2	0.8	6.1	5.6	8.8	1.9	46.2
パート・アルバイト等(フルタイム以外)で働いているが、今は休んでいる(出産休暇・育児休業・介護休業中)	25	12.0	—	20.0	—	—	—	8.0	4.0	4.0	—	52.0
以前は働いていたが、今は働いていない	281	14.9	—	10.3	3.9	4.6	2.1	6.0	6.0	3.9	0.7	47.3
これまで働いたことがない	17	11.8	—	35.3	5.9	—	5.9	—	5.9	—	—	35.3

問 35 豊川市の子育て環境や支援への満足度について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

「3」の割合が46.1%と最も高く、次いで「4」の割合が22.8%、「2」の割合が18.9%となっています。

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



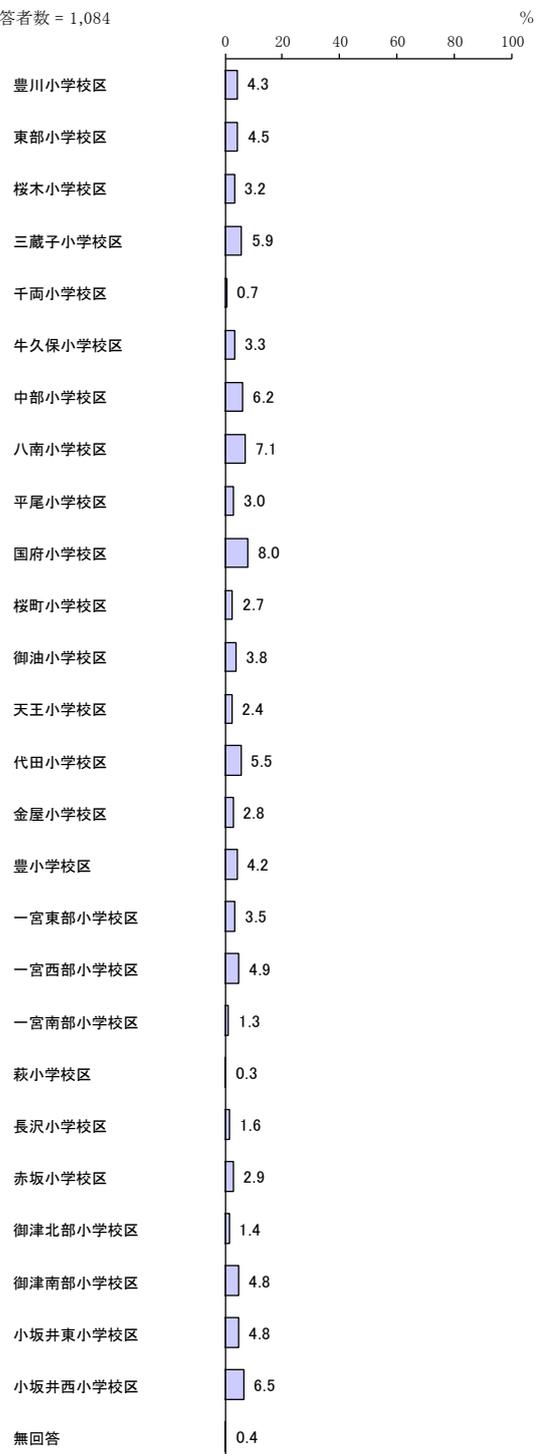
2 就学児童

(1) お住まいの地域について

問1 お住まいの小学校区はどちらですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「国府小学校区」の割合が8.0%と最も高くなっています。

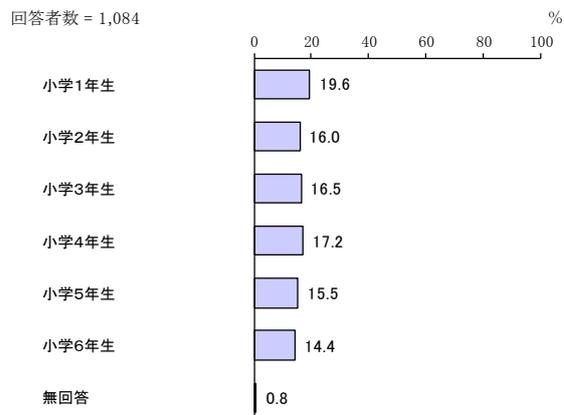
回答者数 = 1,084



(2) お子さんご家族の状況について

問2 お子さんの学年はどれにあたりますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

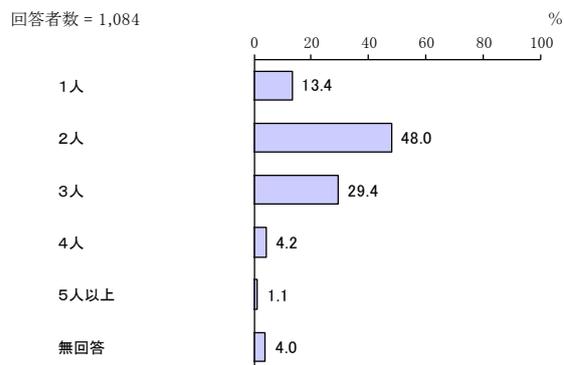
「小学1年生」の割合が19.6%と最も高く、次いで「小学4年生」の割合が17.2%、「小学3年生」の割合が16.5%となっています。



問3 お子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。お子さんを含めた人数を()内に数字でご記入ください。また、お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、最も年下の子の年齢をご記入ください。(記入日現在の年齢を記入)

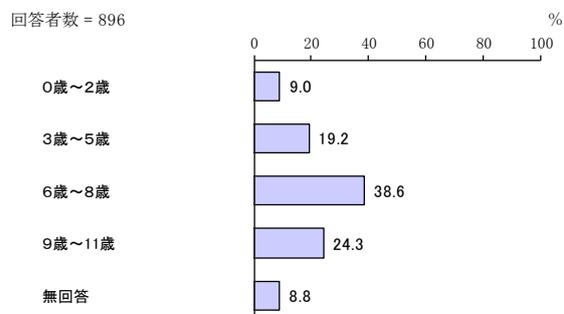
ア. きょうだい数

「2人」の割合が48.0%と最も高く、次いで「3人」の割合が29.4%、「1人」の割合が13.4%となっています。



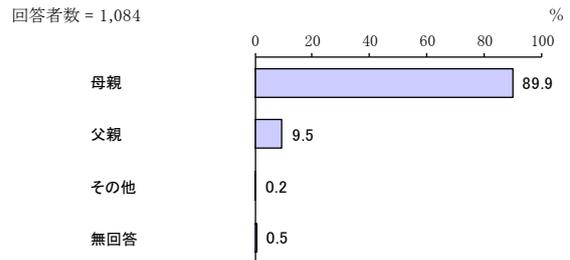
イ. 最も年下の子の年齢

「6歳～8歳」の割合が38.6%と最も高く、次いで「9歳～11歳」の割合が24.3%、「3歳～5歳」の割合が19.2%となっています。



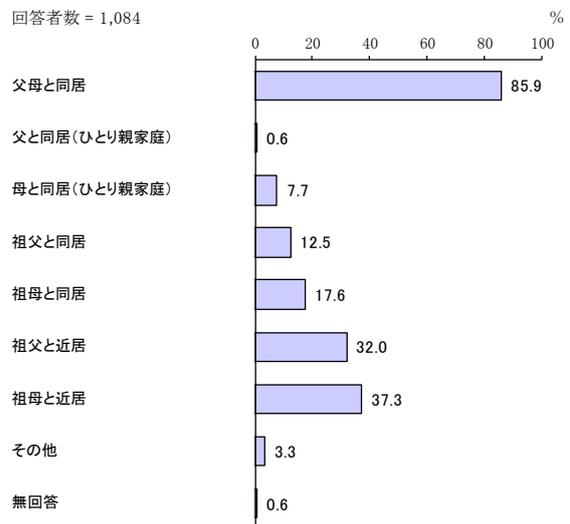
問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんから見た関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「母親」の割合が89.9%、「父親」の割合が9.5%となっています。



問5 お子さんとの同居・近居（おおむね30分以内程度に行き来できる範囲）の状況について当てはまる番号すべてに○をつけてください。（続柄はお子さんから見た関係）

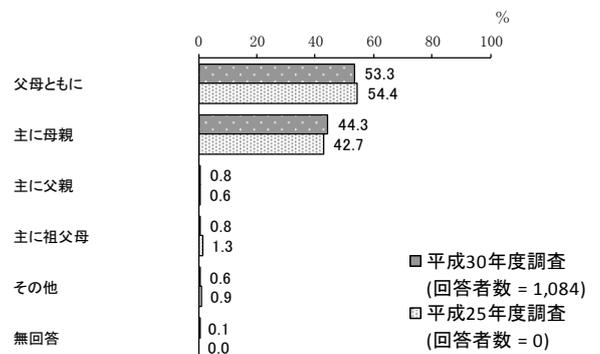
「父母と同居」の割合が85.9%と最も高く、次いで「祖母と近居」の割合が37.3%、「祖父と近居」の割合が32.0%となっています。



問6 ご家庭でお子さんの子育てや教育を主に行っているのはどなたですか。お子さんから見た関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

「父母ともに」の割合が53.3%と最も高く、次いで「主に母親」の割合が44.3%となっています。

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

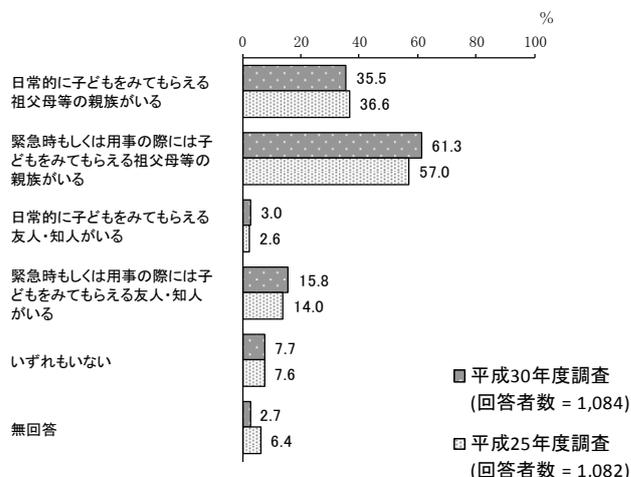


(3) 子どもの育ちをめぐる環境について

問7 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる祖父母等の親族がいる」の割合が61.3%と最も高く、次いで「日常的に子どもをみてもらえる祖父母等の親族がいる」の割合が35.5%、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」の割合が15.8%となっています。

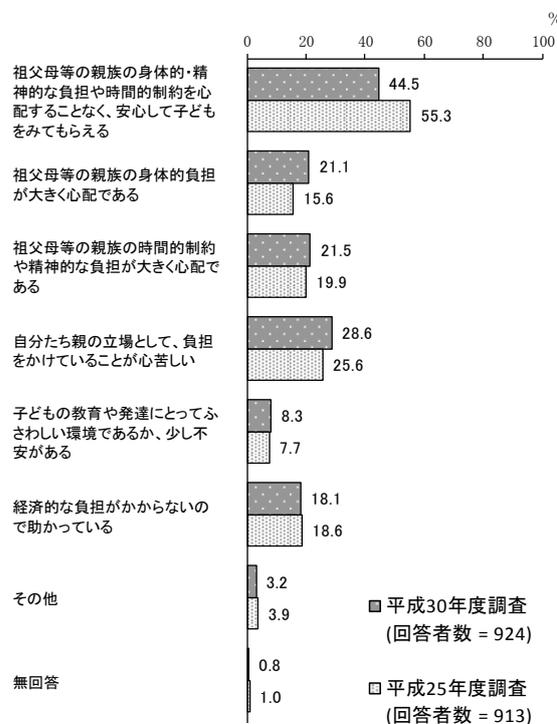
平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問7-1 問7で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が44.5%と最も高く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」の割合が28.6%、「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」の割合が21.5%となっています。

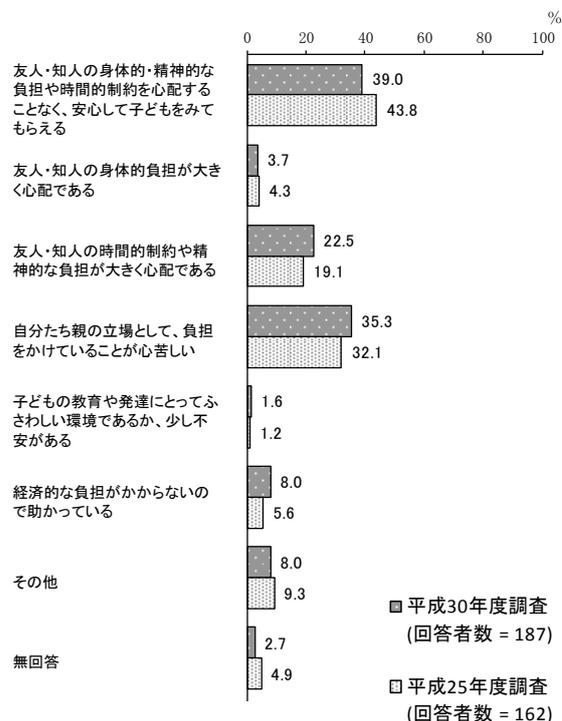
平成25年度調査と比較すると、「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」の割合が増加しています。一方、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が減少しています。



問7-2 問7で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が39.0%と最も高く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」の割合が35.3%、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」の割合が22.5%となっています。

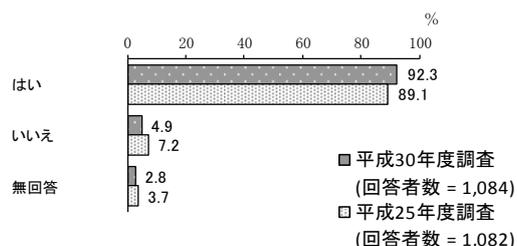
平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問8 お子さんの子育てや教育をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「はい」の割合が92.3%、「いいえ」の割合が4.9%となっています。

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【子どもをみてもらえる親族・知人の有無別】

子どもをみてもらえる親族・知人の有無別でみると、他に比べ、いずれもないで「いいえ」の割合が高くなっています。

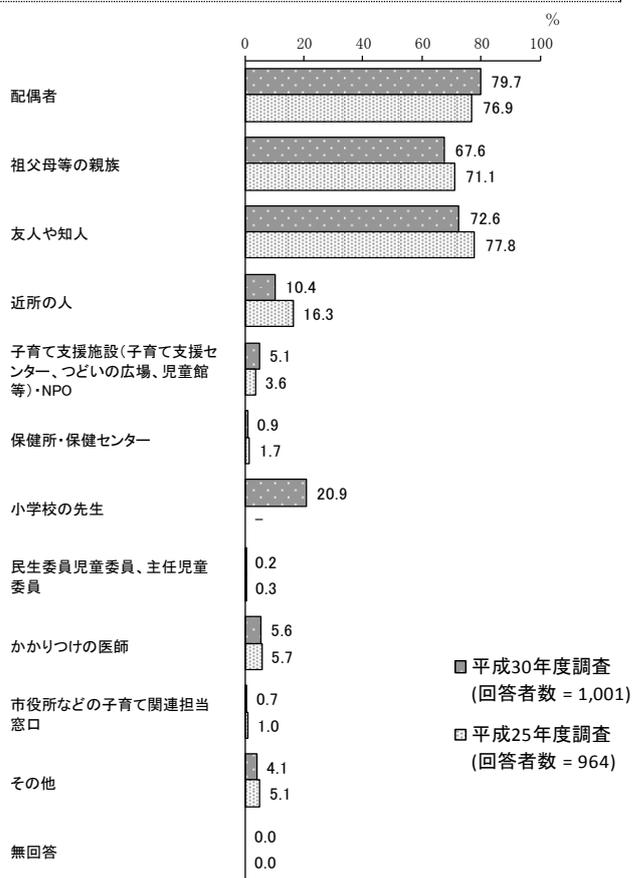
単位：％

区分	有効回答数 (件)	はい	いいえ	無回答
日常的に子どもをみてもらえる祖父母等の親族がいる	385	94.5	2.9	2.6
緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる祖父母等の親族がいる	665	92.9	4.5	2.6
日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	33	90.9	—	9.1
緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	171	95.3	2.9	1.8
いずれもない	84	84.5	13.1	2.4

問8-1 問8で「1. はい」に○をつけた方にかがいます。お子さんの子育てや教育に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「配偶者」の割合が79.7%と最も高く、次いで「友人や知人」の割合が72.6%、「祖父母等の親族」の割合が67.6%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「友人や知人」「近所の人」の割合が減少しています。



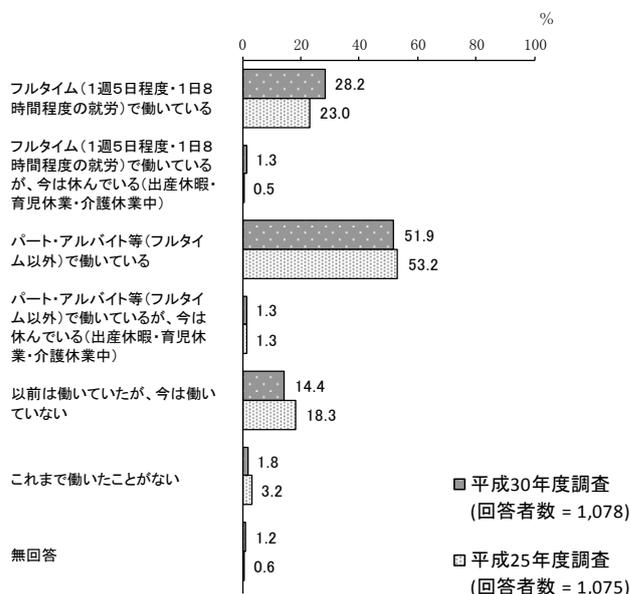
(4) お子さんの保護者の就労状況について

問 10 お子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

(1) 母親の就労状況

「パート・アルバイト等（フルタイム以外）で働いている」の割合が 51.9%と最も高く、次いで「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で働いている」の割合が 28.2%、「以前は働いていたが、今は働いていない」の割合が 14.4%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で働いている」の割合が増加しています。

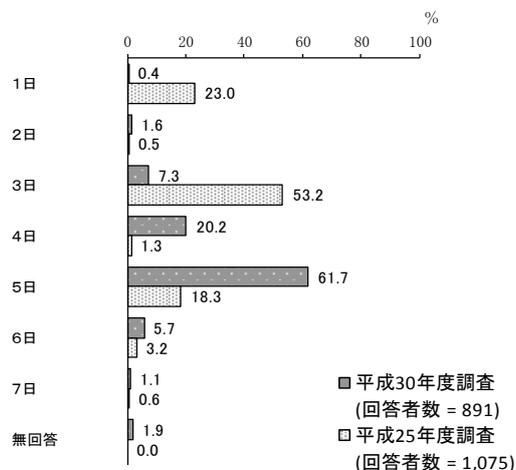


(1) - 1 (1)で「1.」～「4.」(働いている)に○をつけた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。出産休暇・育児休業・介護休業中の方は、休暇・休業に入る前の状況についてお答えください。()内に数字でご記入ください。

ア. 1週当たりの「就労日数」

「5日」の割合が 61.7%と最も高く、次いで「4日」の割合が 20.2%となっています。

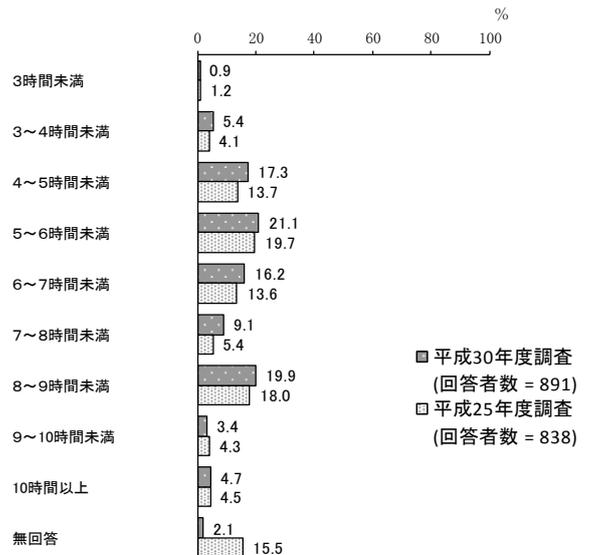
平成 25 年度調査と比較すると、「4日」「5日」の割合が増加しています。一方、「1日」「3日」の割合が減少しています。



イ. 1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」

「5～6時間未満」の割合が21.1%と最も高く、次いで「8～9時間未満」の割合が19.9%、「4～5時間未満」の割合が17.3%となっています。

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

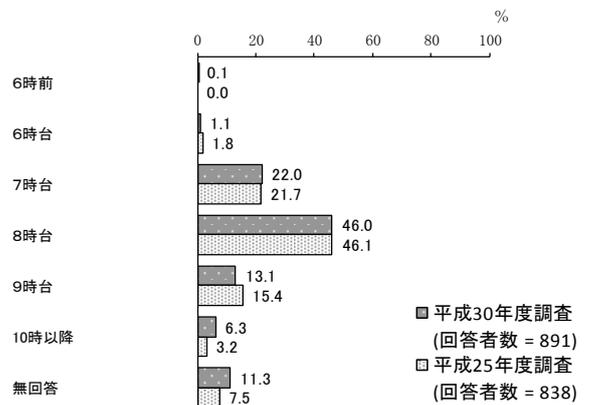


(1) - 2 (1)で「1.」～「4.」(働いている)に○をつけた方にかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。出産休暇・育児休業・介護休業中の方は、休暇・休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず(例)8時00分～18時00分のように、24時間制でお答えください。()内に数字でご記入ください。

ア. 家を出る時刻

「8時台」の割合が46.0%と最も高く、次いで「7時台」の割合が22.0%、「9時台」の割合が13.1%となっています。

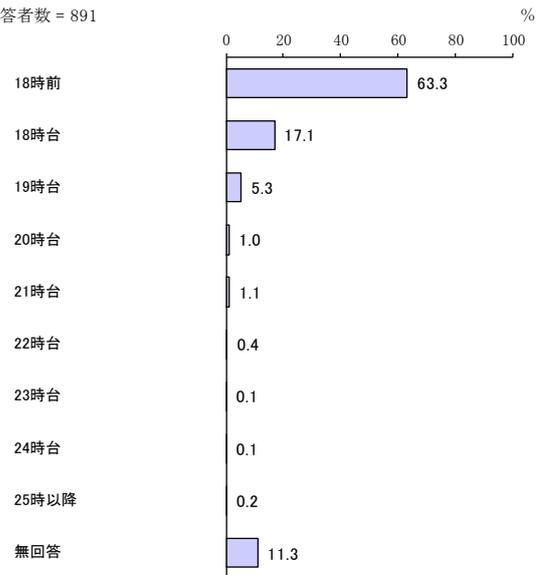
平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



イ. 帰宅時刻

「18 時前」の割合が 63.3%と最も高く、次いで「18 時台」の割合が 17.1%となっています。

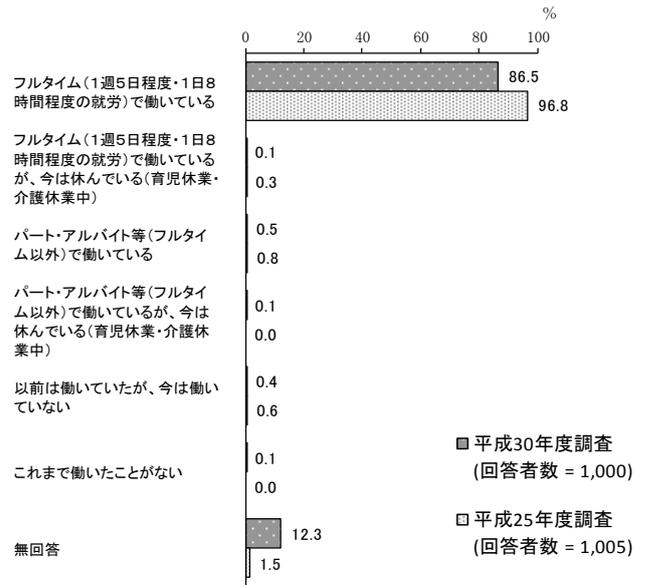
回答者数 = 891



(2) 父親の就労状況

「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で働いている」の割合が86.5%と最も高くなっています。

平成25年度調査と比較すると、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で働いている」の割合が減少しています。

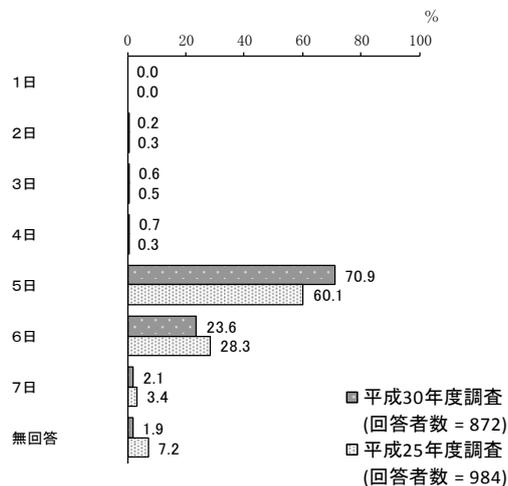


(2) - 1 (2) で「1.」～「4.」(働いている)に○をつけた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が、一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育児休業・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。() 内に数字でご記入ください。

ア. 1週当たりの「就労日数」

「5日」の割合が70.9%と最も高く、次いで「6日」の割合が23.6%となっています。

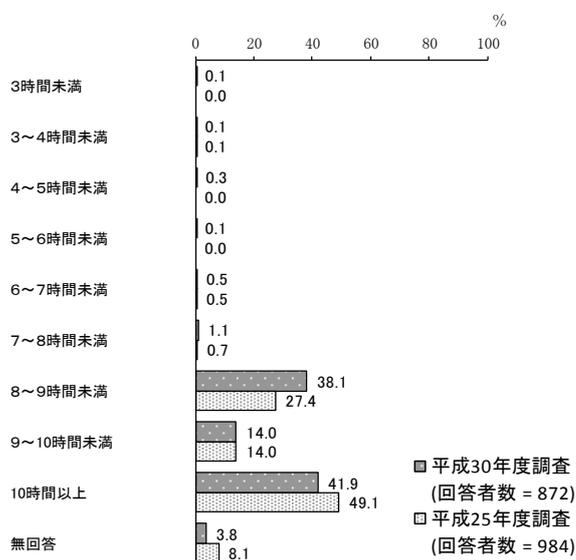
平成25年度調査と比較すると、「5日」の割合が増加しています。



イ. 1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」

「10時間以上」の割合が41.9%と最も高く、次いで「8～9時間未満」の割合が38.1%、「9～10時間未満」の割合が14.0%となっています。

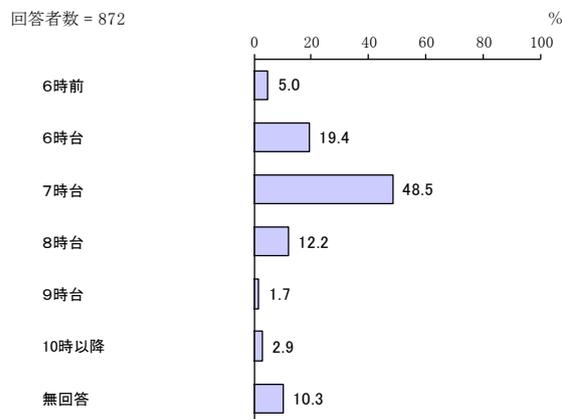
平成25年度調査と比較すると、「8～9時間未満」の割合が増加しています。一方、「10時間以上」の割合が減少しています。



(2) - 2 (2)で「1.」～「4.」(働いている)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育児休業・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず(例)8時00分～18時00分のように、24時間制でお答えください。()内に数字でご記入ください。

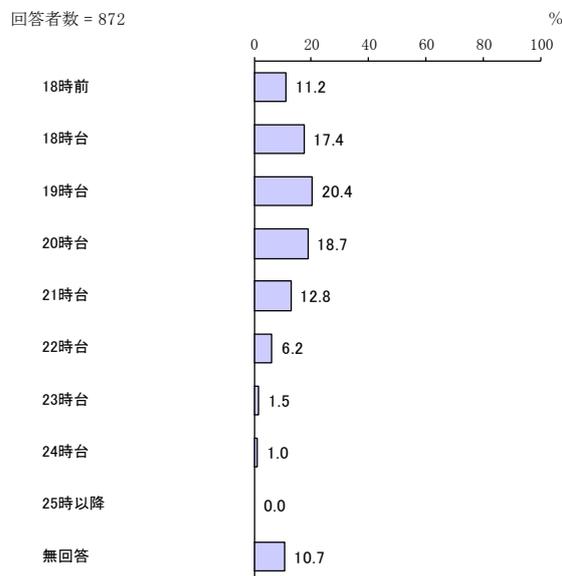
ア. 家を出る時刻

「7時台」の割合が48.5%と最も高く、次いで「6時台」の割合が19.4%、「8時台」の割合が12.2%となっています。



イ. 帰宅時刻

「19時台」の割合が20.4%と最も高く、次いで「20時台」の割合が18.7%、「18時台」の割合が17.4%となっています。

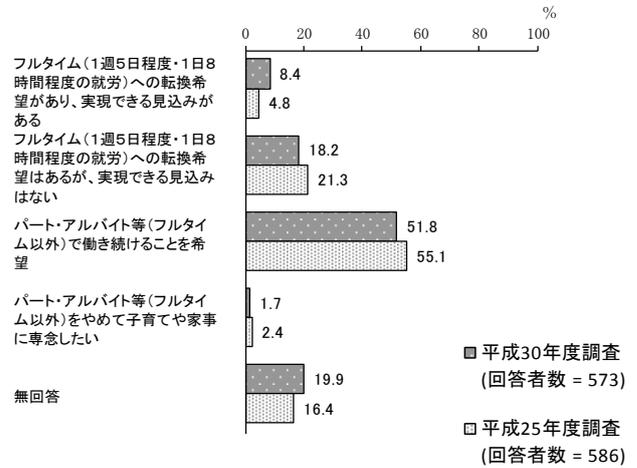


問11 問10の(1)または(2)で「3.」、「4.」(パート・アルバイト等で働いている)に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問12へお進みください。フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

「パート・アルバイト等(フルタイム以外)で働き続けることを希望」の割合が51.8%と最も高く、次いで「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が18.2%となっています。

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(2) 父親

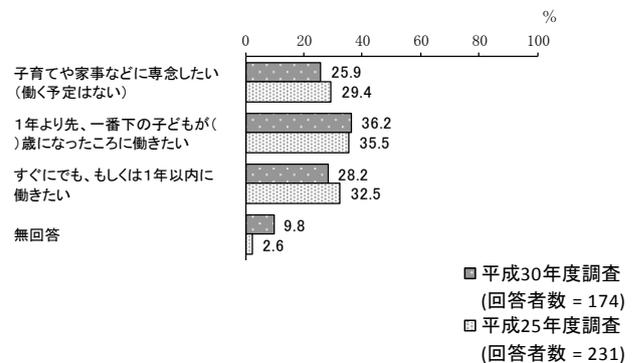
「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある」が2件となっています。「パート・アルバイト等(フルタイム以外)で働き続けることを希望」が1件となっています。

問12 問10の(1)または(2)で「5.以前は働いていたが、今は働いていない」または「6.これまで働いたことがない」に○をつけた方にうかがいます。就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する()内には数字でご記入ください。該当しない方は、問13へお進みください。

(1) 母親

「1年より先、一番下の子どもが()歳になったときに働きたい」の割合が36.2%と最も高く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい」の割合が28.2%、「子育てや家事などに専念したい(働く予定はない)」の割合が25.9%となっています。

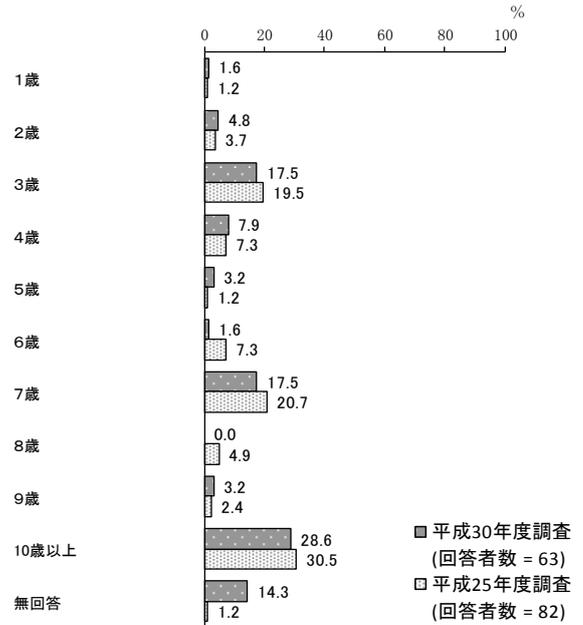
平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



ア. 一番下の子どもが何歳になったところに働きたいか

「10歳以上」の割合が28.6%と最も高く、次いで「3歳」、「7歳」の割合が17.5%となっています。

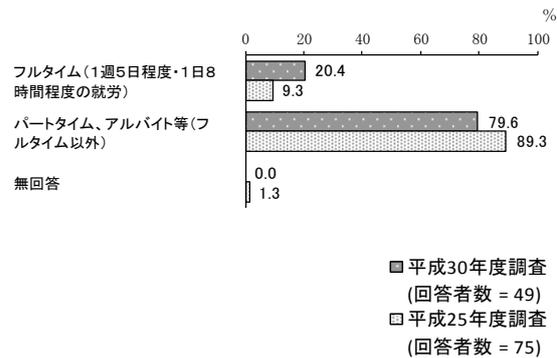
平成25年度調査と比較すると、「6歳」の割合が減少しています。



イ. 希望する就労形態

「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」の割合が20.4%、「パートタイム、アルバイト等（フルタイム以外）」の割合が79.6%となっています。

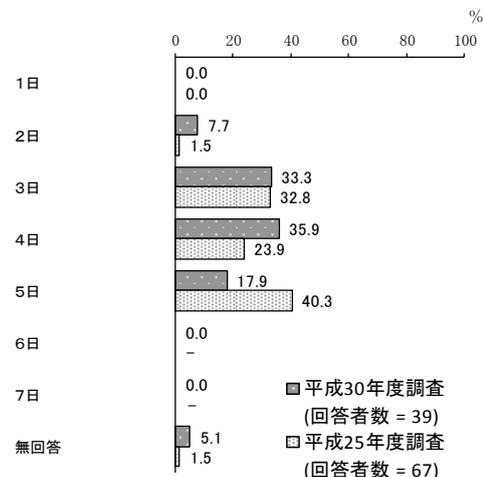
平成25年度調査と比較すると、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」の割合が増加しています。一方、「パートタイム、アルバイト等（フルタイム以外）」の割合が減少しています。



①パートタイム、アルバイト等 週あたり希望就労日数

「4日」の割合が35.9%と最も高く、次いで「3日」の割合が33.3%、「5日」の割合が17.9%となっています。

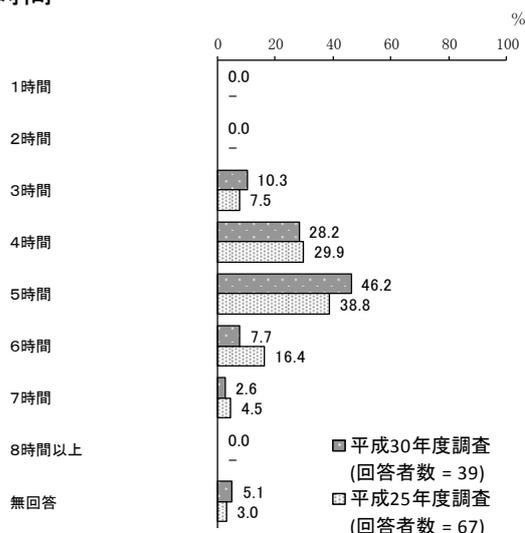
平成25年度調査と比較すると、「2日」「4日」の割合が増加しています。一方、「5日」の割合が減少しています。



②パートタイム、アルバイト等 1日あたり希望就労時間

「5時間」の割合が46.2%と最も高く、次いで「4時間」の割合が28.2%、「3時間」の割合が10.3%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「5時間」の割合が増加しています。一方、「6時間」の割合が減少しています。



(2) 父親

「子育てや家事などに専念したい(働く予定はない)」が2件となっています。「すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい」が1件となっています。

ア. 一番下の子どもが何歳になったころに働きたいか

有効回答がありませんでした。

イ. 希望する就労形態

「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)」が1件、「パートタイム、アルバイト等(フルタイム以外)」が0件となっています。

①パートタイム、アルバイト等 週あたり希望就労日数

有効回答がありませんでした。

②パートタイム、アルバイト等 1日あたり希望就労時間

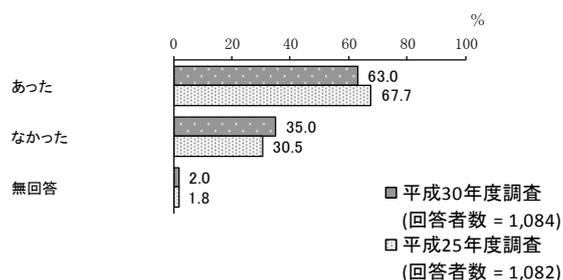
有効回答がありませんでした。

(5) お子さんの病気やけがの際の対応について

問13 この1年間に、お子さんが病気やけがで小学校を休まなければならなかったことはありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「あった」の割合が63.0%、「なかった」の割合が35.0%となっています。

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【学年別】

学年別でみると、他に比べ、小学3年生で「あった」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	あった	なかった	無回答
小学1年生	213	62.0	36.6	1.4
小学2年生	173	64.2	34.7	1.2
小学3年生	179	69.8	26.8	3.4
小学4年生	186	60.2	38.2	1.6
小学5年生	168	60.7	37.5	1.8
小学6年生	156	62.8	35.9	1.3

【母親の就労状況別】

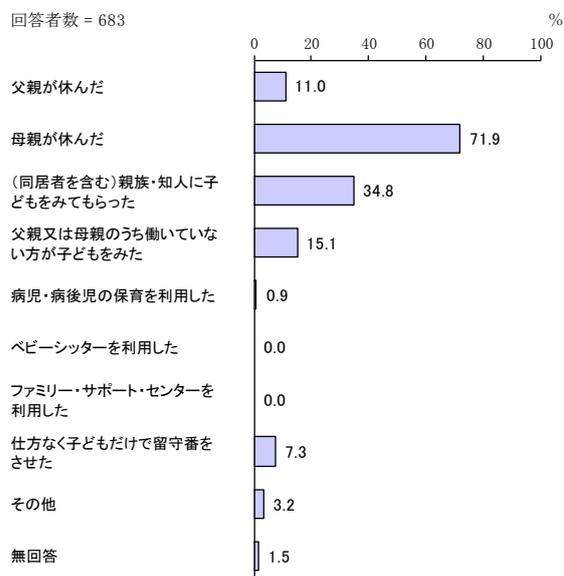
母親の就労状況別でみると、他に比べ、これまで働いたことがないで「あった」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	あった	なかった	無回答
フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で働いている	304	65.5	33.2	1.3
フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で働いているが、今は休んでいる(出産休暇・育児休業・介護休業中)	14	42.9	57.1	—
パート・アルバイト等(フルタイム以外)で働いている	559	64.8	33.6	1.6
パート・アルバイト等(フルタイム以外)で働いているが、今は休んでいる(出産休暇・育児休業・介護休業中)	14	64.3	35.7	—
以前は働いていたが、今は働いていない	155	53.5	43.2	3.2
これまで働いたことがない	19	78.9	21.1	—

問 13-1 お子さんが病気やけがで小学校を休まなければならなかった場合に、この一年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も（ ）内に数字でご記入ください。（半日程度の対応の場合も1日としてカウントしてください。）

「母親が休んだ」の割合が71.9%と最も高く、次いで「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」の割合が34.8%、「父親又は母親のうち働いていない方が子どもをみた」の割合が15.1%となっています。



1年間の対処方法

『ア 父親が休んだ』『ク 仕方なく子どもだけで留守番をさせた』で「1日」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	1日	2日 ～ 3日	4日 ～ 5日	6日 ～ 9日	10日 ～ 19日	20日 以上	無回答
ア 父親が休んだ	75	46.7	40.0	5.3	2.7	-	-	5.3
イ 母親が休んだ	491	28.7	36.5	14.7	7.9	5.9	0.8	5.5
ウ (同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	238	26.5	32.8	13.0	1.7	6.3	1.7	18.1
エ 父親又は母親のうち働いていない方が子どもをみた	103	24.3	34.0	13.6	11.7	3.9	1.9	10.7
オ 病児・病後児の保育を利用した	6	33.3	66.7	-	-	-	-	-
カ ベビーシッターを利用した	-	-	-	-	-	-	-	-
キ ファミリー・サポート・センターを利用した	-	-	-	-	-	-	-	-
ク 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	50	44.0	42.0	10.0	2.0	-	-	2.0
ケ その他	22	13.6	59.1	22.7	-	4.5	-	-

【学年別】

学年別でみると、他に比べ、小学5年生、小学6年生で「母親が休んだ」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	父親が休んだ	母親が休んだ	(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	父親又は母親のうち働いていない方が子どもをみた	病児・病後児の保育を利用した	ベビーシッターを利用した	ファミリー・サポート・センターを利用した	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
小学1年生	132	12.1	72.7	30.3	19.7	0.8	—	—	2.3	3.0	—
小学2年生	111	12.6	73.9	36.0	11.7	2.7	—	—	6.3	2.7	0.9
小学3年生	125	15.2	75.2	40.8	16.8	1.6	—	—	7.2	2.4	1.6
小学4年生	112	8.9	70.5	32.1	17.0	—	—	—	8.9	1.8	2.7
小学5年生	102	11.8	68.6	40.2	10.8	—	—	—	7.8	4.9	2.0
小学6年生	98	4.1	68.4	28.6	12.2	—	—	—	13.3	5.1	2.0

【母親の就労状況別】

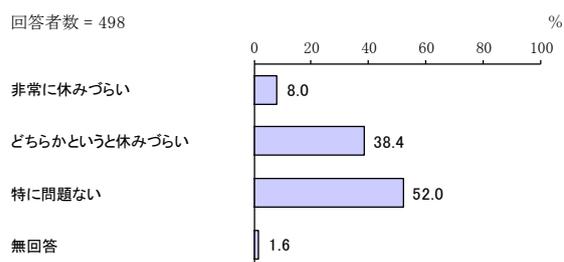
母親の就労状況別でみると、他に比べ、パート・アルバイト等（フルタイム以外）で働いているで「母親が休んだ」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	父親が休んだ	母親が休んだ	(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	父親又は母親のうち働いていない方が子どもをみた	病児・病後児の保育を利用した	ベビーシッターを利用した	ファミリー・サポート・センターを利用した	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で働いている	199	21.1	75.4	55.8	3.5	2.0	—	—	9.5	3.5	1.5
フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で働いているが、今は休んでいる(出産休暇・育児休業・介護休業中)	6	16.7	50.0	66.7	33.3	—	—	—	—	—	—
パート・アルバイト等(フルタイム以外)で働いている	362	6.9	84.8	30.9	5.5	0.6	—	—	7.7	3.3	0.3
パート・アルバイト等(フルタイム以外)で働いているが、今は休んでいる(出産休暇・育児休業・介護休業中)	9	—	66.7	11.1	22.2	—	—	—	—	—	11.1
以前は働いていたが、今は働いていない	83	4.8	20.5	7.2	72.3	—	—	—	2.4	1.2	3.6
これまで働いたことがない	15	—	6.7	6.7	73.3	—	—	—	—	13.3	6.7

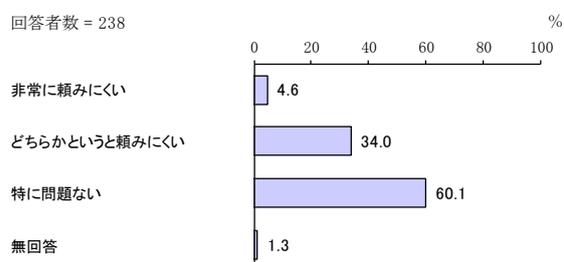
問 13-2 お子さんの父親または母親が仕事を休んだ場合、職場は協力的でしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「特に問題ない」の割合が52.0%と最も高く、次いで「どちらかというとき休みづらい」の割合が38.4%となっています。



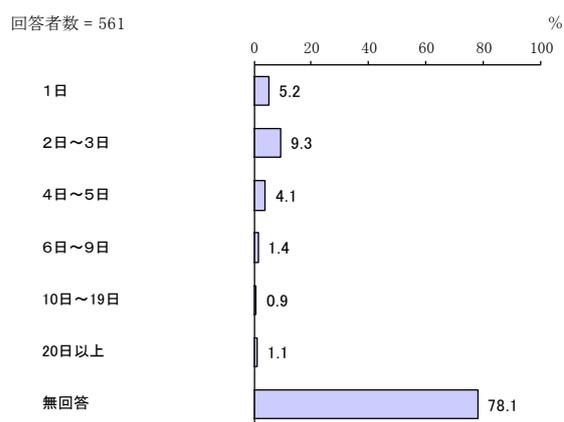
問 13-3 (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった場合、今後も気軽に頼める感じでしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「特に問題ない」の割合が60.1%と最も高く、次いで「どちらかというとき頼みにくい」の割合が34.0%となっています。



問 13-4 問 13-1 で「ア～ウ」に○をつけた方にうかがいます。その際、できれば施設に預けたいと思われた日数はどれくらいありますか。() 内に数字でご記入ください。

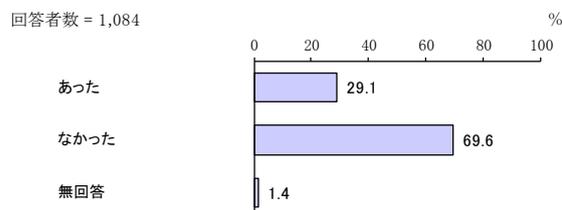
「2日～3日」の割合が9.3%と最も高くなっています。



(6) お子さんの一時預かりについて

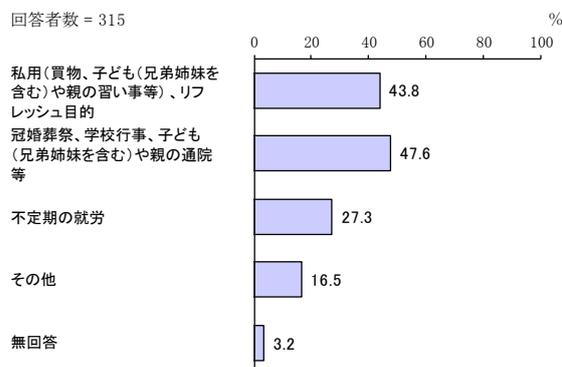
問 14 この1年間に、平日又は休日に関係なく、緊急の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）で、お子さんの面倒を普段みている方が、面倒をみられなくなったことはありましたか。また、普段、お子さんについて、この1年間に、平日又は土曜日・休日に関係なく、何らかの理由で子どもを家族以外の誰かに一時的に預けたことはありますか。あった場合は、その理由として当てはまるものすべてに○をつけ、それぞれの日数も（ ）内に数字でご記入ください。

「あった」の割合が29.1%、「なかった」の割合が69.6%となっています。



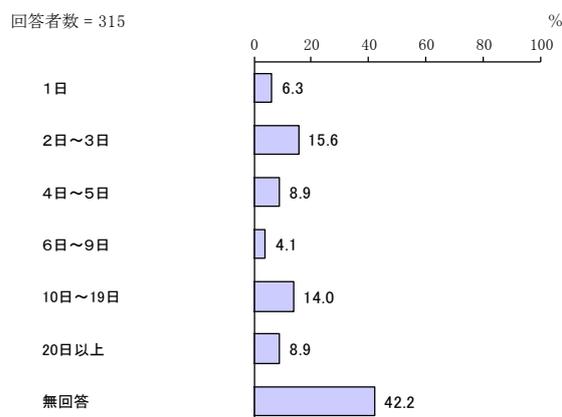
ア. あった

「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」の割合が47.6%と最も高く、次いで「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」の割合が43.8%、「不定期の就労」の割合が27.3%となっています。



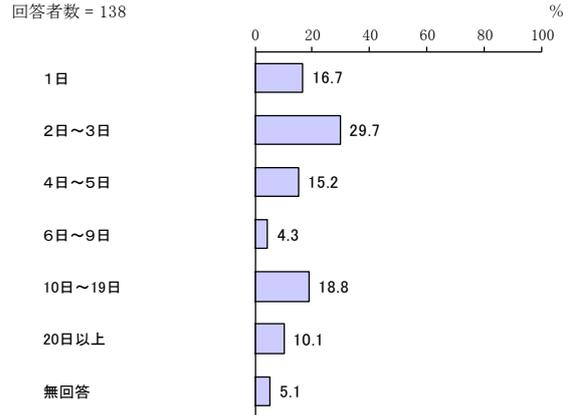
合計日数

「2日～3日」の割合が15.6%と最も高く、次いで「10日～19日」の割合が14.0%となっています。



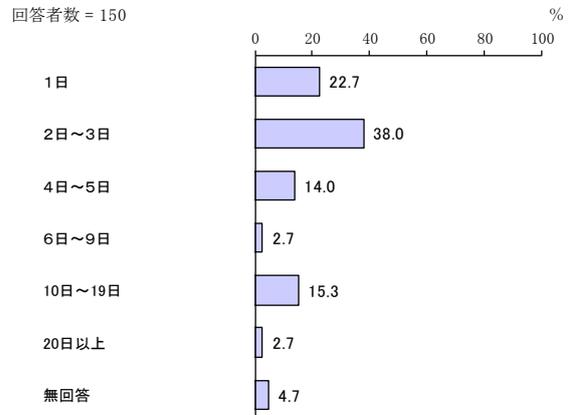
(ア) 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的

「2日～3日」の割合が29.7%と最も高く、次いで「10日～19日」の割合が18.8%、「1日」の割合が16.7%となっています。



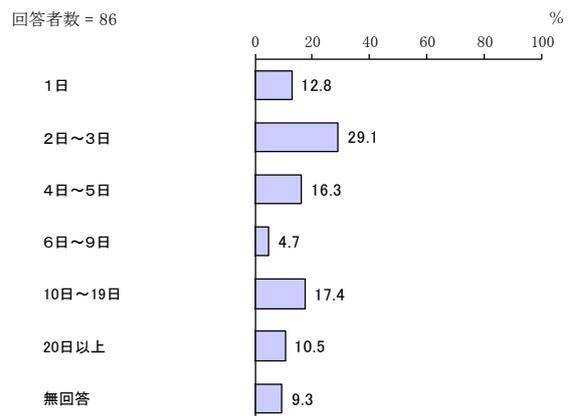
(イ) 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等

「2日～3日」の割合が38.0%と最も高く、次いで「1日」の割合が22.7%、「10日～19日」の割合が15.3%となっています。



(ウ) 不定期の就労

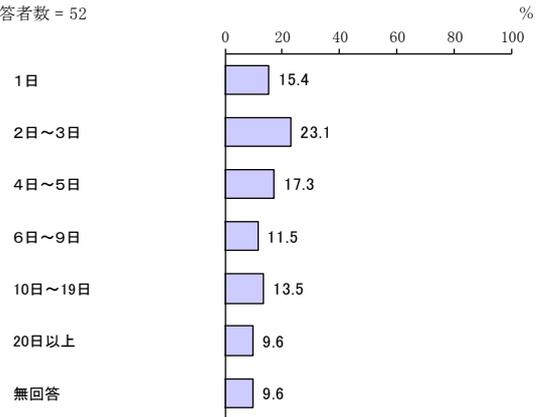
「2日～3日」の割合が29.1%と最も高く、次いで「10日～19日」の割合が17.4%、「4日～5日」の割合が16.3%となっています。



(エ) その他

「2日～3日」の割合が23.1%と最も高く、次いで「4日～5日」の割合が17.3%、「1日」の割合が15.4%となっています。

回答者数 = 52

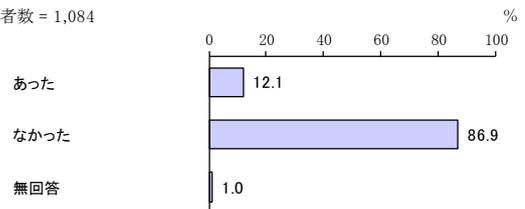


(7) お子さんの泊りがけでの預かりについて

問 15 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、お子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、その対処方法として当てはまるものすべてに○をつけ、それぞれの日数も（ ）内に数字でご記入ください。

「あった」の割合が12.1%、「なかった」の割合が86.9%となっています。

回答者数 = 1,084



1年間の対処方法

『ア（同居者を含む）親族・知人にみてもらった』で「1泊」の割合が高くなっています。

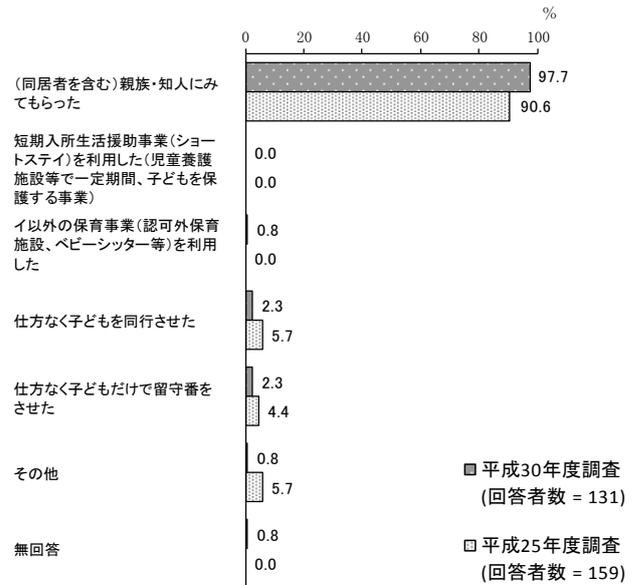
単位：%

区分	回答者数 (件)	1泊	2泊～3泊	4泊～5泊	6泊～9泊	10日～19日	20日以上	無回答
ア（同居者を含む）親族・知人にみてもらった	128	30.5	28.1	15.6	2.3	9.4	2.3	11.7
イ 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）	-	-	-	-	-	-	-	-
ウ イ以外の保育事業（認可外保育施設、ペピーシッター等）を利用した	1	-	100.0	-	-	-	-	-
エ 仕方なく子どもを同行させた	3	-	33.3	-	-	-	-	66.7
オ 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	3	100.0	-	-	-	-	-	-
カ その他	1	-	-	-	-	100.0	-	-

あった

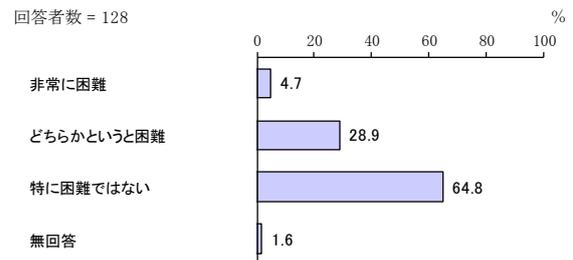
「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」の割合が97.7%と最も高くなっています。

平成25年度調査と比較すると、「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」の割合が増加しています。



問 15-1 その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「特に困難ではない」の割合が64.8%と最も高く、次いで「どちらかという困難」の割合が28.9%となっています。

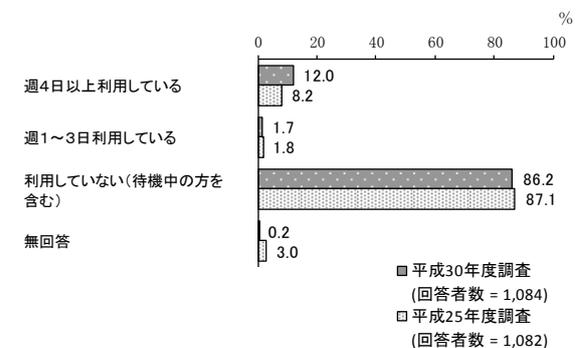


(8) 放課後児童クラブの利用状況と希望について

問 16 お子さんは現在、放課後児童クラブを利用していますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「利用していない(待機中の方を含む)」の割合が86.2%と最も高く、次いで「週4日以上利用している」の割合が12.0%となっています。

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【学年別】

学年別でみると、他に比べ、小学1年生から小学3年生で「週4日以上利用している」の割合が高くなっています。また、小学4年生から小学6年生で「利用していない(待機中の方を含む)」の割合が高くなっています。

単位：％

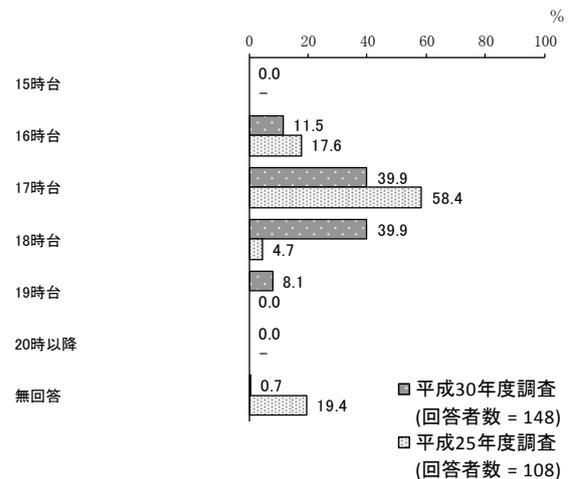
区分	有効回答数(件)	週4日以上利用している	週1～3日利用している	利用していない(待機中の方を含む)	無回答
小学1年生	213	22.5	1.9	75.6	—
小学2年生	173	22.0	2.3	75.7	—
小学3年生	179	15.1	4.5	79.9	0.6
小学4年生	186	2.7	0.5	96.2	0.5
小学5年生	168	4.2	0.6	95.2	—
小学6年生	156	2.6	—	97.4	—

問 16-1 利用している時間帯を()内に数字でご記入ください。時間は必ず(例)18時00分のように24時間制でご記入ください。

利用終了時刻

「17時台」、「18時台」の割合が39.9%と最も高く、次いで「16時台」の割合が11.5%となっています。

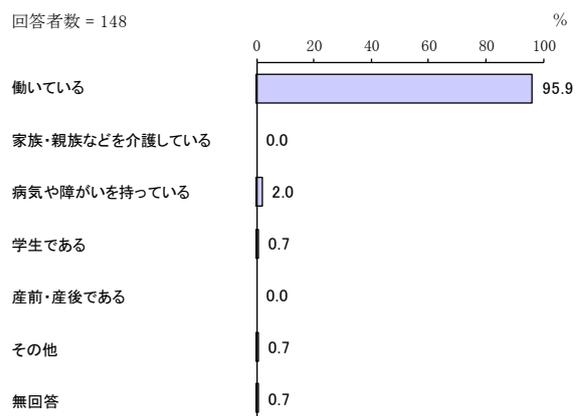
平成25年度調査と比較すると、「18時台」「19時台」の割合が増加しています。一方、「16時台」「17時台」の割合が減少しています。



問 16-2 放課後児童クラブを利用されている理由は何ですか。当てはまる番号 1 つに ○をつけてください。

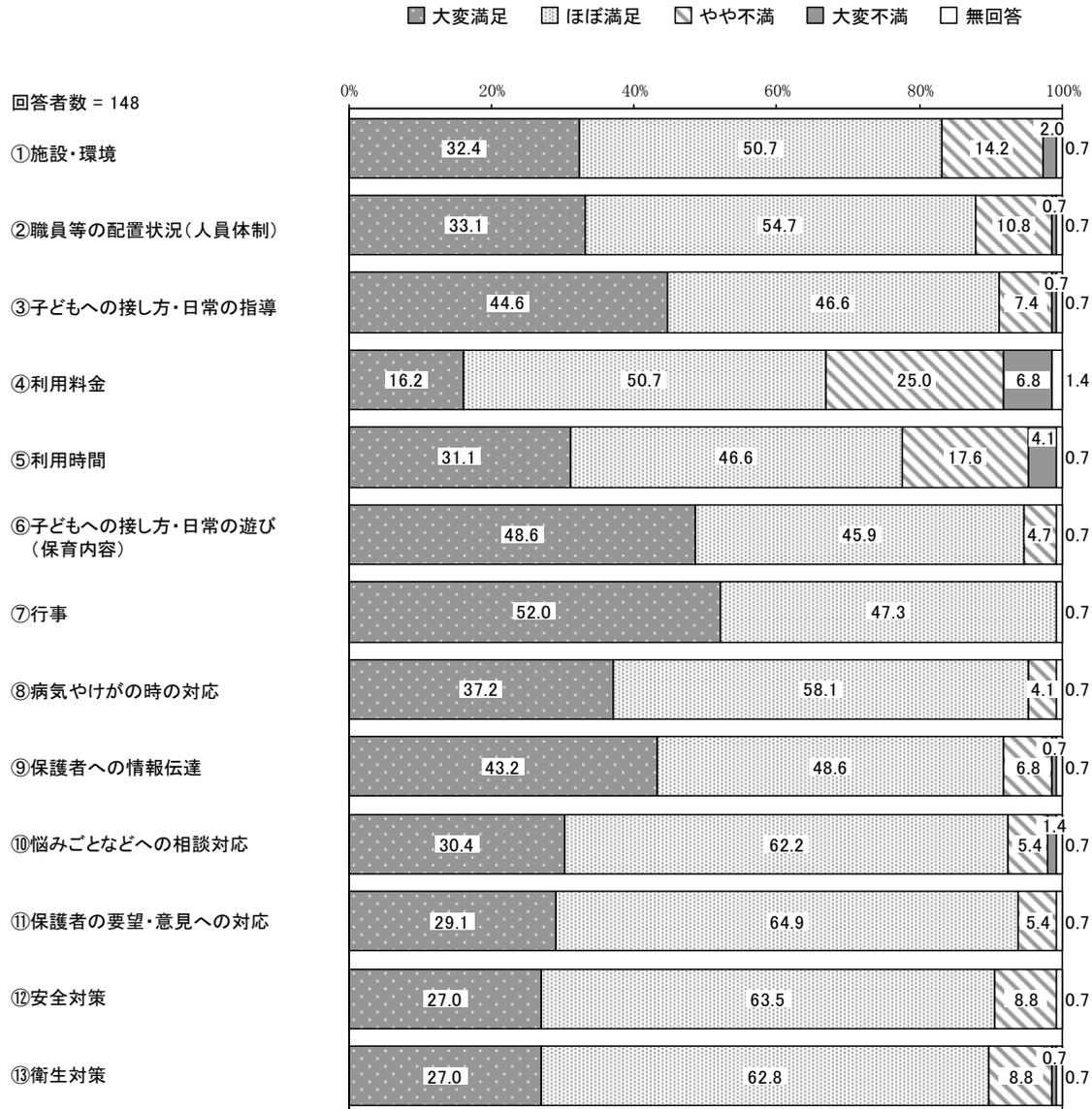
「働いている」の割合が 95.9% と最も高くなっています。

回答者数 = 148



問 16-3 放課後児童クラブに対してどのように感じていますか。①～⑬のそれぞれについて当てはまる番号1つに○をつけてください。

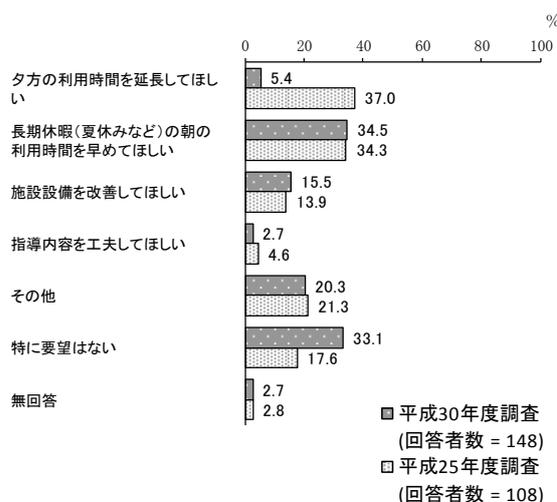
『④利用料金』『⑤利用時間』で「大変満足」と「ほぼ満足」を合わせた“満足”の割合が低くなっています。



問 16-4 現在通っている放課後児童クラブに対して要望がありますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「長期休暇（夏休みなど）の朝の利用時間を早めてほしい」の割合が34.5%と最も高く、次いで「特に要望はない」の割合が33.1%、「施設設備を改善してほしい」の割合が15.5%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「特に要望はない」の割合が増加しています。一方、「夕方の利用時間を延長してほしい」の割合が減少しています。



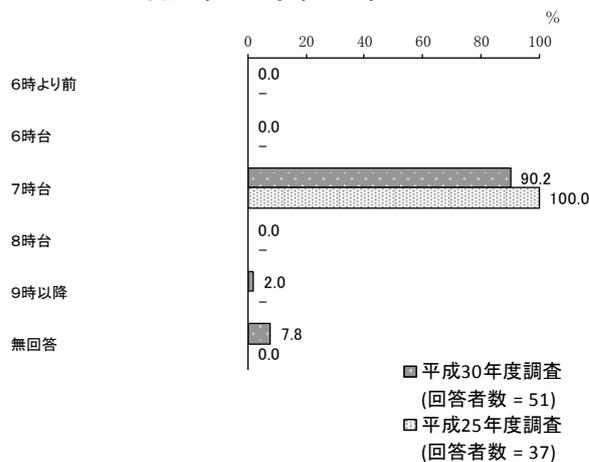
ア. 夕方の利用時間を延長してほしい 利用終了時希望刻

「19時台」が6件となっています。「18時台」が2件となっています。

イ. 長期休暇（夏休みなど）の朝の利用時間を早めてほしい 利用終了時希望刻

「7時台」の割合が90.2%と最も高くなっています。

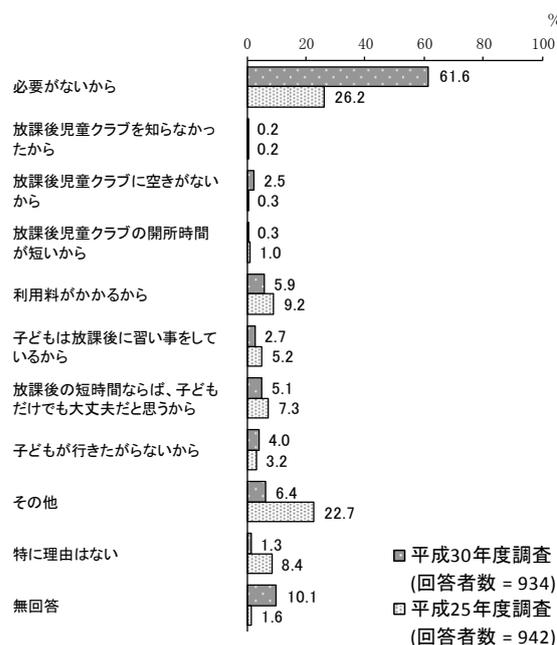
平成25年度調査と比較すると、「7時台」の割合が減少しています。



問 16-5 問 16 で「3. 利用していない（待機中の方を含む）」に○をつけた方にうかがいます。「利用していない」理由は何ですか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「必要がないから」の割合が 61.6% と最も高くなっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「必要がないから」の割合が増加しています。一方、「特に理由はない」の割合が減少しています。



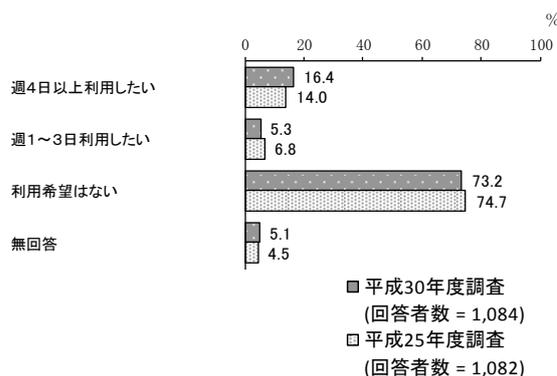
問 17 お子さんについて、放課後児童クラブの利用希望が現在ありますか。平日、土曜日、日曜日・祝日、長期の休み（夏休みなど）それぞれについてご記入ください。

ア. 平日

(ア) 利用したいですか。

「利用希望はない」の割合が 73.2% と最も高く、次いで「週 4 日以上利用したい」の割合が 16.4% となっています。

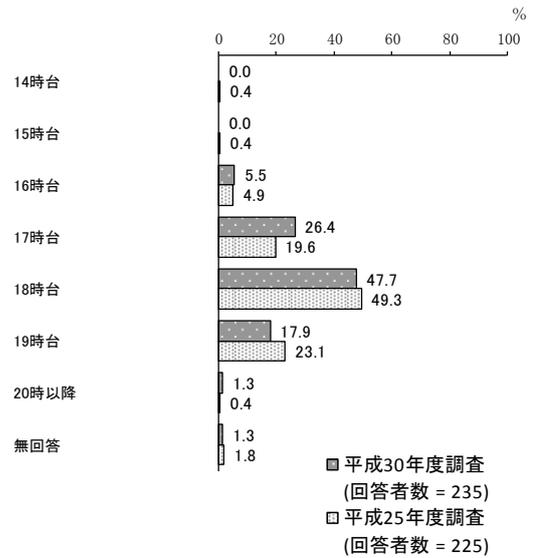
平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(イ) 利用終了時刻

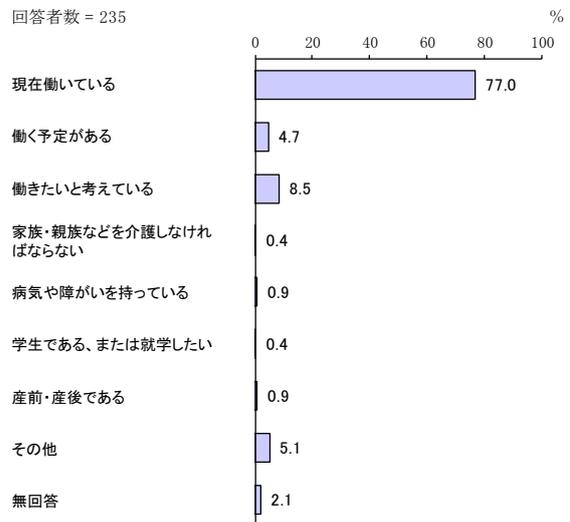
「18 時台」の割合が 47.7%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 26.4%、「19 時台」の割合が 17.9%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「17 時台」の割合が増加しています。一方、「19 時台」の割合が減少しています。



(ウ) 利用したい理由

「現在働いている」の割合が 77.0%と最も高くなっています。

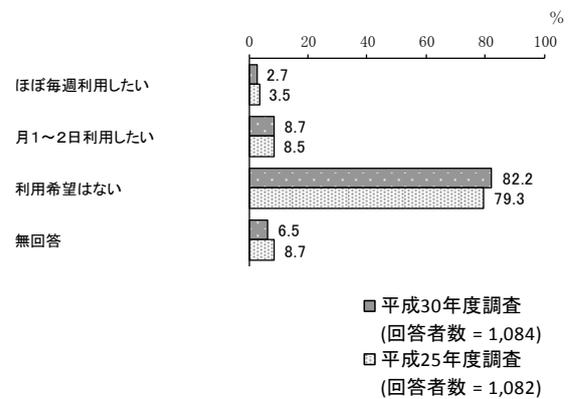


イ. 土曜日

(ア) 利用したいですか。

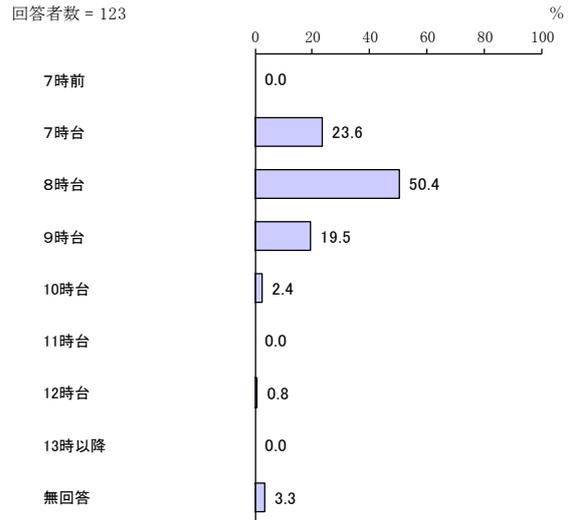
「利用希望はない」の割合が 82.2%と最も高くなっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



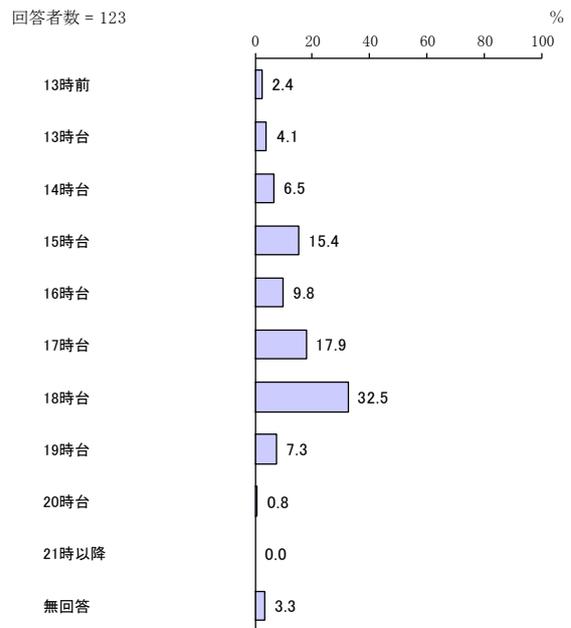
(イ) 利用開始時刻

「8時台」の割合が50.4%と最も高く、次いで「7時台」の割合が23.6%、「9時台」の割合が19.5%となっています。



(ウ) 利用終了時刻

「18時台」の割合が32.5%と最も高く、次いで「17時台」の割合が17.9%、「15時台」の割合が15.4%となっています。

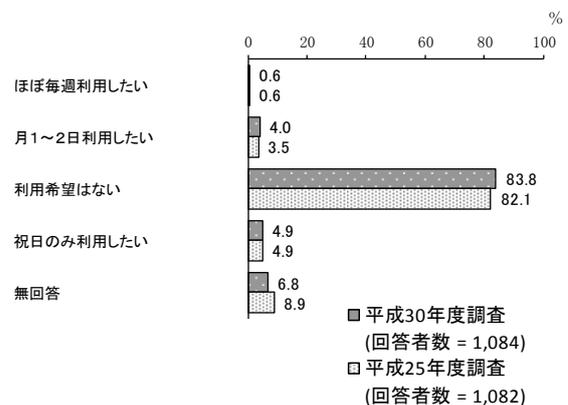


ウ. 日曜日・祝日

(ア) 利用したいですか。

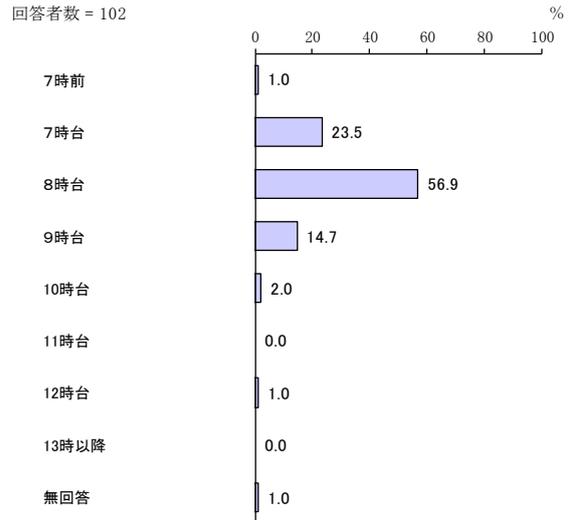
「利用希望はない」の割合が83.8%と最も高くなっています。

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



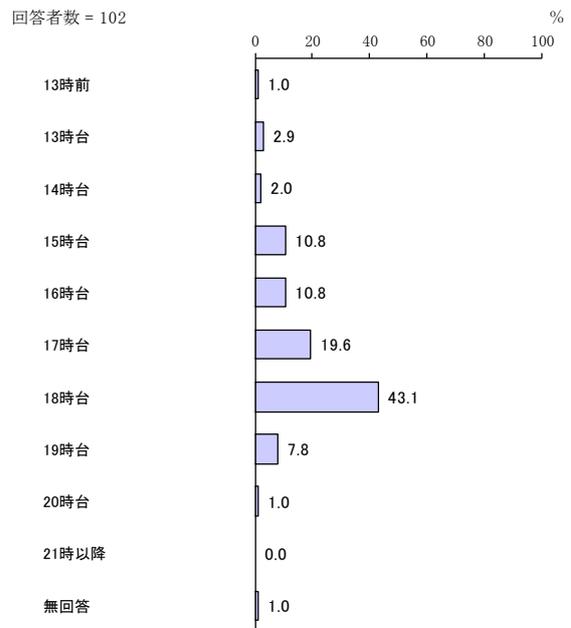
(イ) 利用開始時刻

「8時台」の割合が56.9%と最も高く、次いで「7時台」の割合が23.5%、「9時台」の割合が14.7%となっています。



(ウ) 利用終了時刻

「18時台」の割合が43.1%と最も高く、次いで「17時台」の割合が19.6%、「15時台」、「16時台」の割合が10.8%となっています。

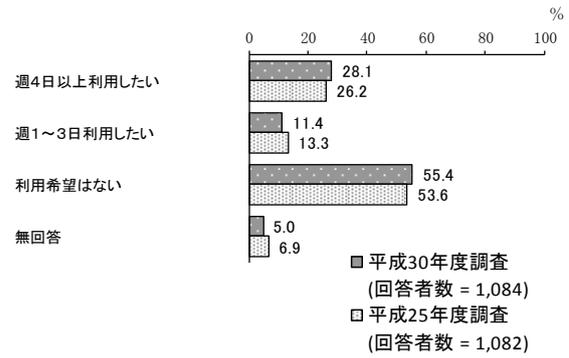


エ. 長期の休み

(ア) 利用したいですか。

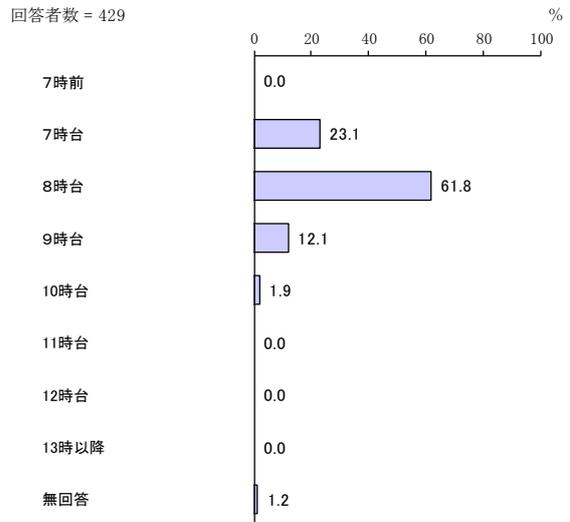
「利用希望はない」の割合が 55.4%と最も高く、次いで「週4日以上利用したい」の割合が 28.1%、「週1～3日利用したい」の割合が 11.4%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



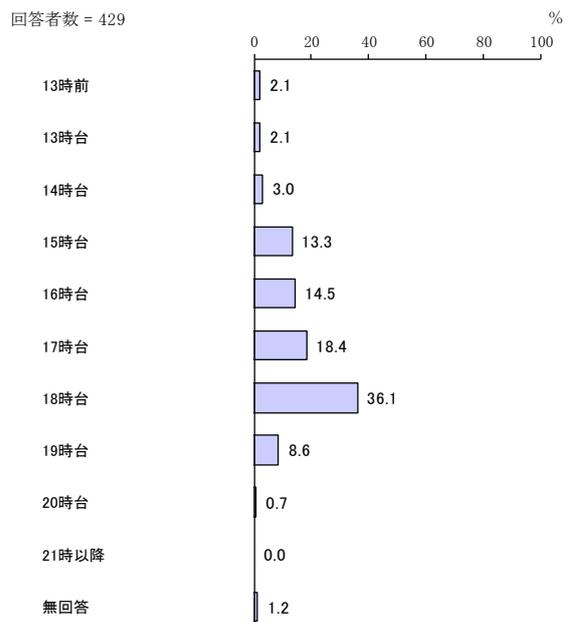
(イ) 利用開始時刻

「8時台」の割合が 61.8%と最も高く、次いで「7時台」の割合が 23.1%、「9時台」の割合が 12.1%となっています。



(ウ) 利用終了時刻

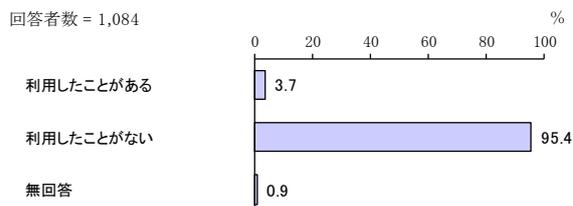
「18時台」の割合が 36.1%と最も高く、次いで「17時台」の割合が 18.4%、「16時台」の割合が 14.5%となっています。



(9) ファミリー・サポート・センター事業の利用について

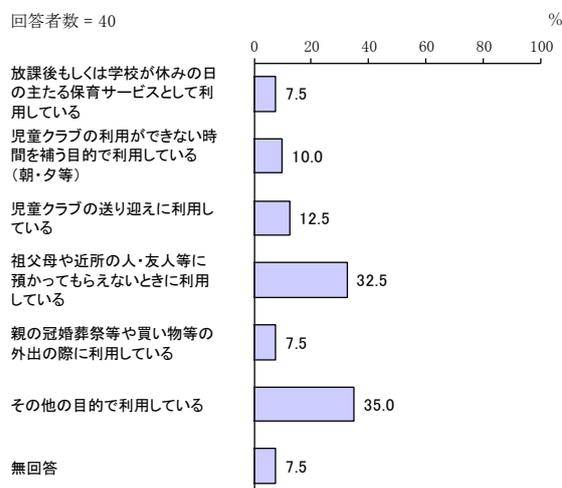
問 18 ファミリー・サポート・センター事業を利用したことはありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「利用したことがある」の割合が 3.7%、「利用したことがない」の割合が 95.4%となっています。



問 18-1 どのような目的で利用しましたか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

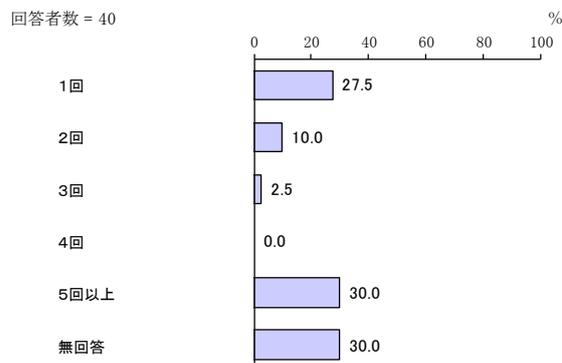
「その他の目的で利用している」の割合が 35.0%と最も高く、次いで「祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえないときに利用している」の割合が 32.5%、「児童クラブの送り迎えに利用している」の割合が 12.5%となっています。



問 18-2 どれくらいの頻度で利用していますか。日数と時間を教えてください。() 内に数字でご記入ください。

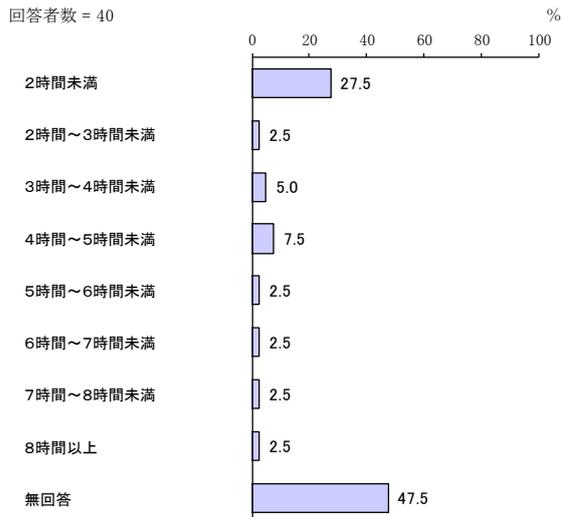
ア. 1年あたりの利用回数

「5回以上」の割合が 30.0%と最も高く、次いで「1回」の割合が 27.5%、「2回」の割合が 10.0%となっています。



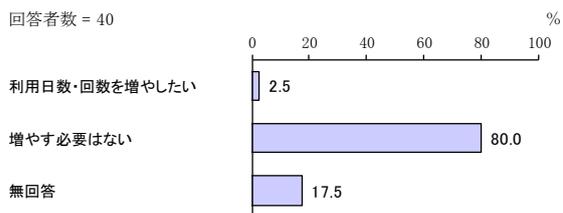
イ. 1回あたりの利用時間

「2時間未満」の割合が27.5%と最も高くなっています。



問 18-3 利用日数・回数を増やしたいと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。希望がある方は、希望日数・時間を（ ）内に数字でご記入ください。

「利用日数・回数を増やしたい」の割合が2.5%、
「増やす必要はない」の割合が80.0%となっています。



ア. 利用日数・回数を増やしたい 1年あたりの希望利用回数
有効回答がありませんでした。

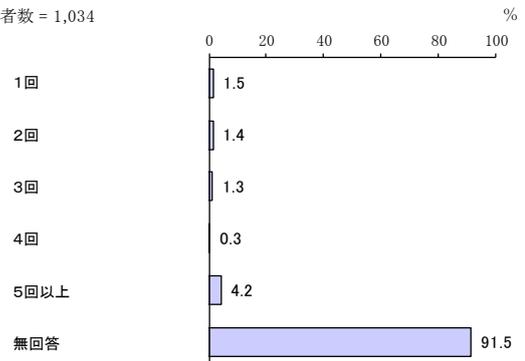
イ. 利用日数・回数を増やしたい 1回あたりの希望利用時間
「7時間~8時間未満」が1件となっています。

問 18-4 ファミリー・サポート・センター事業を利用したことがないが、今後できれば利用したい方は、利用したい日数・時間を（ ）内に数字でご記入ください。

ア. 1年あたりの希望利用回数

「5回以上」の割合が4.2%と最も高くなっています。

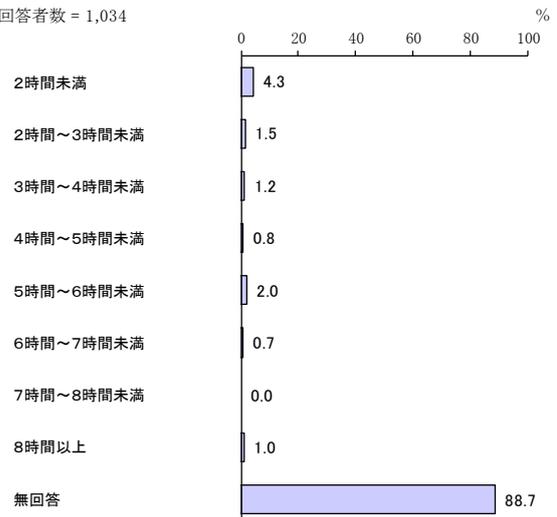
回答者数 = 1,034



イ. 1回あたりの希望利用時間

「2時間未満」の割合が4.3%と最も高くなっています。

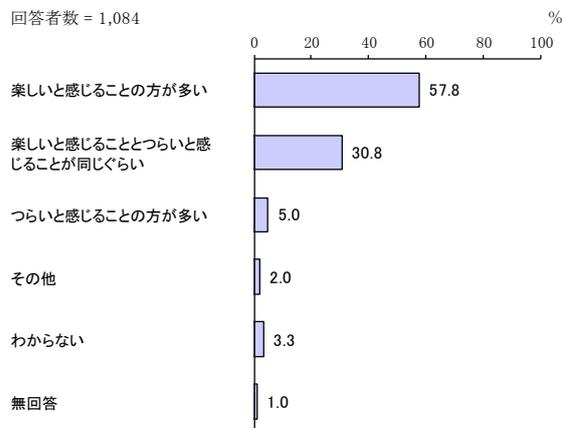
回答者数 = 1,034



(10) 子育て全般について

問 19 あなたは、自分にとって子育てを楽しんでいることが多いと思いますか。それともつらいと感じることが多いと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「楽しいと感じることの方が多い」の割合が57.8%と最も高く、次いで「楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい」の割合が30.8%となっています。



【学年別】

学年別でみると、他に比べ、小学5年生で「楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい」の割合が低くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	楽しいと感じることの方が多い	楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい	つらいと感じることの方が多い	その他	わからない	無回答
小学1年生	213	59.6	30.0	4.7	0.9	3.8	0.9
小学2年生	173	56.6	32.4	6.4	1.2	3.5	—
小学3年生	179	57.5	30.7	4.5	1.7	3.9	1.7
小学4年生	186	55.4	34.9	5.4	1.6	2.2	0.5
小学5年生	168	59.5	27.4	3.0	4.2	4.2	1.8
小学6年生	156	59.0	29.5	5.1	3.2	2.6	0.6

【子育てを主に行っている人別】

子育てを主に行っている人別でみると、他に比べ、父母ともに「楽しいと感じることの方が多い」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	楽しいと感じることの方が多い	楽しいと感じることと同じぐらい	つらいと感じることの方が多い	その他	わからない	無回答
父母ともに	578	61.8	31.7	2.4	1.4	1.6	1.2
主に母親	480	54.0	29.4	7.3	2.9	5.6	0.8
主に父親	9	44.4	33.3	22.2	—	—	—
主に祖父母	9	33.3	44.4	22.2	—	—	—
その他	7	57.1	28.6	14.3	—	—	—

【子どもをみてもらえる親族・知人の有無別】

子どもをみてもらえる親族・知人の有無別でみると、他に比べ、日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいるで「楽しいと感じることの方が多い」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	楽しいと感じることの方が多い	楽しいと感じることと同じぐらい	つらいと感じることの方が多い	その他	わからない	無回答
日常的に子どもをみてもらえる祖父母等の親族がいる	385	62.6	27.5	4.7	1.6	2.6	1.0
緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる祖父母等の親族がいる	665	56.1	31.7	5.9	1.8	3.5	1.1
日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	33	72.7	15.2	3.0	6.1	3.0	—
緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	171	69.0	22.2	2.9	2.9	2.3	0.6
いずれもない	84	46.4	36.9	6.0	6.0	4.8	—

【母親の就労状況別】

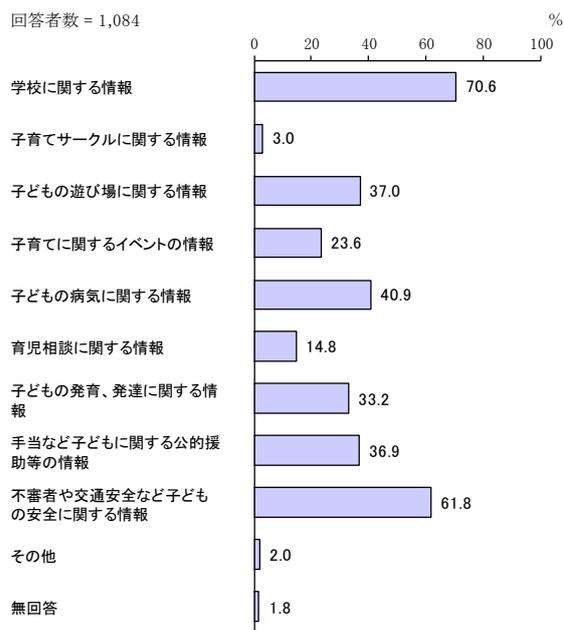
母親の就労状況別でみると、他に比べ、パート・アルバイト等（フルタイム以外）で働いているが、今は休んでいる（出産休暇・育児休業・介護休業中）で「楽しいと感じることの方が多い」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	楽しいと感じることの方が多い	楽しいと感じることと同じぐらいと 感じることもつらいと	つらいと感じることの方が多い	その他	わからない	無回答
フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で働いている	304	60.2	28.9	6.3	2.0	2.0	0.7
フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で働いているが、今は休んでいる(出産休暇・育児休業・介護休業中)	14	57.1	35.7	—	—	7.1	—
パート・アルバイト等(フルタイム以外)で働いている	559	57.8	30.2	4.3	1.8	4.7	1.3
パート・アルバイト等(フルタイム以外)で働いているが、今は休んでいる(出産休暇・育児休業・介護休業中)	14	50.0	35.7	—	7.1	—	7.1
以前は働いていたが、今は働いていない	155	56.1	32.3	5.8	3.2	1.9	0.6
これまで働いたことがない	19	52.6	47.4	—	—	—	—

問 20 あなたは、子育てに関してどのような情報を入手したいですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「学校に関する情報」の割合が70.6%と最も高く、次いで「不審者や交通安全など子どもの安全に関する情報」の割合が61.8%、「子どもの病気に関する情報」の割合が40.9%となっています。



【学年別】

学年別でみると、他に比べ、小学3年生、小学6年生で「学校に関する情報」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	学校に関する情報	子育てサークルに関する情報	子どもの遊び場に関する情報	子育てに関するイベントの情報	子どもの病気に関する情報	育児相談に関する情報	子どもの発育、発達に関する情報	手当など子どもに関する公的援助等の情報	不審者や交通安全など子どもの安全に関する情報	その他	無回答
小学1年生	213	70.4	4.7	49.8	31.0	40.8	17.8	35.2	39.4	69.5	3.8	1.4
小学2年生	173	69.9	4.0	40.5	31.8	36.4	17.9	38.7	37.0	63.0	3.5	1.2
小学3年生	179	75.4	1.1	44.7	22.9	48.0	15.1	34.6	35.8	59.8	1.1	1.1
小学4年生	186	66.1	3.8	30.1	14.0	33.9	6.5	31.7	29.0	54.3	1.1	4.3
小学5年生	168	67.3	1.8	34.5	23.2	41.1	17.3	28.6	37.5	67.3	1.2	0.6
小学6年生	156	75.0	2.6	18.6	17.9	44.2	12.8	29.5	44.2	55.8	1.3	2.6

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別でみると、他に比べ、パート・アルバイト等（フルタイム以外）で働いている、以前は働いていたが、今は働いていないで「学校に関する情報」の割合が、フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で働いているが、今は休んでいる（出産休暇・育児休業・介護休業中）、パート・アルバイト等（フルタイム以外）で働いているが、今は休んでいる（出産休暇・育児休業・介護休業中）、これまで働いたことがないで「不審者や交通安全など子どもの安全に関する情報」の割合が高くなっています。

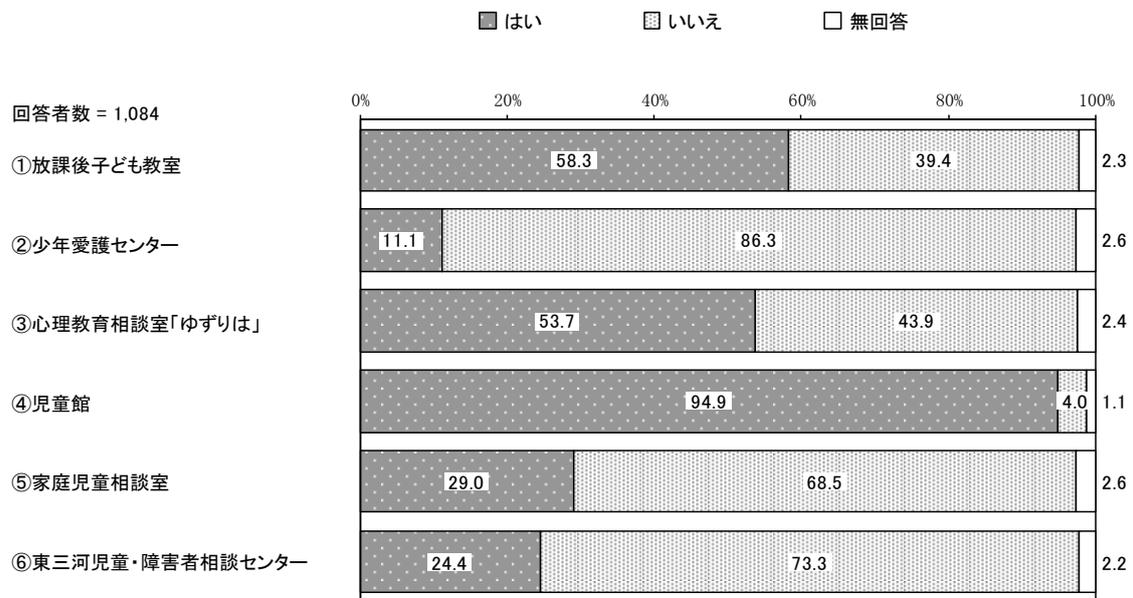
単位：％

区分	有効回答数（件）	学校に関する情報	子育てサークルに関する情報	子どもの遊び場に関する情報	子育てに関するイベントの情報	子どもの病気にに関する情報	育児相談に関する情報	子どもの発育、発達に関する情報	手など子どもに関する公的援助等の情報	不審者や交通安全など子どもの安全に関する情報	その他	無回答
フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で働いている	304	65.1	2.0	35.2	21.7	40.8	12.2	31.9	40.1	60.2	2.0	1.6
フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で働いているが、今は休んでいる（出産休暇・育児休業・介護休業中）	14	57.1	14.3	57.1	50.0	50.0	42.9	42.9	64.3	71.4	7.1	—
パート・アルバイト等（フルタイム以外）で働いている	559	73.7	3.2	35.8	24.3	38.8	14.5	31.8	35.2	61.9	1.8	2.0
パート・アルバイト等（フルタイム以外）で働いているが、今は休んでいる（出産休暇・育児休業・介護休業中）	14	42.9	7.1	21.4	14.3	7.1	14.3	35.7	35.7	71.4	—	7.1
以前は働いていたが、今は働いていない	155	73.5	2.6	42.6	24.5	47.7	17.4	39.4	33.5	61.3	3.2	0.6
これまで働いたことがない	19	68.4	5.3	42.1	21.1	42.1	21.1	31.6	26.3	73.7	—	5.3

問 21 下記のサービスで知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものはありますか。①～⑥の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて当てはまる番号1つに○をつけてください。

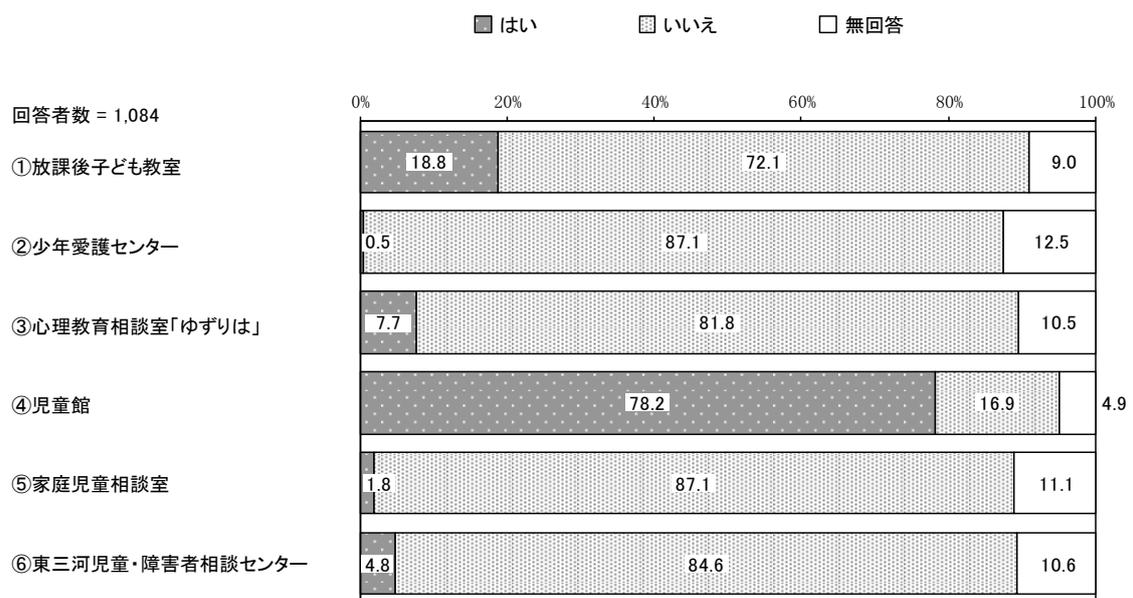
A. 知っている

『④児童館』で「はい」の割合が高くなっています。また、『②少年愛護センター』で「いいえ」の割合が高くなっています。



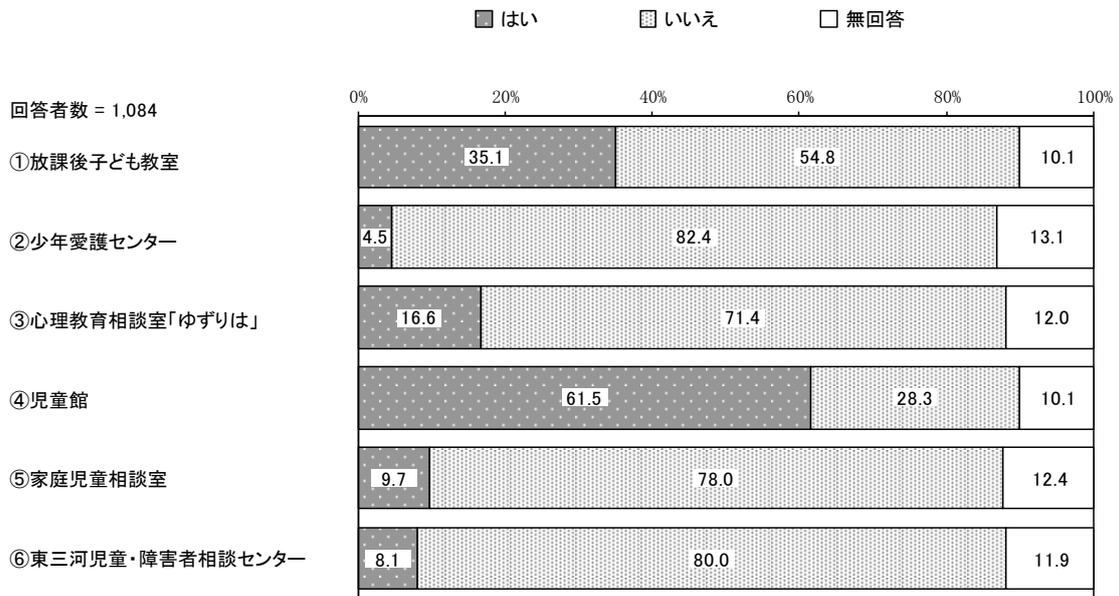
B. これまでに利用したことがある

『④児童館』で「はい」の割合が高くなっています。



C. 今後利用したい

『④児童館』で「はい」の割合が高くなっています。



問 22 豊川市の子育て環境や支援への満足度について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

「3」の割合が46.2%と最も高く、次いで「4」の割合が21.2%、「2」の割合が18.0%となっています。

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

